はじめに

①　〈地誌編〉を受講するみなさんへ

みなさんこんにちは。地理のたつじんです。楽しく地理を勉強していきましょう。この講座のテーマはズバリ「地誌」です。地理は，気候や農業，工業などジャンル別に考察を進める「系統地理」と，国別や地域別に重要事項を整理する「地誌」の学習とに大きく分かれています。重要性が高いのは「系統地理」の方で，それについては今まで十分に勉強してくれたと思います（あれ？まだ不十分の人もいるって？そういう人は今すぐ復習にしっかり取りかかりましょう！）。

系統地理を完成させた上で，発展段階として取り組むのがこの「地誌」なのです。世界を俯瞰し，アジアやアフリカ，ヨーロッパ，新大陸などに区分して，それぞれの特徴をまとめていきます。系統地理では軽視していた地名や都市名についても，ここではしっかり勉強していきますよ。「机上の世界旅行」を楽しむイメージで，この講座を楽しんでもらえたら，たつじん先生としてはこれほど嬉しいことはないのです。

②　授業の内容とテキスト

〈地誌編〉は５つの講から成り立っています。かなり少ないじゃないかって？でも，その分，内容は濃くなっていますよ。系統地理で得た知識をフル動員して，地誌学習に活かしてくださいね。

各講は，テキスト，練習問題，確認問題，そしてそれぞれの解答・解説から構成されています。授業は練習問題を中心に進めていきますが，テキスト部分でその簡単な解説を行っていますので，受講の前にこちらをしっかり読んでおくことをお勧めします。詳しくは後の「予習と復習」でお話ししますね。

練習問題は各講につき，10問ずつ用意されています。いずれも過去のセンター試験で出題された問題ばかりです。みなさんもご存知のように地理に関してはセンター試験と共通テストとで大きな傾向や形式，難易度の違いはありませんので，共通テスト対策としてセンター過去問を通じて学習を進めることは非常に有効なのです。やや年度が古い問題も含まれていますが，現在との相違点が大きい場合には授業の中でその違いなどについても触れていきますのでご安心ください。

問題セレクトの基準は「良問」です。本試験と追試験の区別なく，そして地理Ｂのみでなく地理Ａからも質の高い問題を選んで取り上げています。とくに共通テストでは深い思考力が必要となっていますが，もちろんその傾向も踏まえて，みなさんの実力アップに必ず役立つ問題を取り揃え，研究と分析を進めます。「共通テスト対策なのにセンター過去問を使うなんて意味がないじゃないか」，「追試験は傾向が違うんじゃないのか」，「地理Ａは簡単すぎて参考にならないじゃないか」という声が聞こえて来そうですが，それは全くの誤解です。地理の場合は追試験もさほど傾向や難易度は変わりませんし，むしろ，本当に優れた問題が多いので，ぜひともみなさんにはすすんでチャレンジしてほしいのです。さらに，とくに「地誌」ジャンルで必須となる地名や都市名については，地理Ａの方が詳しかったりします。より深い地誌の学習のためには地理

Ａの問題を通じて，理解を高める必要があるのです。

　地理総合，地理探究の共通テストを深く理解するためには，旧課程も新課程も，本試験も追試験も，そして地理Ａ・Ｂ含めて全て研究対象にしましょう。でも，そこはたつじん先生にお任せを。私が責任をもって，「ベスト」と考えられる問題をセレクトしてあります。本当に興味深い問題ばかりですよ。それぞれの問題の個性に出会い，その魅力を存分に味わってもらえることを期待しています。

③　各講で扱っている範囲

　〈地誌編〉の５つの講の内容を紹介しますね。

第１講；東アジア・東南アジア　韓国や中国，東南アジアについて学習します。とくに東南アジアは10か国ほどしかありませんが，全ての国が出題対象となりますので，国別に整理して考えていきましょう。

第２講；南アジア・西アジア・アフリカ　とくに西アジアなどはイメージが持ちにくい地域と思いますし，アフリカならばその国の数に圧倒されるかもしれません。しかし，細かな国はほとんど出題されませんし，宗教や民族について大まかに理解できれば十分な地域でもあります。リラックスして取り組みましょう。

第３講；北ヨーロッパ・西ヨーロッパ　非常に「密度」が高い地域です。とくに都市名などは細かいところまで覚えることが必要になりますので，気合を入れていきましょう。イギリスやフランスなど普段の生活の中でよく耳にする国が多く登場しますが，テストでは意外な面が問われるかもしれません。柔軟な発想によって個々の国の特徴を捉えてくださいね。

第４講；東ヨーロッパ・CIS・カナダ　CISとはロシアを中心とした国々のことですが，東ヨーロッパも含め，馴染みの薄いところかもしれません。民族や宗教，歴史背景がポイントになります。さらに北アメリカ大陸に入りますが，まずは自然環境について学習しましょう。

第５講；アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア　アメリカ合衆国やオセアニアは地名や都市名が，中南アメリカは国ごとの民族構成が非常に重要なポイントとなっています。

以上の５講によって「世界旅行」は完成します。なお，残念ながら日本地理は含まれていませんが，共通テストを始めとする大学受験地理で出題される日本地誌は中学校の学習内容を踏まえたものが多いので（簡単という意味ではありませんよ。むしろ細かいということです），各自で問題集を解くなどして対策を進めてくださいね。

④　地図の使用と授業の受け方

系統地理と地誌との圧倒的な違いは「地名・都市名」の登場する頻度にあります。系統地理編の学習の際には軽視していた地図帳の使用が，「地誌」では必須となります。手元に必ず地図帳を置いて，一つ一つ確認しながら，視聴を進めてください。

ただし，この際に使用する地図帳は特殊なものでなくて構いません。小学生や中学生が使うような簡単なもので大丈夫ですし，学習用ではなく家庭で楽しむような世界地図でも問題ありません。そもそも共通テストを始めとする大学受験地理にはさほど細かい地名・都市名は登場しませんし，メジャーなものだけを地図で簡単に確認するだけでいいのです。

考えてほしいのですが，共通テストを始めとする大学受験地理はそもそもモノクロ印刷ですし，登場する地図もほとんどが海岸線や湖岸線など輪郭だけが描かれたものですし，国境線はともかく，河川や山地のほとんどは省略されていますよね。詳細な地図帳を用いて，地形や都市の位置を厳密に記憶する必要はないのです。そもそもカラフルな地図帳でそれらの位置を覚えてしまっていたら，実際の共通テストを始めとする大学受験地理の簡略化された図で問われた場合に，イメージと異なってしまい，混乱することすらあります。

とはいえ，やはりビジュアル的な理解は必要です。簡素なもので構いませんので，必ず地図を携えて，授業を視聴するようにしてください。

なお，その際にいくつかサインペンを用意しておくといいと思いますよ。「地図帳は汚すもの」と割り切ってしまっていいと思います。黒ペンや赤ペン，青ペンで，どしどし地図に直接いろいろなことを描き込んでいきましょう。

もちろん地図は美しいものですし，そこにごちゃごちゃ描き込むことは本意ではありませんが，勉強の効率化のためには仕方ありません。抵抗があるかもしれませんが，力強い文字で様々な事項を直接描き入れていきましょう。

ところで，話が前後してしまいましたが，本講座も他の動画講義と同様に１つの講について，３つのチャプターから構成されていますので，自分のペースに合わせて視聴してください。地誌講座では黒板に多くの図を描くことになりますので，ノートに写すのが困難かもしれません。しかし，やはり自分で図を描くことは，深い理解につながります。映像を一旦ストップし，黒板をアップにして，自分なりの図をノートに描きましょう。私が描くのはいつも簡単なシンプルな図です。でも，だからこそポイントはつかみやすいと思いますよ。みなさんも，「たつじん流」の世界地図の書き方をマスターしましょう！

⑤　予習と復習

〈地誌編〉では予習が重要視されます。地誌は５講しかありません。その分だけ密度も高いですし，授業のテンポもはやくなります（もちろん，ペースがはやいなと思ったら，一旦映像をストップするなどして，自分のペースに合わせて視聴してくださいね）。予習は必須なのです。

とくにすでに系統地理の勉強が終わっており，みなさんにはある程度の地理の力が備わっていると思います。予習についても，さほどの労力は必要としないはずです。

予習に多くの手間をかけることは本来なら効率が悪いことで，決してオススメできることではありませんが，「地誌」の場合は別です。

授業は練習問題を中心に進めていきますので，少なくともその内容には目を通しておいてください。解ける問題も多いと思いますので，無理のない範囲で解いておきましょう（わざわざ教科書や参考書を調べる必要はありませんので，あくまで自分のできる範囲で）。その際に，テキスト部分も必ず読んでおくこと。問題に対するアプローチを解説していますし，さらに単に問題を解くだけではない，発展的な内容もそこでは触れています。立体的な学習のために，「テキスト＋練習問題」の活用は必須となります。

また繰り返しますが，地誌学習における地図（地図帳）の重要性は高いので，簡単でいいので，練習問題やテキストにおいて登場している地名や都市について場所を確認しておくといいでしょう。

さらに復習です。受講後，再度テキストに目を通し，練習問題を解いてみましょう。地誌は「覚える」ことが大切です。練習問題の内容をそのまま覚えるぐらいの気持ちで取り組んでくださいね。

そして仕上げとして「確認問題」に取り組んでください。一部発展的内容も含まれていますが，ここまでしっかりと勉強してくれたみんなならば，各講に用意してある確認問題について「パーフェクト」が狙えるはずです。知識を定着させましょう。

⑥　国公立二次・私大受験生のみなさんへ

おそらく多くのみなさんが，共通テストを受けるために本講座を利用されているのだと思います。しかし，もちろん国公立二次や私大の受験において地理を利用したいというみなさんもいますよね。「何だ，共通テストに特化した講座ならば，私たちは関係ないんだ」と思っている人もいるかもしれませんが，それは違いますよ。気は抜かないでください。国公立二次や私大の入試こそ，「地誌」的な知識がとくに重要となるのです。共通テストで登場する地名・都市名は限定的であり，最悪の場合それらを十分に知らなくとも，思考することで対応できる場合もあります。それに対し，国公立二次や私大においては地名・都市名がそのまま出題されることが多く，知らなければ全く歯が立たないどころか，そういった知識問題で正解するか否かが合否のカギを握ることが多々あります。国公立二次・私大受験生だからこそ，この〈地誌編〉の講座は必修として取り組んでください。最低限の地名・都市名を覚え，さらに地誌学習のコツをつかんで，それぞれの大学の実践的な対策へと結びつけましょう。

⑦　では，楽しく「地誌」の勉強を始めましょう

いかがだったでしょうか。本講座の意義や内容，そして取り組みについて理解してくれましたか。系統地理だけでは十分でない，より発展的な内容を〈地誌編〉の講座を通じて習得し，地理マスターの道をめざしてください。世界全体に視野を広げることで，受験だけではない，より広い知識が得られるはずです。「大学に入ったらどこに旅行に行こうかな」みたいな気楽な気持ちで受講するのもいいかも知れません。素晴らしい「地誌」の世界を楽しんでください！

目　次

第１講　東アジア・東南アジア ………………………………………… p 6

第２講　南アジア・西アジア・アフリカ ……………………………… p 30

第３講　北ヨーロッパ・西ヨーロッパ ……………………………… p 56

第４講　東ヨーロッパ・ＣＩＳ・カナダ ……………………………… p 82

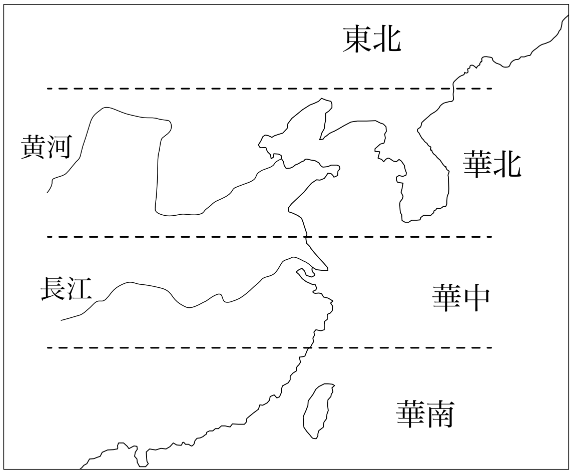
第５講　アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア ……………… p 108

第１講
東アジア・東南アジア

［１］ ソウルは韓国の首都であり，国内総人口の５分の１近くが集中する巨大都市。郊外のインチョンは外港都市として発展し，現在は東アジア航空交通の中心となるハブ空港を有する。プサンは朝鮮半島南岸に位置する国内最大の港湾都市。古い時代から日本とのつながりが強く，現在も九州などと船舶で結ばれている。ポハンは日本海に面する鉄鋼都市。近隣のウルサンでは自動車工業など。

［２］ 中国を地域ごとに捉える。

・東北地方・・・東北平原を中心とする。夏季は比較的高温となり，大豆の生産が盛んだが，冬季はシベリア高気圧の影響により極めて低温で少雨となる。
・華北・・・黄河流域。やや乾燥し，黄河もしばしば水が枯れる(断流)。黄河中流域の黄土高原から砂が巻き上げられ，風によって日本へも運ばれるが(黄砂)，植林運動によって森林の回復もみられる。冬小麦や雑穀の栽培。
・華中・・・長江流域。降水量が豊富で(年降水量1000mm以上)沖積平野では米作が盛ん。中流部のスーチョワン盆地は米と冬小麦の二毛作。
・華南・・・亜熱帯性の気候で，台風の影響でとくに夏季に多雨。丘陵地では茶の栽培もされるが，水田に適した土地は少なく，二期作が行われる。
・北西部(シンチヤンウイグル自治区)・・・テンシャン山脈など険しい山々に囲まれた盆地には砂漠が広がる。
・南西部(チベット自治区)・・・標高4000mに達する冷涼少雨の高原。ヤクの遊牧が行われている。



［３］ 中国の省で重要であるのは２つ。スーチョワン省は長江中流部に広がる盆地を中心とする。米と小麦の二毛作が行われる豊かな農業地域で，地域人口（＊）は１億人に達する。ただし，経済レベル（１人当たり省内総生産）は低く，高賃金の雇用を求め沿海部への出稼ぎが生じている（民工潮）。なお，1997年にスーチョワン省からチョンチン市が中央直轄市として分離している。

さらにコワントン省。フーチエン省などとともに華南地域を構成しているが，山がちな地形で耕地に恵まれず，かつて多くの移民が生じた（華僑）。しかし，19世紀に入り，イギリス人の手によってホンコンの港が開かれ，さらに1980年代以降は経済特区を中心に工業化が進み，経済成長率は極めて高い。内陸部からの出稼ぎ労働者を多く迎え入れている。

（＊）スーチョワン盆地に位置するスーチョワン省とチョンチン市の人口の合計。

［４］ 中国には５つの自治区が設けられ，それぞれ少数民族により自治が行われている。

・内モンゴル自治区・・・モンゴル人による遊牧文化がみられ，移動式住居であるパオが利用されていた。チベット仏教（ラマ教）が主に信仰される。

・シンチヤンウイグル自治区・・・シルクロードに沿い，イスラームが伝えられた。内陸砂漠が広がり，ウイグル人はオアシス農業により小麦や綿花の栽培を行っている。近年は油田やガス田の開発も進み，パイプラインによって資源は沿海部へと送られている。

・ニンシヤホイ族自治区・・・アラブ系をルーツとするホイ（回）族を中心とする。黄河沿いで綿花の栽培など。

・チベット自治区・・・標高4000mの高原を中心とする。冷涼少雨の気候がみられ，チベット人によってヤクの遊牧が行われている。近年，鉄道が開通し，沿海部との交流も活発になった。区都ラサには，チベット仏教（ラマ教）の総本山であるポタラ宮がある。

・コワンシーチョワン族自治区・・・ベトナムに接する。温暖多雨の米作地域で，チョワン族は国内の少数民族として最も人口が多い。仏教（大乗仏教）が信仰されている。

［５］ 中央直轄市は４つ。首都ペキン，その外港都市テンチン，最大の商工業都市シャンハイ，スーチョワン盆地の東部を占めるチョンチン。

資源と結びつく都市としてとくに重要であるのは東北地方の中心に位置するター

チンであり，国内最大の油田が位置する。同じく東北地方の遼東半島の付け根に位置するアンシャンは国内最大の鉄山に近接し，鉄山立地型の鉄鋼業が栄えた。三大鉄鋼基地の一つ(他の２つはパオトウとウーハン)。ただし，近年は輸入した鉄鉱石と石炭への依存率が高まり，沿海部の鉄鋼生産が急増している。シャンハイ郊外のパオシャンなど。

1980年代の改革開放政策によって華南地域に５つの経済特区が設けられた。安価な労働力を求める外国からの工場が進出。アモイ(台湾に近接)やシェンチェン(ホンコンに近接)など。とくにシェンチェンの成長は著しく，その人口の多くはスーチョワン盆地からの出稼ぎ者で占められている。

［6］ 東南アジアは，環太平洋造山帯とアルプス･ヒマラヤ造山帯の境に位置し，複雑な地形が生まれている。タイランド(シャム)湾やマラッカ海峡など大陸棚の広がる浅い海域がある一方，フィリピン諸島の東岸とインドネシア・スマトラ島とジャワ島の南岸に沿って海溝が走行する。巨大地震の震源地となり，周辺に火山も多い。

インドシナ半島には長大な河川もあり，その代表がメコン川である。中国に水源を発し，ベトナム南部に河口を有する国際河川。

［7］ 東南アジア11か国について，主に信仰されている宗教を確認しよう。

・フィリピン・・・カトリック。スペイン植民地時代に宣教師が送られた。
・ベトナム・・・仏教(大乗仏教)。北伝仏教。日本と同じ。漢字文化を持っていた国である。
・タイ・ミャンマー・ラオス・カンボジア・・・仏教(上座部仏教)。男子は出家し，修行に励む。仏教は托鉢の習慣があり，温暖多雨な農業地帯に広まった。とくにインドシナ半島にはメコン川，チャオプラヤ川など大河川が多く，その沖積低地では米作が盛ん。
・シンガポール・・・中国系住民が多く儒教や道教の文化もあるが，キリスト教徒やムスリムも多く，多様。
・マレーシア・ブルネイ・インドネシア・・・イスラーム。香料交易のためアラブ商人が訪れ，イスラーム化されていった。イスラームは商人の宗教である。
・東ティモール・・・カトリック。ポルトガル植民地時代に広まった。

例外的な地域として，フィリピン南部のミンダナオ島(イスラーム)とインドネシアのバリ島(ヒンドゥー教)がある。

［8］ 東南アジアの旧宗主国を整理しよう。

・フィリピン・・・スペインからアメリカ合衆国。英語が公用語の一つである。

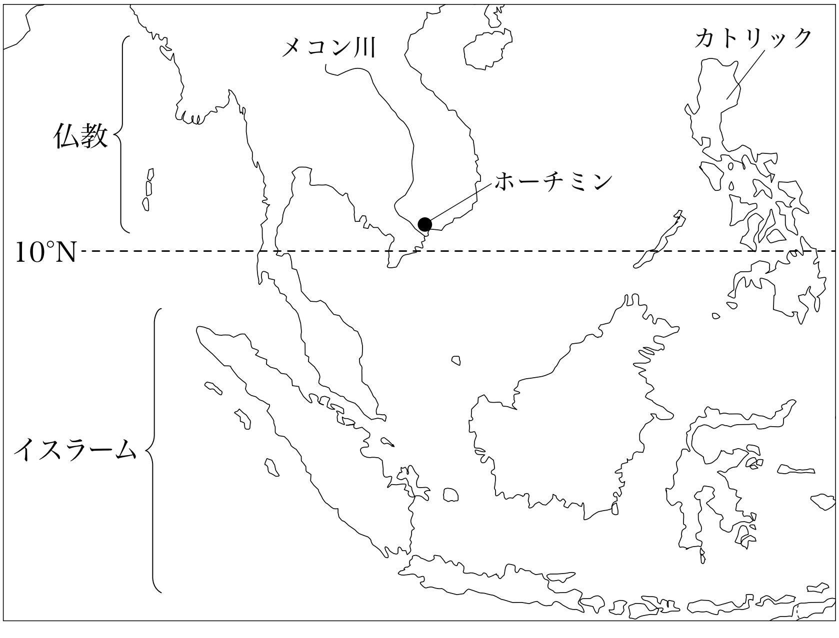
・ベトナム・ラオス・カンボジア・・・フランス。コーヒーを飲む文化が伝わった。

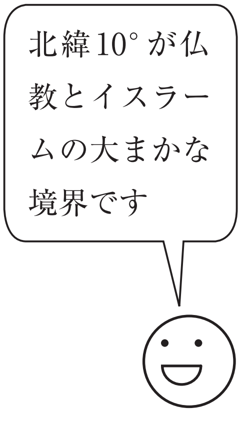
・タイ・・・独立を維持。インドシナ半島の中心部に位置し，フランス領とイギリス領との緩衝地帯となった。

・ミャンマー・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・・・イギリス。植民地時代にマレー半島においてイギリス系の天然ゴムのプランテーションが多く開かれた。

・インドネシア・・・オランダ。アラブ人の後に香料貿易を支配したのは商業国家オランダである。なお，オランダは教育や言語の普及については熱心でなかったため，旧植民地ながらインドネシアではオランダ語は広まらなかった。公用語はインドネシア語のみ。

・東ティモール・・・ポルトガル。一時期インドネシアの支配下にあったが，2002年に独立。





［９］　東南アジアの都市について整理しよう。人口1000万人を有する巨大都市は，マニラ大都市圏（フィリピン）とジャカルタ（インドネシア）。とくにジャカルタの位置するジャワ島は人口過密であり，周辺の島々への移住も進む。

・バンコク（タイ）・・・人口800万人に達し，タイの総人口の１割程度が集まるプライメートシティ。タイは国内の都市人口割合が50％程度に過ぎず，バンコク以外に人口が大きな都市は存在しない。
・ホーチミン・・・ベトナム南部。人口700万人を超える大都市で，広大なメコン川のデルタに位置する。近年は商業的な米作も行われている。首都は北部のハノイ。
・シンガポール・・・同国（人口約600万人）の首都。中継貿易で栄える。１人当たりGNIが高いため，第２次産業（製造業など）から第３次産業（商業・金融業など）への転換が進んだ。

［10］　東南アジアの国々は，１人当たりGNIによって４つのランクに区分される。

高所得国；シンガポール（中継貿易港として発展）・ブルネイ（天然ガスの輸出）

工業国；マレーシア（先端産業の発達もみられる）・タイ（自動車工業が拡大）

新興国；インドネシア（石炭や原油，天然ガスの輸出）・フィリピン（出稼ぎを送り出す国であるが，近年工業化が進む）・ベトナム（社会主義国であるが市場経済化を進める）

後発発展途上国；カンボジア（かつて凄惨な内戦）・ミャンマー（近年再び軍事政権となった）

（注）ラオスは人口規模が小さいこともあり計算上は１人当たりGNIはベトナムより高くなっているが，内陸部に位置し外国からの企業進出も少ない。工業化は進んでいないと考えられる。

①「繊維工業」，②「工業化は停滞」，③「自動車工業」，④「知識集約型工業」というキーワードに注目しながら，それぞれの国の経済発展の状況を考えよう。

第１講
東アジア・東南アジア［練習問題］

［１］（2009年度地理Ａ追試験第４問問３）

次の**カ**～**ク**の文は，図**１**中のソウル，プサン，ポハンのいずれかの都市の特徴について述べたものである。**カ**～**ク**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

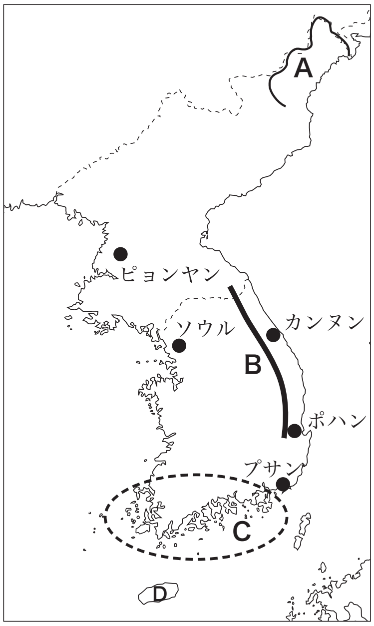


図　１

カ　国内における政治・経済・文化の中心地であり，外資系企業が多く進出している。

キ　1960年代後半以降，日本企業の協力による製鉄所も建設され，重工業都市へと発展した。

ク　国内第２位の人口をもつ都市であり，古くから日本との交通の要地となっている。

	カ	キ	ク
①	ソウル	プサン	ポハン
②	ソウル	ポハン	プサン
③	プサン	ソウル	ポハン
④	プサン	ポハン	ソウル
⑤	ポハン	ソウル	プサン
⑥	ポハン	プサン	ソウル

［２］（2005年度地理Ｂ本試験第３問問２）

次の図２中の①～④は，図１中のア～エのいずれかの地点とペキンとを結ぶ線に沿った地形断面を示している。地点ウとペキンとの間の地形断面図として最も適当なものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。ただし，水平距離に対して垂直距離は約200倍で表現してある。

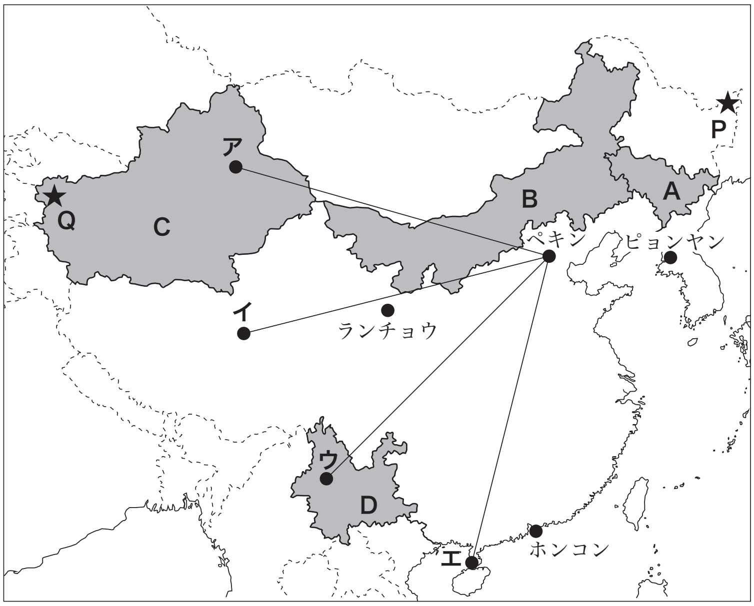


図　1

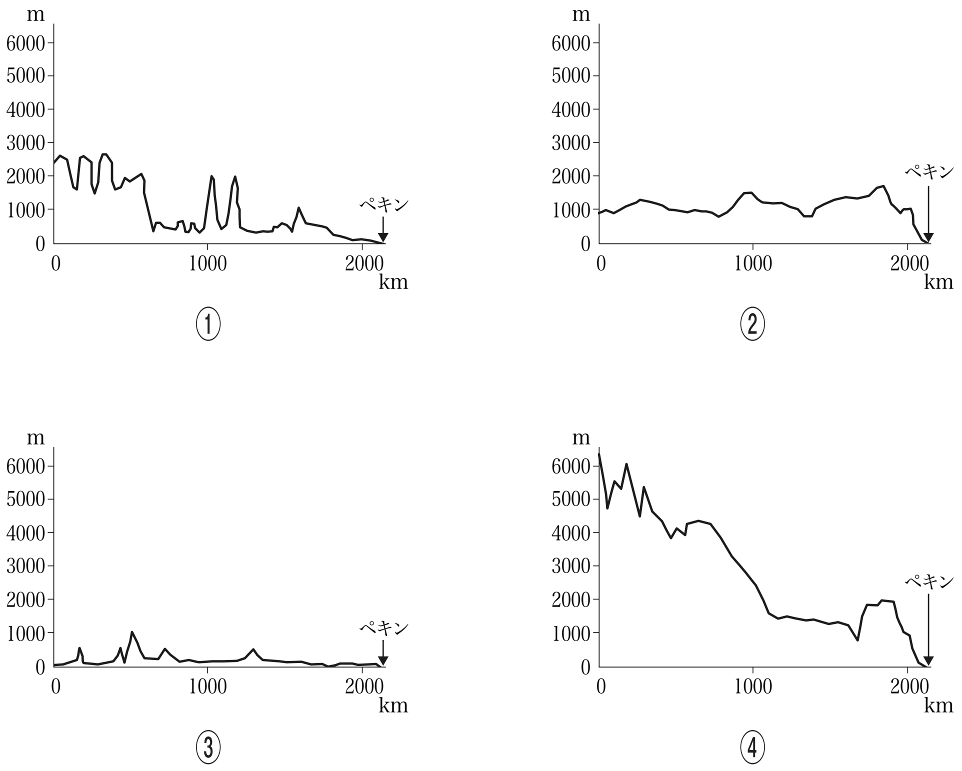


図　２

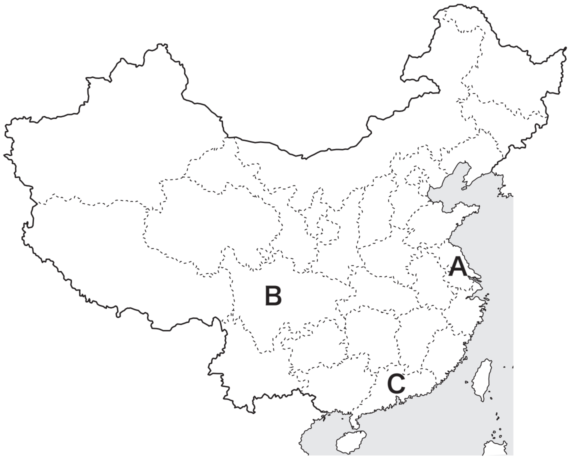
［3］（2000年度地理Ｂ追試験第３問問１）

次の文章**ア～ウ**は省別に1996年現在の中国国内の様子を述べたものである。下の図中の**Ａ～Ｃ**は**ア～ウ**に該当する省のいずれかの位置を示したものである。**ア～ウ**と**Ａ～Ｃ**の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　中国の省の中で最大の人口を有する。米の生産量が全国で第２位の農業地域であるが，多数の農民が省外へ出稼ぎに出ている。

イ　かつては東南アジア各地に移住者や出稼ぎ者を送り出す貧しい地域であった。改革・開放政策で外国資本の導入が進み，経済が急速に発展した。

ウ　改革・開放政策で工業が著しく発展し，工業生産額は全国第１位である。長江に沿った湖沼の多い地域で，米や小麦の生産が多くみられる。



	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

［４］（2015年度地理Ａ本試験第３問問４）

次の**カ**～**ク**の文は，図１中の**Ｋ**～**Ｍ**で示されたいずれかの自治区を主とする中国の少数民族について述べたものである。**Ｋ**～**Ｍ**と**カ**～**ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

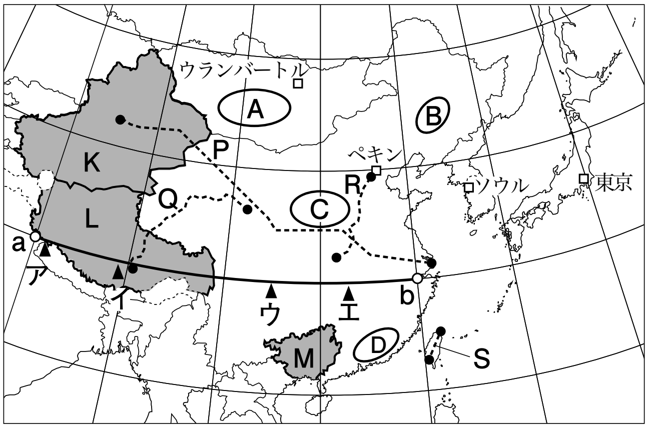


図　1

カ　中国の少数民族の中では最も人口が多く，生活には仏教や道教の影響がみられる。

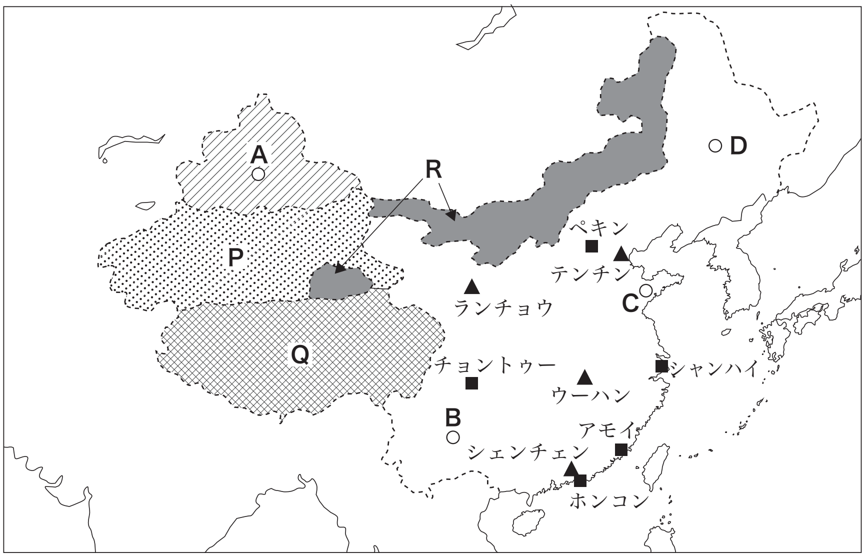
キ　羊やヤクの遊牧がみられ，独自の発展を遂げた仏教にもとづいて生活する人が多い。

ク　文字の表記にはアラビア文字をもとにした字体が主に使われているが，漢語を話す人も増えている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
K	カ	カ	キ	キ	ク	ク
L	キ	ク	カ	ク	カ	キ
M	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［5］（2009年度地理Ａ本試験第４問問７）

次の①～④は，図１中に示した工業都市であるウーハン(武漢)，シェンチェン(深圳)，テンチン(天津)，ランチョウ(蘭州)のいずれかについて述べたものである。シェンチェンについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。



国境線は，設問にかかわる部分のみを記入した。「中華人民共和国地図集」などにより作成。

図　1

① 中央直轄市の一つで，豊富な鉱産資源を背景に鉄鋼業や機械工業などが発達している。

② 経済特区として最も早く指定された都市であり，外国企業が進出し，軽工業，電気・電子工業などが発達している。

③ 水陸交通の要地で商工業が発達するとともに，中国における三大鉄鋼コンビナートの一つが立地している。

④ 古くから交通の要地として栄えた都市であり，現在は石油精製工業を中心とした化学工業や機械工業が盛んである。

［６］（2010年度地理Ａ追試験第４問問１）

図１に示した地域における自然環境について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

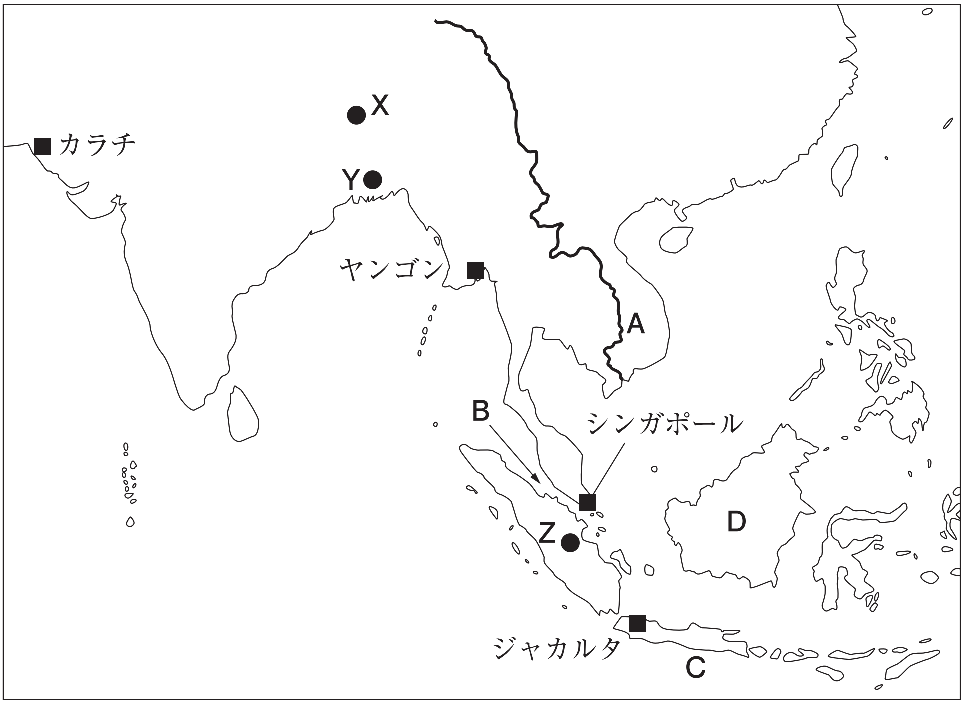


図　１

① Ａ川は，南シナ海にそそぐ国際河川であり，下流域には三角州（デルタ）が形成されている。

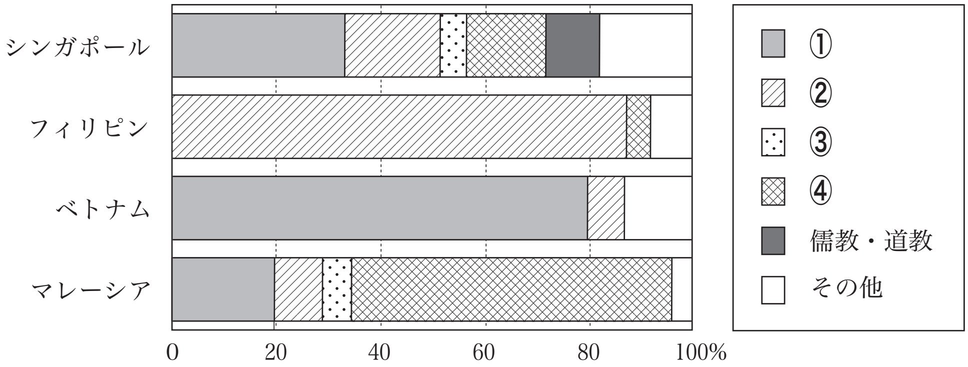
② Ｂ海峡は，海溝があるため水深が深く，大型船舶が通航し国際的に重要な航路となっている。

③ Ｃ島は，新期造山帯に属しているため，火山活動が活発である。

④ Ｄ島は，大半が熱帯雨林に覆（おお）われ，海岸部ではマングローブがみられる。

［７］（2014年度地理Ａ追試験第３問問５）

次の図３は，シンガポール，フィリピン，ベトナム，マレーシアにおける宗教別人口の割合を示したものであり，①～④はイスラーム(イスラム教)，キリスト教，ヒンドゥー教，仏教のいずれかである。イスラームに該当するものを，図３中の①～④のうちから一つ選べ。



宗教別人口の割合が５％以下の場合にはその他に含めた。
統計年次は2010年。
ASEAN-JAPAN Centreの資料により作成。

図　３

［８］（2012年度地理Ｂ追試験第４問問４）

図１中のＰ～Ｓのいずれかの国における経済や文化について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

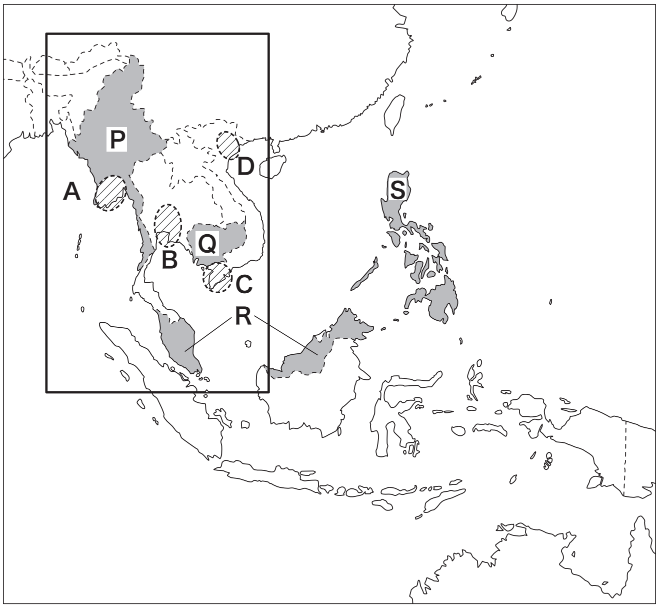


図　1

① Ｐ国では，欧米諸国の植民地化を免れたために，ビルマ語や仏教信仰など独自の文化が維持されている。

② Ｑ国では，長期にわたる内戦や政情不安から，多くの出稼ぎ労働者が経済発展を遂げる近隣の国々に流出している。

③ Ｒ国では，マレー系住民への優遇政策により，マレー系住民の社会・経済的地位が中国系やインド系の住民を凌(しの)ぐようになった。

④ Ｓ国では，公用語としてスペイン語と英語が使われており，植民地時代の影響を色濃く残している。

［９］（2005年度地理Ｂ追試験第４問問５）

国際化の進展は人々の移動を促進させている。次の**サ～ス**の文章は，シンガポール，バンコク，ホーチミンのいずれかにおける人々の移動などについて述べたものである。**サ～ス**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

サ　日本企業の進出も多く，ビジネス目的の旅行者も多い。街中いたるところに仏教寺院があり，多くの観光旅行者が訪れる。郊外には世界遺産に登録された古都がある。

シ　フランス統治時代の建築物が街の中心部に数多く残る。この国最大の都市で，経済政策の転換によって海外との交流が活発化し，日本人旅行者も増加している。

ス　早くから中継貿易の拠点として成長し，都心部には国際的な金融機関などが入居する高層ビルが建ち並んでいる。隣国からの通勤者もみられ，英語をはじめとする複数の言語が使用されている。

	サ	**シ**	**ス**
①	シンガポール	バンコク	ホーチミン
②	シンガポール	ホーチミン	バンコク
③	バンコク	シンガポール	ホーチミン
④	バンコク	ホーチミン	シンガポール
⑤	ホーチミン	シンガポール	バンコク
⑥	ホーチミン	バンコク	シンガポール

[10] （2010年度地理Ａ追試験第４問問５）

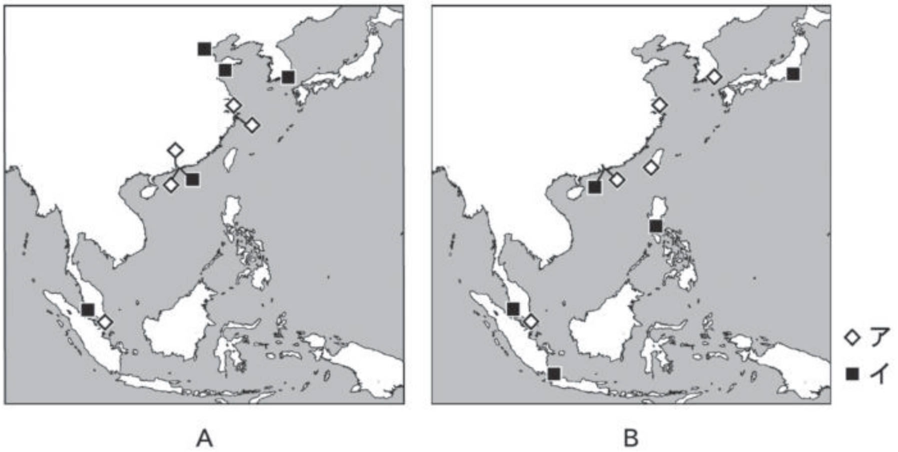
次の①～④の文は，シンガポール，タイ，ベトナム，ミャンマーのいずれかの国における経済発展について述べたものである。ベトナムについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 1980年代半ばから経済開放をすすめ，積極的に外国資本を受け入れたことにより，現在では機械工業や繊維工業が発達している。
② 経済発展をめざして1990年代後半にASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟したが，民主化と経済開放が遅れているため，工業化は停滞している。
③ 日本企業の現地法人数が東南アジアで最も多く，電気機械工業や自動車工業が発達しているほか，農業資源をいかした食品加工業も盛んである。
④ 古くからの中継貿易の拠点であり，1960年代には大規模工業団地が建設されて工業化がすすんだが，現在は知識集約型工業が発達している。

第１講
東アジア・東南アジア［確認問題］

［１］（2021年度地理Ａ本試験第４問問１）

現代の世界は，様々な商品の物流によって互いに結びついている。次の図１は，いくつかの年のコンテナ貨物取扱量について，東・東南アジアにおける上位10位までの港の位置を示したものであり，ＡとＢは2000年と2018年のいずれかである。また，図１中の凡例アとイは，コンテナ貨物取扱量上位１～５位の港と，６～10位の港のいずれかである。2018年の図と上位１～５位の港との正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。



Review of Maritime Transport などにより作成。

図 1

	①	②	③	④
2018年の図	Ａ	Ａ	Ｂ	Ｂ
上位１～５位の港	ア	イ	ア	イ

［２］（2003年度地理Ａ本試験第２問問２）

次の文**カ**～**ク**は，下の図**１**中の**Ａ**～**Ｃ**で示されたいずれかの自治区を主たる居住地とする中国の少数民族やその生活について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ａ**～**Ｃ**の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　チベット仏教(ラマ教)に基づいて生活する人が多い。

キ　オアシス農業や放牧が農業の中心となっている。

ク　中国の少数民族の中では最大の人口をもつ。

図　**1**

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	A	A	B	B	C	C
キ	B	C	A	C	A	B
ク	C	B	C	A	B	A

［３］（2004年度地理Ｂ本試験第４問問２）

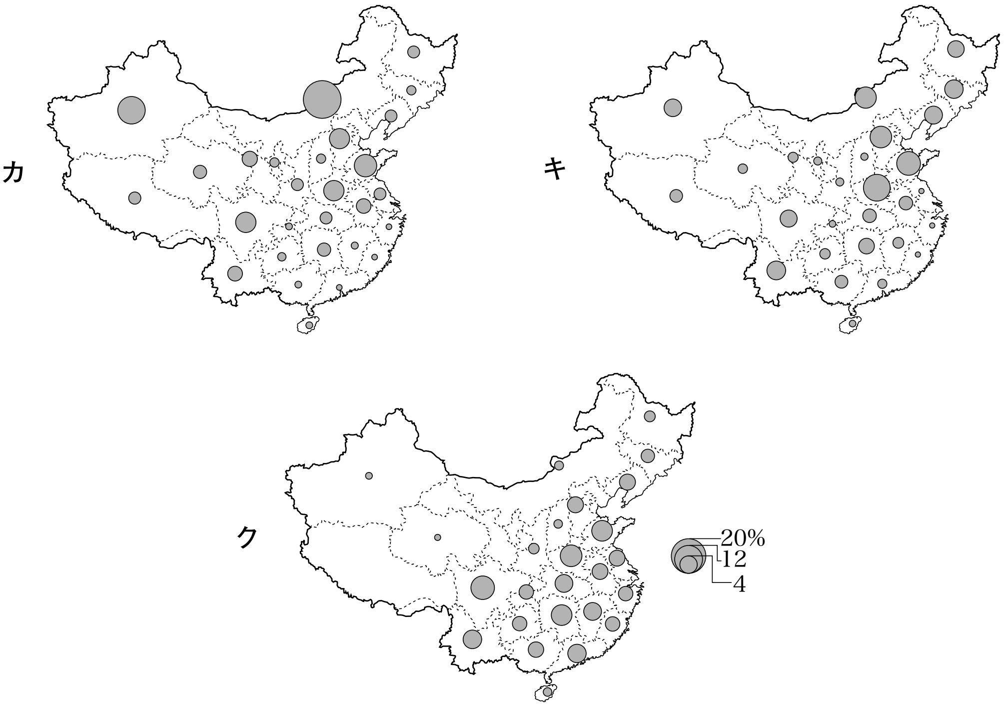
次の①～④の文は，中国の四つの都市，シェンチェン(深圳)，シャンハイ(上海)，テンチン(天津)，ホンコン(香港)のいずれかについて述べたものである。シェンチェンについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 経済技術開発区をもつ直轄市で，首都の外港として機能している。
② 中国の特別行政区で，国際的な金融センターとして機能している。
③ 中国最大の商工業都市で，外国資本を導入した開発が進展している。
④ 経済特区に指定され，工業化と市街地の拡大が急速に進んでいる。

［4］（2013年度地理Ｂ追試験第４問問２）

次の図２は，中国(＊)における主な肉類の生産量について，中国全体に対する省(直轄市･自治区を含む)ごとの割合を示したものであり，**カ**～**ク**は牛肉，羊肉，豚肉のいずれかである。**カ**～**ク**と品目名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

(＊)台湾，ホンコン，マカオを含まない。



統計年次は 2009 年。『中国統計年鑑』により作成。

図　２

	①	②	③	④	⑤	⑥
牛肉	カ	カ	キ	キ	ク	ク
羊肉	キ	ク	カ	ク	カ	キ
豚肉	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［５］（2009年度地理Ｂ追試験第３問問４）

次の①～④の文は，シンガポール，タイ，ブルネイ，マレーシアのいずれかの国の鉱工業について述べたものである。タイについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 中継貿易港の利点をいかし，早くから輸出指向型の工業化を進め，造船，石油化学，電気機械・電子などの工業が成長した。
② かつては世界最大のすず鉱の産出国であったが，現在では外国企業の進出によって，電気機械・電子工業が主要産業となっている。
③ １人当たりGDP（国内総生産）は高い水準にあるが，原油や天然ガスの産出が中心で，輸出に占める工業製品の割合は10％ほどである。
④ 食料品工業や繊維工業に加え，外国企業の進出によって，自動車工業をはじめとした機械工業の成長が著しい。

［６］（1997年度地理Ｂ本試験第２問問６）

次の表１は，シンガポールとマレーシアについて，それぞれの国の総人口と，主な民族別の人口構成を示したものである。両国がとっている民族・言語政策として適当なものを，下の文①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選び，シンガポールについては(1)に，マレーシアについては(2)に答えよ。

表　１

国名	総人口(万人) 1993年	各民族の構成比(％)		
		中国系	マレー系	インド系
シンガポール	287	78	14	7
マレーシア	1,905	29	63	8

「Buku Tahunan Perangkaan」，「Yearbook of Statistics Singapore」による。

① 中国語のみを公用語とし，多数派である華人を優遇する政策をとっている。
② 中国語，マレー語，タミル語に加え，英語も公用語とすることによって，国家の統合をはかろうとしている。
③ 民族間の対立を避けるため，各民族の言語を用いず，英語とフランス語を公用語としている。
④ 多数派の言語であるマレー語のほかに，中国語，タミル語を公用語とすることによって，国家の統合をはかろうとしている。
⑤ マレー語を公用語とし，多数派であるにもかかわらず経済的には低い地位におかれているマレー人を優遇する政策をとっている。

〈Note〉

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ

［１］ 南アジアの降水量は，全体的に東部で多く，西部で少ない。とくにパキスタンは国土のほぼ全域が乾燥帯に含まれ，外来河川インダス川からの灌漑によって農業が成立している。バングラデシュなど東部はサイクロンの影響も大きく，ガンジス川の形成する巨大なデルタはしばしば水害に見舞われる。

なお，カトマンズはネパールの首都。ヒマラヤ山脈の南側斜面に位置する高山都市である。

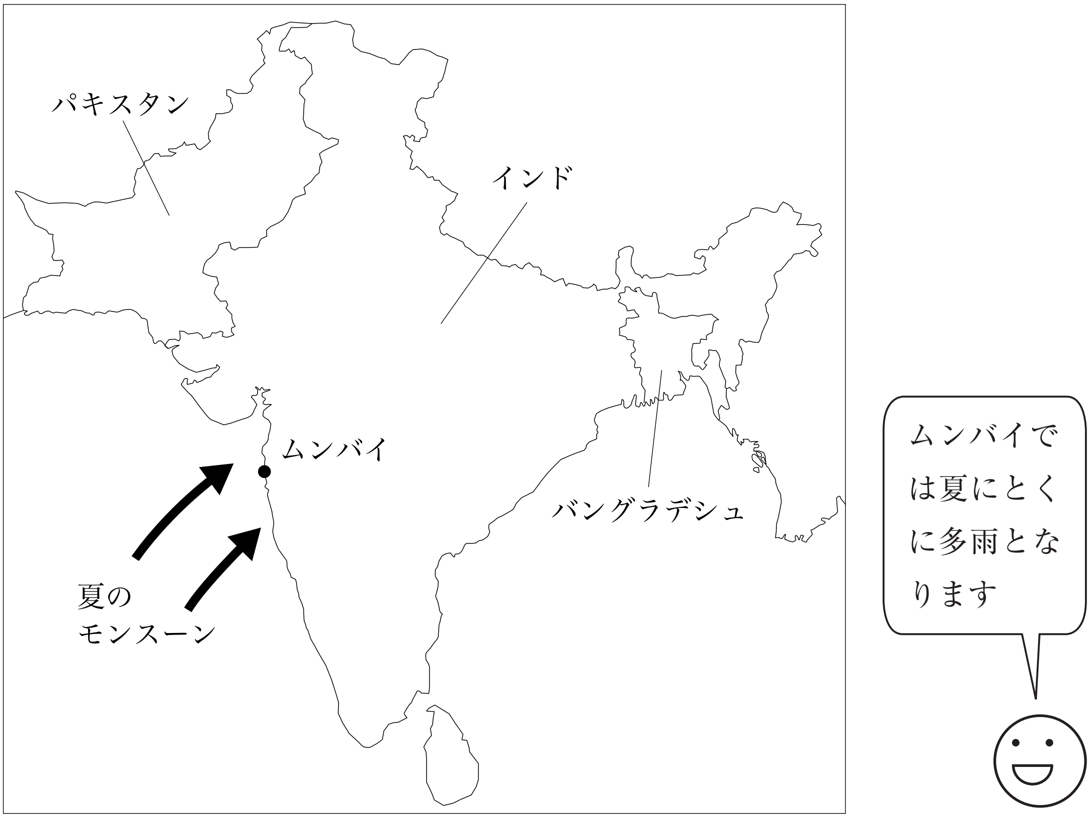
［２］ 南アジアの宗教構成は重要。
バングラデシュ・・・イスラーム。かつてパキスタンと連邦国家を形成。
インド・・・ヒンドゥー教徒。ただし東部にはムスリムも多い。
パキスタン・・・イスラーム。
スリランカ・・・多数派シンハラ人は仏教徒だが，北部の少数派タミル人はヒンドゥー教徒(インド半島から移住)。
カシミール地方・・・藩王はヒンドゥー教，領民はイスラーム。インドとパキスタンが帰属を争う。

各宗教の特徴も知っておこう。
仏教・・・托鉢の習慣があるため，豊かな農業地域にのみ伝播。日本やベトナムには大乗仏教(漢字文化)，スリランカやインドシナ半島には上座部仏教。とくに上座部仏教においては，男子は出家の義務がある。
イスラーム・・・１日５回の礼拝，聖地メッカへの巡礼，断食(１か月の間，日中は飲食が禁じられる)，豚肉を食することやアルコールの摂取の禁止など，教義が厳格。
ヒンドゥー教・・・搾乳用や使役用に重用される牛を保護する。多産が奨励されている。ガンジス川での沐浴。

インドでは，ヒンドゥー教成立以前より独自の文化がみられる。
カースト制度・・・職業区分であるが，身分差別につながる。憲法では否定されているものの，農村を中心にカースト制に基づく階級区分意識は強く残る。

菜食主義・・・殺生を嫌うインドでは，伝統的に家畜の肉はあまり食されず，菜食が中心。主な動物性タンパク源も生乳や乳製品である。しかし，都市部や若年層の間では鶏肉を主として肉食も増えつつある。

女性差別・・・南アジアや西アジアは女性の社会進出が進まない地域。女性の労働力率が低い。特にインドやパキスタンは女性の識字率も低い（アラブ圏は比較的女性の識字率は高い）。近年は就学率の向上など女性の社会進出を支援する動きもみられるようになっている。



［３］ インドの都市をチェックしよう。

・コルカタ・・・ガンジス川水系のデルタに位置。自然堤防に市街地が広がる。ジュート工業など。

・ジャムシェドプル・・・豊富な資源に恵まれ，20世紀初頭より鉄鋼業が興る。

・デリー・・・首都。市内のニューデリー地区は計画的に開発された。

・ムンバイ・・・インド半島西部に位置し，モンスーンの影響で夏季に降水が集中。綿花栽培地を後背地にもち，綿工業が発達しているほか，自動車工業や石油化学工業なども。

・ベンガルール(バンガロール)・・・「インドのシリコンバレー」。アメリカ合衆国系の企業が，本国との時差が約12時間であることを利用し，コンピュータソフト開発を進める。

［４］ 西アジア諸国は，言語系統を主として整理する。

・アフガニスタン・・・インド・ヨーロッパ語族。乾燥した国土をもつ山岳国。遊牧など。一部の地域はイスラム原理主義者によって支配されている。
・イラン・・・インド・ヨーロッパ語族のペルシャ語を使用。イラン革命によりイスラム共和制となる。乾燥した高原では地下水路(カナート)によるオアシス農業が営まれる。産油量は多いが，１人当たりGNIはさほど高くない。
・アラブ諸国・・・イラクやサウジアラビア，ペルシャ湾岸の小国家など。アフリカ・アジア語族のアラビア語を使用。原油算出が盛んで経済レベルが高い国が多く，クウェートやアラブ首長国連邦などは１人当たりGNIが特に高い。王侯による君主国が多い。
・イスラエル・・・アフリカ・アジア語族のヘブライ語を使用。ユダヤ教を信仰するユダヤ人によって，第二次世界大戦後に建国された。周辺アラブ国家との対立がみられ，GNIに占める軍事(国防)費の割合が高い。
・トルコ・・・アルタイ諸語のトルコ語を使用。首都は内陸部のアンカラだが，人口最大都市は海峡に面するイスタンブール。東ローマやオスマン帝国の都として栄え，ヨーロッパとアジアの文化が交差する。ムスリムが多いが，政教分離が徹底している。

農業に関しては気候条件との関係が重要。地中海性気候地域では地中海式農業，それ以外の乾燥地域では遊牧やオアシス農業。イラクなど低地では外来河川（チグリス・ユーフラテス川）からの取水によって，イランなど高原においては地下水路を利用して，それぞれ小麦やナツメヤシの栽培がみられる。サウジアラビアでは地下水を利用したセンターピボット農法で穀物栽培が行われている。

［５］ 紀元前にパレスチナ地方においてユダヤ教が生まれ，それを元としてキリスト教が，さらに新しい時代にイスラームが，それぞれ成立。いずれもエルサレムを聖地の一つとする。

・イスラエルの成立・・・紀元前に古代イスラエルは滅亡し，ユダヤ人たちは世界中へと離散した。20世紀に入り，その子孫たちはパレスチナ地方に集まり，1948年に新国家イスラエルを建国した。しかし，その際にアラブ系ムスリムであるパレスチナ人たちは土地を失い，周辺国へと難民として流出した。ユダヤ人とパレスチナ人の対立は現在も続く。

［6］

・クルド人・・・トルコ・イラン・イラクなど複数の国にまたがって居住する山岳民族。人口は多いが，自民族による国をもたない。それぞれの国で迫害を受ける。

・チェチェン人・・・ロシアのカフカス地方に居住(チェチェン共和国)。ムスリムであり，自治権拡大や分離独立を求める動きも。

・パレスチナ人・・・パレスチナ地方(現在のイスラエル)に居住していた人々で，アラブ系のムスリム。イスラエル建国の際に居住地を追われ，難民となって周辺国へと流出した。

［7］ アフリカの地形環境。

安定陸塊の卓状地が広い範囲を占める。古大陸ゴンドワナランドの一部であり，高原状の地形となっている。低地の割合が低い。

北西部のアトラス山脈は新期造山帯に含まれる褶曲山脈であり，南東部のドラケンスバーグ山脈は古期造山帯で石炭を産出する。

大陸東部には巨大な断層(アフリカ大地溝帯)が走行し，プレートの広がる境界となっている。火山や断層湖がみられ，とくにキリマンジャロ山は標高6000m近くに達し，山頂付近には山岳氷河。

［8］ アフリカの気候環境。

アフリカ大陸は北緯35°から南緯35°まで広がり，赤道を中心として線対称的な植生分布がみられる。

赤道周辺(コンゴ盆地・ギニア湾岸)・・・熱帯雨林

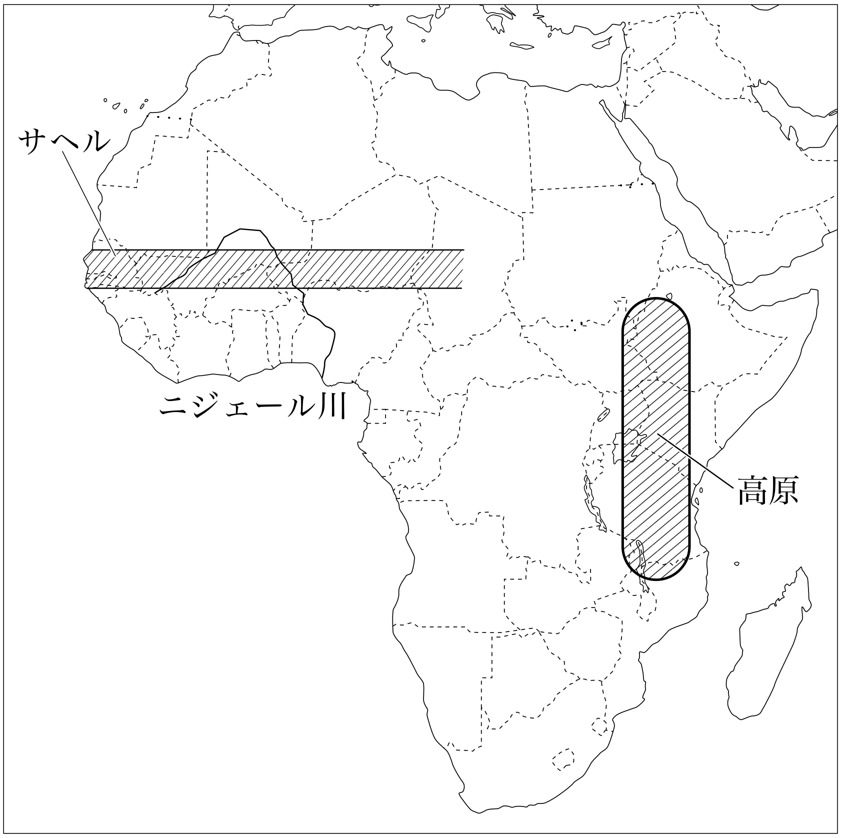
緯度15°付近(サヘル地帯)・・・ステップ

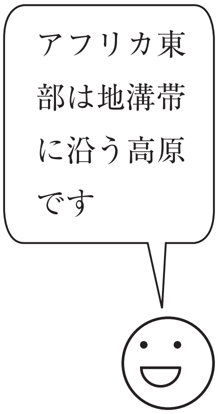
緯度25°付近(サハラ砂漠・カラハリ砂漠)・・・砂漠

緯度35°付近(モロッコ沿岸部・ケープタウン)・・・硬葉樹(地中海性灌木林)

図**１**は，「１」に注目しよう。スタート地点はいずれも低緯度の地点であるが，図**３**を参照すると**ウ**のみ気温が低くなっている。

さらに**ア**と**イ**の判定については植生がポイント。熱帯雨林と砂漠の分布を考える。沿岸部でも砂漠になっている地域に注意。





［**9**］　アフリカの民族と言語について。

アフリカはサハラ以北の北アフリカとサハラ以南アフリカに大別される。北アフリカは主にアラブ人が居住し，彼らの使用するアラビア語はアフリカ・アジア語族に分類される。サハラ以南アフリカの人々はこれとは異なり，ニジェール・コルドファン諸語などに属する言語を使用している。こちらはとくに経済レベルの低い地域であり，衛生環境や食糧事情も悪く，乳幼児死亡率が高く，平均寿命は短い。熱帯地域を中心にマラリアが蔓延し，南部アフリカではHIVの感染者が多い。

言語は，北アフリカではアラビア語が主に使用され，インド洋沿岸ではスワヒリ語を使用する国もある。しかし，サハラ以南アフリカの多くの国は，植民地支配の過程で民族・部族分布を無視して策定された境界が独立後も国境とされたた

め，複雑な言語構成をもつ国も多い。コートジボワールがフランス語，ナイジェリアが英語など旧宗主国の言語が公用語とされている。

なお，宗教は北アフリカとサヘル地帯（セネガルやナイジェリア北部）がイスラームであり，エチオピアがキリスト教（コプト派）。アラブ商人たちが岩塩交易のため，サハラ砂漠を越えて行き来し，イスラームが伝えられた。ニジェール川沿岸のトンブクトゥーはかつての黒人王国マリの都であり，イスラームのモスクがつくられている。

P；ケニア内陸部に注目。赤道直下ではあるが，標高が高く気温が低いため，衛生条件が良く，ヨーロッパから入植が進んだ。ケニア山麓の高原地帯は「ホワイトハイランド」とよばれ，イギリス人によって茶のプランテーションが開かれた。逆に，西アフリカのギニア湾では沿岸部のみに分布。熱帯雨林地域であり，伝染病を恐れ，ヨーロッパ人の入植が内陸部にまで及ばなかった。

Q；北緯15°付近一帯に分布する。やや乾燥した地域であるが，とくに外来河川沿いに展開した都市が多い。

R；インド洋の沿岸に沿う。

コートジボワールという国名はフランス語で「象牙海岸」の意味。ただし，ギニア湾に面する海岸部の植生は熱帯雨林であり，象の生息地域は内陸部のサバナ（疎林と熱帯草原）地域となる。内陸部から海岸の港湾まで象牙が運ばれたのであろう。

ギニア湾の沿岸には多くの港がつくられ，欧米との交易が盛んに行われた。象牙海岸の他，ガーナ沿岸が黄金海岸（内陸部で金鉱が採掘された），ナイジェリア沿岸一帯が奴隷海岸とも呼ばれた。

［10］ アフリカのほとんどの地域は欧米諸国の植民地となっていた。

・旧イギリス領・・・ナイル川沿岸・ガーナ・ナイジェリア・南アフリカ共和国。
・旧フランス領・・・北アフリカと西アフリカの広い範囲（アルジェリア・サヘル地帯・コートジボワール）。マダガスカル。
・旧ベルギー領・・・コンゴ盆地。コンゴ民主共和国のダイヤモンド鉱山を支配。
・旧スペイン領・・・モロッコ南部（西サハラ）。
・旧ポルトガル領・・・アンゴラ・モザンビーク。

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ［練習問題］

［１］（2008年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次のア～ウの文章は，図１中に示したカトマンズ，カラチ，コルカタ（カルカッタ）のいずれかの都市の気候について述べたものである。ア～ウと都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

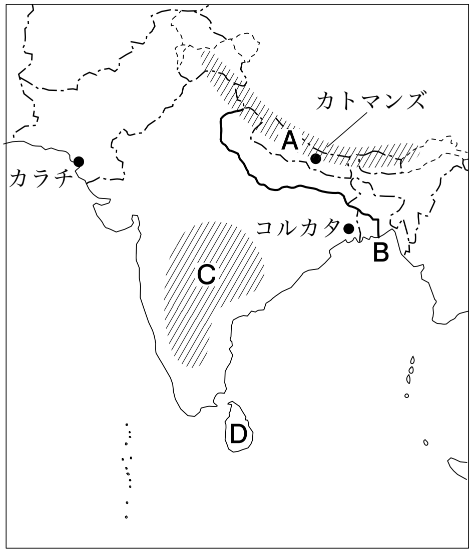


図　１

ア　雨季に年降水量の約４分の３の雨が降り，１年を通して高温である。サイクロンの襲来による被害を受けることもある。

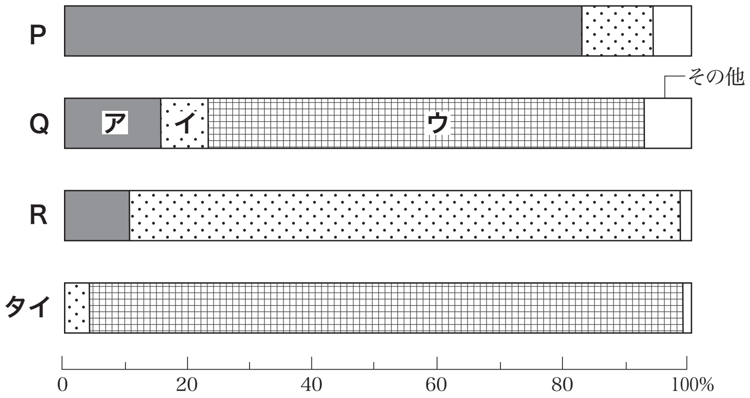
イ　雨季に年降水量の約４分の３の雨が降る。最寒月の平均気温が10℃，最暖月の平均気温が24℃と，１年を通して温暖である。

ウ　年降水量が200mmより少ない。気温の日較差は大きく，日中の気温が40℃を超えることもある。

	ア	イ	ウ
①	カトマンズ	カラチ	コルカタ
②	カトマンズ	コルカタ	カラチ
③	カラチ	カトマンズ	コルカタ
④	カラチ	コルカタ	カトマンズ
⑤	コルカタ	カトマンズ	カラチ
⑥	コルカタ	カラチ	カトマンズ

［２］（2002年度地理Ｂ本試験第３問問４）

次の図４は，インド，スリランカ，バングラデシュのいずれかの国とタイで信仰されている宗教について，宗教別の人口割合を示したものである。図４中の**ア**～**ウ**はイスラム教，ヒンドゥー教，仏教のいずれかであり，下の写真**１**の**ア**～**ウ**はそれらの宗教に関する写真を示している。**Ｐ**～**Ｒ**に該当する国名の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



外務省『アジア・オセアニア各国要覧』などにより作成。

図　４

ア

イ

ウ

写真　1

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	P	Q	R
①	インド	スリランカ	バングラデシュ
②	インド	バングラデシュ	スリランカ
③	スリランカ	インド	バングラデシュ
④	スリランカ	バングラデシュ	インド
⑤	バングラデシュ	インド	スリランカ
⑥	バングラデシュ	スリランカ	インド

［３］（2007年度地理Ｂ追試験第２問問６）

次の図３中の**Ｋ**～**Ｍ**は，インドにおける主要な工業都市を示したものであり，下の**カ**～**ク**の文は，**Ｋ**～**Ｍ**とその周辺地域の工業について述べたものである。**Ｋ**～**Ｍ**と**カ**～**ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

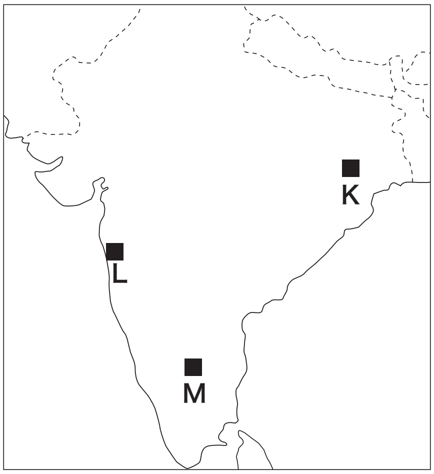


図　３

カ　綿花栽培地域を背景として綿工業が古くから盛んであり，現在では機械や石油化学工業も発展している。

キ　豊富な鉱産資源と水力をいかして，イギリス植民地時代に製鉄所が建設され，鉄鋼業が発展している。

ク　工作機械や航空機などの機械工業が盛んであり，現在では外国企業の進出とともにＩＴ産業が発展している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｋ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Ｌ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Ｍ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［４］（2018年度地理Ｂ本試験第４問問２）

図１中に示したＡ～Ｄの地域でみられる農牧業について述べた文として下線部が**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

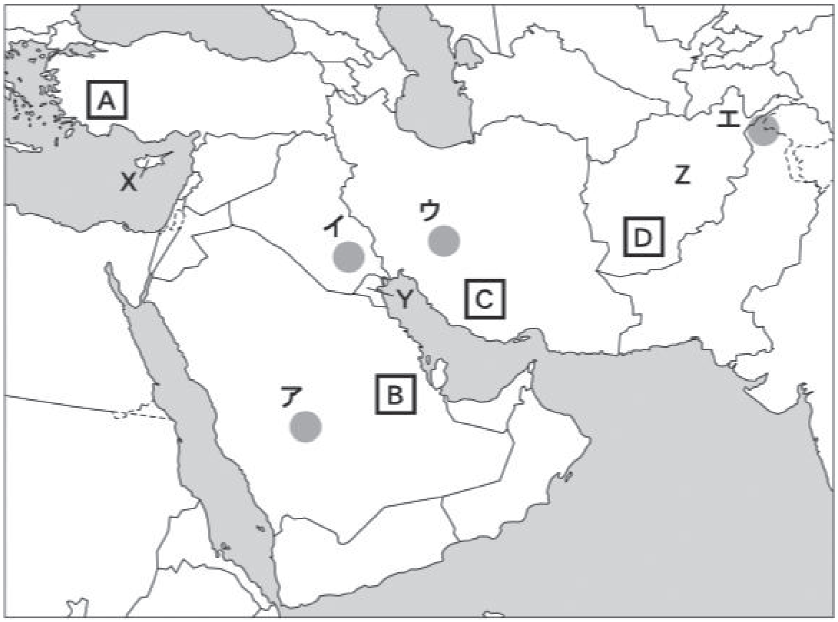


図　１

①　Ａ地域では，夏に乾燥する気候に適したオリーブが栽培されている。

②　Ｂ地域では，大規模な灌漑(かんがい)施設を利用して小麦や野菜が栽培されている。

③　Ｃ地域では，ため池の水を利用してコーヒーが栽培されている。

④　Ｄ地域では，家畜を飼養して乳製品や羊毛が生産されている。

［5］（2002年度地理Ｂ追試験第３問問３）

図1中のBの都市は三つの宗教の聖地であり，それぞれの信者が時に対立しつつ暮らしてきた。これら三つの宗教に**該当しないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

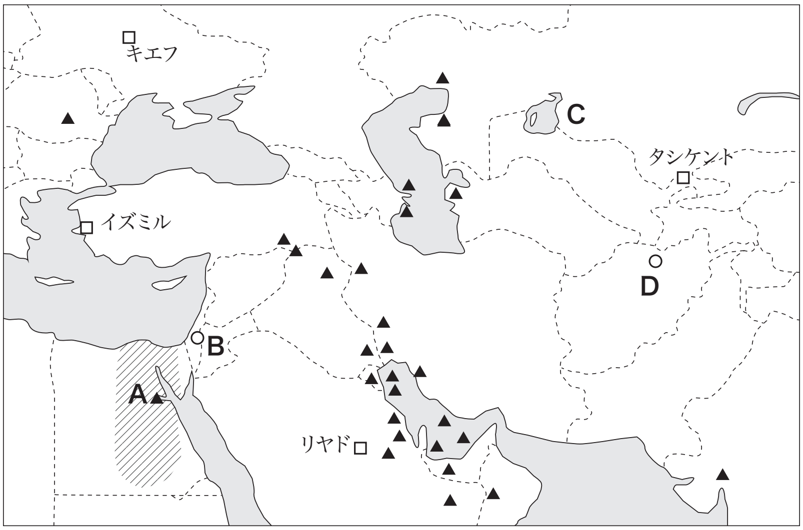
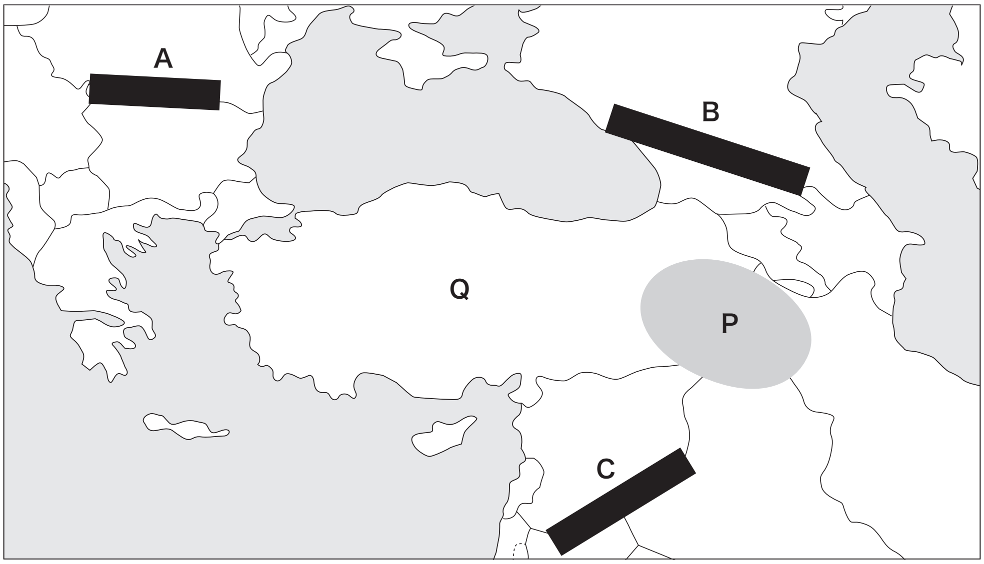


図　1

①　イスラム教　　②　キリスト教　　③　ヒンドゥー教　　④　ユダヤ教

［６］（2003年度地理Ｂ追試験第４問問２）

図中の**P**地域付近には，ある民族が居住している。この民族は自治・独立を要求しているが，難民となっている人々も多い。この民族名として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。



① アルメニア人

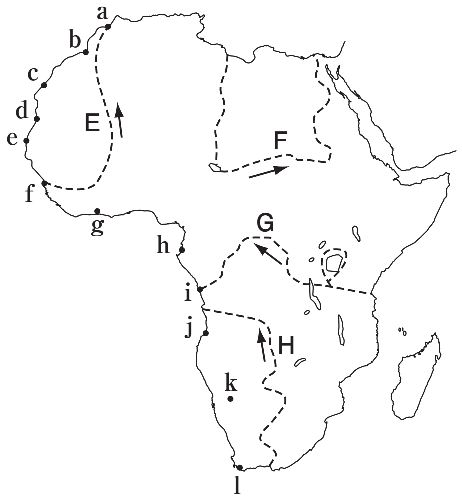
② クルド人

③ チェチェン人

④ パレスチナ(パレスティナ)人

［7］（2003年度地理Ａ本試験第１問問２）

図１中のＥ～Ｈは，19世紀にヨーロッパ人探検家が通ったルートの一部である。それぞれのルートで現在みられる地形の特色を述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。



The Times Concise Atlas World History などにより作成。

図　1

① Ｅルートでは，広大な砂漠を通ってきた後に，活発な噴火活動を行っている火山がみられる。

② Ｆルートは，ほとんどが砂漠地帯を通っており，その途中で，外洋への流出河川をもたない内陸湖がみられる。

③ Ｇルートは，大陸の裂け目である大地溝帯を横断しており，その近くには，山頂が万年雪で覆われた高山がみられる。

④ Ｈルートでは，最初に，海岸の近くに急な斜面があり，その先には広い高原がみられる。

［8］（2007年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次の図３中のア～ウは，図１中のＡ～Ｃのいずれかのルートについて，ルート上のそれぞれの５地点における気温と植生の変化を表したものである。ア～ウとＡ～Ｃとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

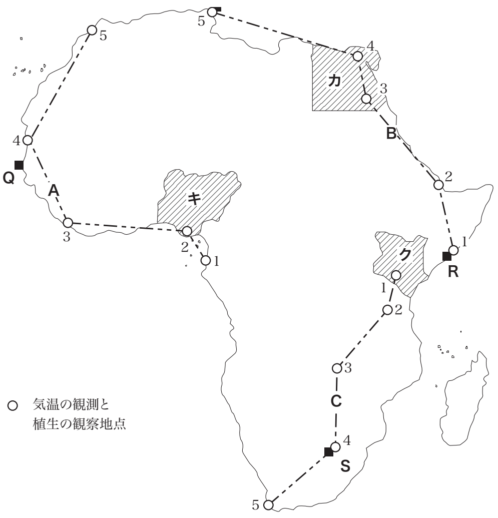
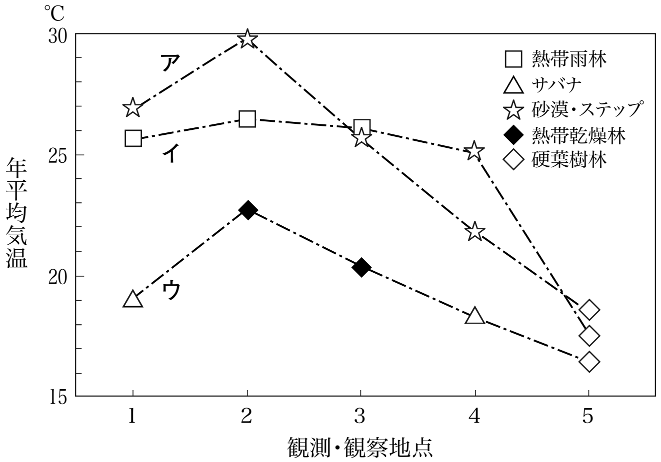


図 1



横軸は地点間の距離を示すものではない。
Diercke Weltatlas などにより作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

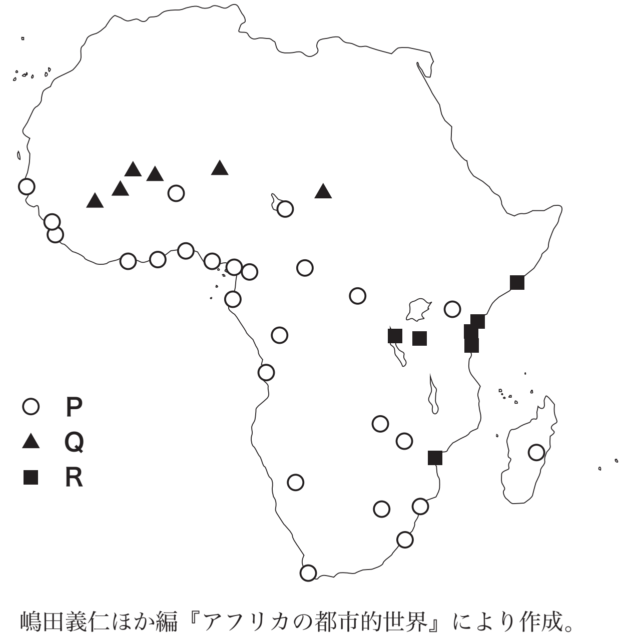
［９］（2011年度地理Ｂ本試験第４問問５）

アフリカの都市は，地域の自然環境の特徴を背景とした歴史的な成り立ちの違いによって類型化できる。次の図４中の**Ｐ**～**Ｒ**は，アフリカのいくつかの都市について，その成り立ちの特徴ごとに分類して示したものであり，下の**サ**～**ス**の文は，そのいずれかを説明したものである。**Ｐ**～**Ｒ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

サ　象牙などを商品とした交易の拠点として成長し，これらの都市を介してスワヒリ語が広がり地域の共通語となった。

シ　二つの異なる気候帯の境界付近に位置し，それらの一方からは岩塩など，他方からは金や森林産物などを商品とした交易の拠点となった。

ス　ヨーロッパ諸国による植民地経営の行政機能をになうものとして発達した都市であり，ヨーロッパ風の建築や街路パターンなどが残っている。



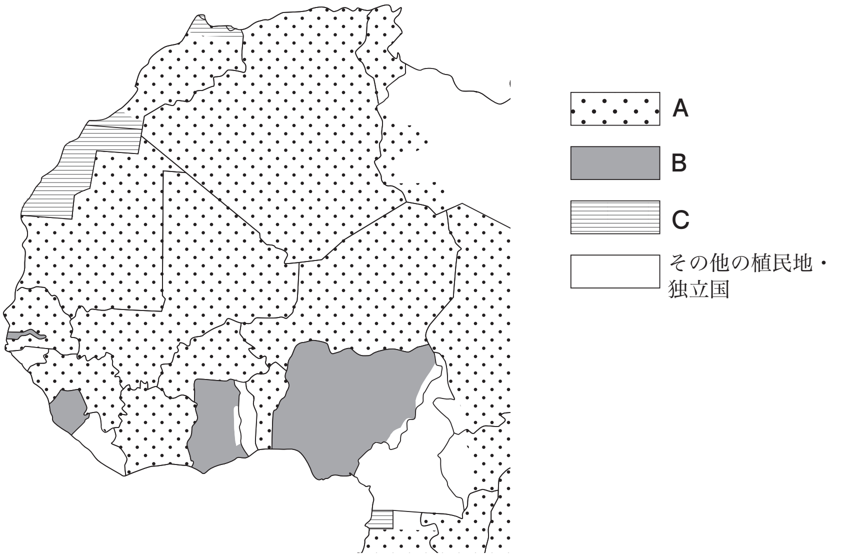
嶋田義仁ほか編『アフリカの都市的世界』により作成。

図　４

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｐ	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Ｑ	シ	ス	サ	ス	サ	シ
Ｒ	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［10］（2000年度地理Ｂ追試験第５問問６）

アフリカ諸国は，かつて植民地であったために，現在でも旧宗主国の影響が残っている。次の図中の**A**～**C**は，1914年当時のイギリス領，スペイン領，フランス領のいずれかである。**A**～**C**の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



国境線は1996年のものである。
『Diercke Weltatlas』などにより作成。

	A	B	C
①	イギリス領	スペイン領	フランス領
②	イギリス領	フランス領	スペイン領
③	スペイン領	イギリス領	フランス領
④	スペイン領	フランス領	イギリス領
⑤	フランス領	イギリス領	スペイン領
⑥	フランス領	スペイン領	イギリス領

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ［確認問題］

［１］（2021年度地理Ａ本試験第３問問１）

南アジアには様々な気候帯や農業地域が分布している。次の図１中のア～ウは，図２中の地点Ａ～Ｃのいずれかにおける最多雨月と最少雨月の月降水量を示したものである。地点Ａに該当する月降水量と，図２中のＥ州において小麦と米のうち生産量が多い作物との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

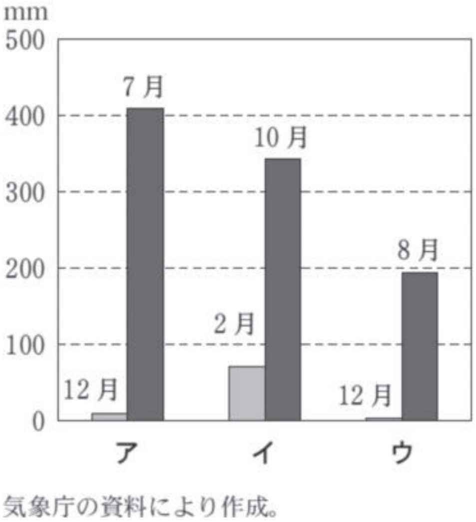


図　１

図　２

	①	②	③	④	⑤	⑥
地点Ａに該当する月降水量	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
Ｅ州において生産量が多い作物	小麦	米	小麦	米	小麦	米

［２］（2005年度地理Ｂ追試験第１問問６）

次の**カ**～**ク**の文章は，チベット高原を源流とするインダス川，ガンジス川，メコン川の本流に沿った地域について述べたものである。**カ**～**ク**と河川名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　中流部では，本流の一部が国境となっている。下流部では，雨季と乾季の水位の差が大きく，三角州（デルタ）には水田が広がっている。

キ　中・下流部は，乾燥地域となっている。ここでは多くの灌漑水路が引かれており，小麦などが栽培されている。

ク　中・下流部は，肥沃（ひよく）な平原となっている。下流部の三角州（デルタ）では，主に稲やジュートが栽培されている。

	カ	**キ**	**ク**
①	インダス川	ガンジス川	メコン川
②	インダス川	メコン川	ガンジス川
③	ガンジス川	インダス川	メコン川
④	ガンジス川	メコン川	インダス川
⑤	メコン川	ガンジス川	インダス川
⑥	メコン川	インダス川	ガンジス川

［３］（2003年度地理Ｂ本試験第３問問６）

スリランカにおける民族について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 人口の多数を占めるシンハラ(シンハリ)人と，少数派のタミル人との間で対立が生じている。

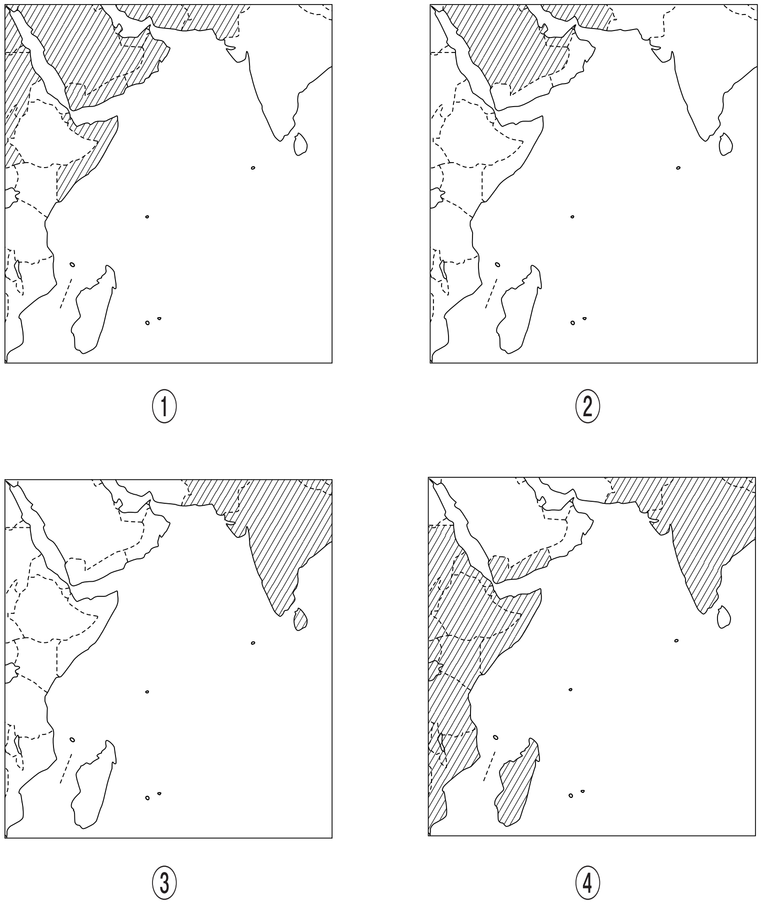
② シンハラ人の中では仏教徒の割合が最も高く，タミル人の中ではイスラム教徒の割合が最も高い。

③ シンハラ人が使用するシンハラ語とタミル人が使用するタミル語の双方が，スリランカの公用語となっている。

④ タミル人は，シンハラ人に比べると，インド南部との民族的つながりが，より深い。

［４］（2002年度地理Ａ追試験第１問問６）

次の図３は，インド洋西部沿岸の諸国について，イスラム教徒が総人口の60％を超える国，石油輸出国機構（OPEC）に加盟している国，人口密度が１km^2当たり100人以上の国，低所得国（１人当たり国民総生産が766ドル未満）と呼ばれる国の分布のいずれかを斜線で示したものである。イスラム教徒が総人口の60％を超える国の分布に該当するものを⑴に，人口密度が１km^2当たり100人以上の国の分布に該当するものを⑵に，図３中の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。



統計年次は1998年。『世界国勢図会』などにより作成。

図　３

［５］（2014年度地理Ａ本試験第３問問５）

次の写真２中の**タ**～**ツ**は，図１中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの都市で撮影されたものである。**タ**～**ツ**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

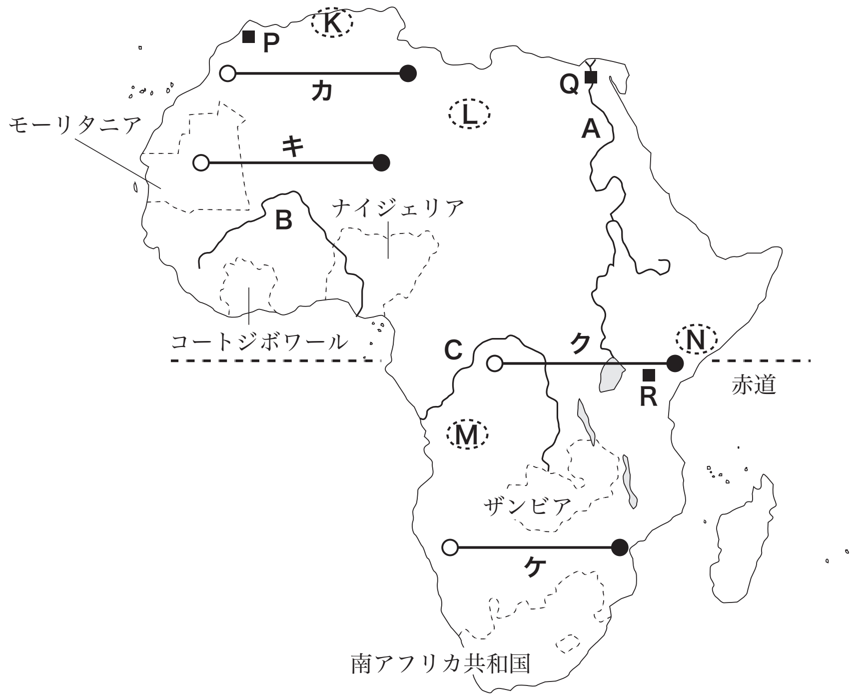


図　1

タ　商工業の盛んな観光都市

チ　白人の居住地から発達した行政・経済都市

ツ　密集した建物と迷路状の街路からなる歴史的都市

写真　２

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

［6］（2003年度地理Ａ本試験第１問問４）

今日では，アフリカの観光地も多くの客を集めるようになっている。次の**P**～**R**の文章は，図**3**中の**カ**～**ク**地点のいずれかの観光地を紹介したものである。**P**～**R**と**カ**～**ク**との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

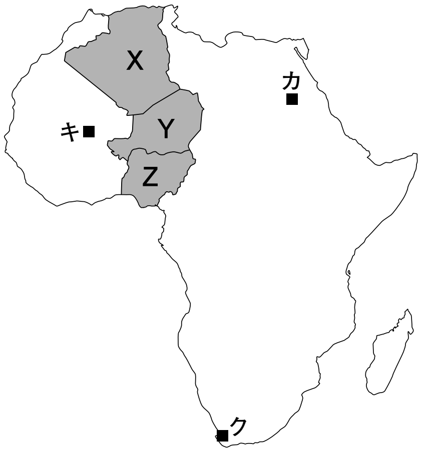


図　3

P　かつては隊商都市として栄えた。砂の中に埋もれてしまった繁栄の歴史が知られている。

Q　日本への輸出も増えているワインの生産地である。丘の斜面や山間の盆地にブドウ畑が広がり，ワイン工場の見学もできる。

R　世界的に有名な巨大神殿がある。この神殿は，ダム建設時に水没を避けてそっくり移設されたものである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	**カ**	**カ**	**キ**	**キ**	**ク**	**ク**
Q	**キ**	**ク**	**カ**	**ク**	**カ**	**キ**
R	**ク**	**キ**	**ク**	**カ**	**キ**	**カ**

〈Note〉

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ

［1］ 北ヨーロッパ諸国はいずれも特徴的な自然環境を有し，産業と結びついている。

・アイスランド・・・海嶺上に形成された火山島からなる。水力発電と地熱発電が行われ，魚介類が主な輸出品目の一つ。

・ノルウェー・・・古期造山帯の山岳国。急傾斜と豊富な降水量を利用して水力発電が行われ，アルミニウムの生産は西ヨーロッパ１位。北海油田に面し，原油や天然ガスが主要輸出品目である。暖流の影響により，緯度のわりに冬は温暖で，沿岸は不凍港となる。北極圏に位置するナルビクは，スウェーデン北部の鉄鉱石を積み出す港湾である。

・スウェーデン・・・国土の広い範囲はバルト楯状地に含まれ，森林に覆われる。福祉政策の奏功によって，1990年代には合計特殊出生率が2.1まで回復した（現在はやや低下）。発電は水力と原子力。主な輸出品目は自動車やパルプ。

・フィンランド・・・「森と湖の国」。バルト楯状地に位置。豊富な森林資源を利用した木質ペレットによる火力発電が盛ん。なお，フィンランド語はウラル語族の言語。

・デンマーク・・・大陸氷河に削られた平坦な国土を有し，国土の半分以上が耕地。風力発電が総発電量の60％を越えている。酪農が盛んであり，肉類（豚肉）の輸出が多い。

［2］ 北ヨーロッパ諸国はいずれも人口規模が小さく，人口密度も低い。アイスランドが40万人，ノルウェー・フィンランド・デンマークが500万人，スウェーデンが1000万人。いずれも１人当たりGNIが高い高所得国だが，都市の規模は比較的小さい。

アイスランドとノルウェーを除いた３か国がEU加盟。宗教は全域でプロテスタント。言語はフィンランドを除きゲルマン系。

ここで登場している都市はいずれもおおよそ北緯60°に沿っている。暖流の影響による不凍港の判定は用意であるが，他の２つについては「首都」と「人口規模が大きい」ことに注意して考えてみよう。

［３］　ヨーロッパの地形は「北でなだらか，南で急」である。北部は安定陸塊や古期造山帯，南部は新期造山帯。

主な安定陸塊の地形は，バルト楯状地（スウェーデンやフィンランド。古い時代の岩盤が露出）。またロンドンやパリの構造平野にはケスタ地形がみられる。

主な古期造山帯の地形は，ペニン山脈（イギリス本島を縦断），スカンディナヴィア山脈（スカンディナヴィア半島の西岸に沿う），スデーティ山脈（ポーランド南部。石炭資源が豊富）。

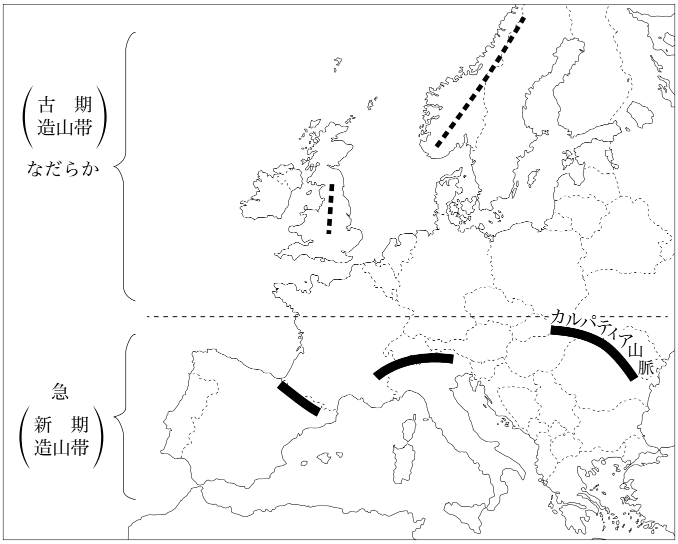
主な新期造山帯の地形は，ピレネー山脈，アルプス山脈，イタリア半島（火山がみられる），カルパティア山脈（東ヨーロッパ中央部。ヨーロッパで最も北に位置する新期造山帯）。

それぞれの選択肢の分析に入ろう。

Ｘは「原子力発電所」に注目。全体として原子力発電所の開発には積極的でないヨーロッパではあるが，現在も依存度が高い国はある。

Ｙは「炭田」，「大工業地帯」がキーワード。なお，河口付近には掘り込み式の人工港がつくられ，ヨーロッパ有数の貿易港となっている。

Ｚは河口からやや遡ったところに大都市が立地している点に注目。「人口の過密化」解消のためにニュータウン開発が行われた歴史もある。世界都市として，金融業の世界的中心地の一つ。



［４］ 主要５か国の首都については，人口規模と位置が重要。なお，ヨーロッパにおいてはスイスを除いて全て人口最大都市と首都が一致。

・ロンドン（イギリス）・・・国土の南部に位置。テムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発達。国内人口の１割以上が集中。旧港湾地区（ドックランズ）ではスラムの再開発が行われた。
・パリ（フランス）・・・国土の北部に位置。都市圏人口は1000万人に達し，中央集権国家の中心。パリ盆地はヨーロッパを代表する小麦栽培地域でもある。都心部の歴史的地区は観光地として整備され，都市郊外に副都心（ラ・デファンス）や移民の集住地区などが設けられている。
・マドリード（スペイン）・・・国土の中央部のやや乾燥した高原上に位置。人口は約300万人で自動車工業などが発達。なお，地中海に面するバルセロナは国内第２の都市であり，フランスなどから自動車工場が進出。
・ローマ（イタリア）・・・イタリア半島の「ヒザ」に位置する。イタリア南部は経済的に恵まれず，ローマも観光地として栄えるものの，商工業は発達していない。人口約300万人。市内にカトリックの聖地であるバチカン市国がある。
・ベルリン（ドイツ）・・・国土の東部に位置。かつての社会主義地域であるドイツ東部は経済レベルが低く，人口流出地域である。ベルリンも国内人口最大都市（約350万人）ではあるが，産業や経済の中心ではない。

ア・・・「エスチュアリー」に面する港湾都市が首都である。「金融」が発達するのは１人当たりGNIが高い国。

イ・・・都市が分散し，決して首都を中心とした国家ではない。北西部の「炭田」を中心とした工業地域が重要。また，南部の都市は国内人口３位であり，伝統的な産業に加え，近年は先端産業も発達。

ウ・・・首都は盆地の中央に位置し，「一極集中」である。なお，北東部のロレーヌ地方ではかつて鉄山を中心とした鉄鋼業が栄えたが，現在は衰退している（ダンケルクなど臨海部に輸入資源を利用した製鉄所が新設）。

イギリスとフランスについて首都以外の主要都市を挙げておこう。

（イギリス）

・グラスゴー・・・スコットランド地方の中心都市。一帯はシリコングレンとよばれ，先端産業が発達。

・マンチェスター・・・ペニン山脈の西麓に位置。産業革命発祥の地であるランカシャー地方の中心都市。偏西風の影響で湿度が高く，綿工業の成立に有利だった。

・バーミンガム・・・ペニン山脈南部。石炭と鉄鉱石資源に恵まれ鉄鋼業が発達。現在は機械工業など。

（フランス）

・ダンケルク・・・ドーヴァー海峡に面する港湾都市。臨海型の製鉄所が設けられた。

・ストラスブール・・・ドイツに接するアルザス地方の中心都市。ライン川に面する河港を有し，ヨーロッパ議会が置かれる。アルザス地方は，フランスとドイツとの係争地だった。

・トゥールーズ・・・南部の都市。航空機のEU共同工場が立地。

・ニース・・・地中海に面する保養都市。北部ヨーロッパの人々がバカンスを楽しむ。

［５］　Ｃはロンドンとパリである。これらの都市の特徴を考えよう。

注目するべきは，オランダのロッテルダム。ライン川河口の三角州（デルタ）に位置し，沿岸を掘り込むことによって人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ有数の貿易額を誇るだけでなく，輸入資源を利用した石油化学工業も立地している。

［６］　ドイツは国土の周辺部に主要都市が分散している。

・北部・・・ハンブルク。エルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市で造船業が発達。中世の自治都市（ハンザ同盟都市）の一つ。

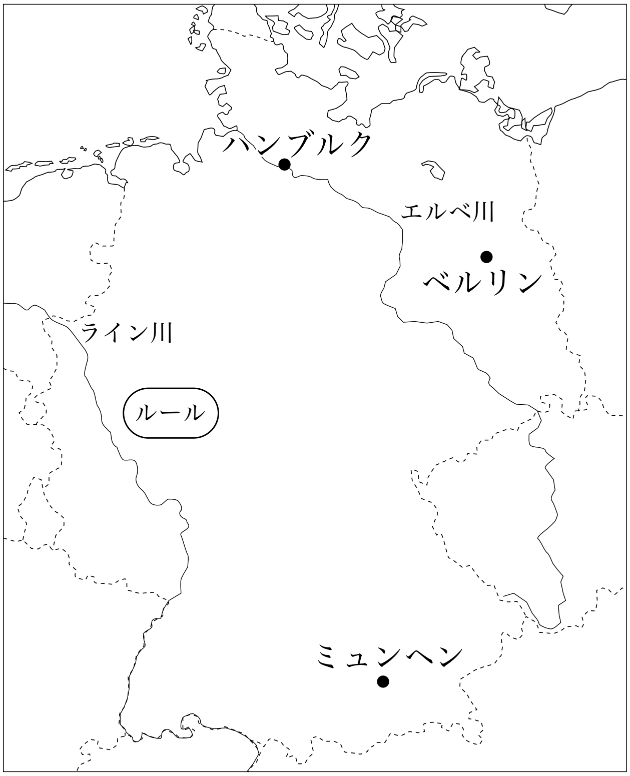
・西部・・・ルール地方。デュイスブルクやエッセンなど中小都市が重なり，連接した都市圏を形成（コナベーション）。炭田立地型のルール工業地帯。ライン川の水運を利用。

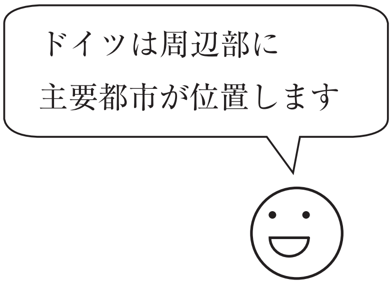
・南部・・・ミュンヘン。カトリック教徒の多いバイエルン州の中心都市。ビールの街として知られるが，自動車工業や先端産業も発達。

・東部・・・ベルリン。首都にして人口最大都市ではあるが，経済的には停滞。

直接的なキーワードは「ビール祭り」。ただし「ブドウ」にも注目してほしい。ヨーロッパにおけるブドウの栽培北限はパリ盆地であり，北ヨーロッパでは栽培されない。また，河川や運河で「さまざまな国旗を掲げた貨物船」が行き来しているこ

とも重要。国際河川（複数の国を流れ，沿岸国の自由航行が認められた河川）であり，さらにヨーロッパの地形を考えた場合，険しい地形の南部では河川交通は発達しないことから，南部ではないとわかる。





［7］　イタリアの都市を整理しよう。

・「重工業三角地帯」・・・北西部の工業地帯。トリノ（自動車）やミラノ（ファッション産業）など。
・「第三のイタリア（サードイタリー）」・・・北東部のボローニャを中心とした地域。伝統的な衣類や皮革工業など，中小工場のネットワーク。
・ヴェネツィア・・・土砂の堆積地形の上に市街地が形成。「運河の街」。
・タラント・・・イタリア半島の南端。南北格差是正のバノーニ計画の一環として，輸入資源に依存した臨海型の製鉄所が新設された。

［8］　ヨーロッパの言語（民族）分布は以下の通り。

・ゲルマン系・・・北西部。北ヨーロッパやイギリス，ドイツなど。
・ラテン（ロマンス）系・・・南西部。フランス，スペイン，イタリアなど。
・スラブ系・・・東部。ポーランド，旧ユーゴスラビア，ロシアなど。

言語系統と宗教(宗派)は大まかに対応する。ゲルマン系がプロテスタント，ラテン系がカトリック，スラブ系が東方正教。ただし，カトリックの分布範囲は広く，ゲルマン系でもドイツ南部はカトリック地域であり，さらにスラブ系でもポーランドは熱心なカトリック国として知られる。

また，旧ユーゴスラビア地域は主にスラブ民族であるが宗教構成が複雑で，西部(クロアチアなど)ではカトリック，東部(セルビアなど)では東方正教が主。ボスニア・ヘルツェゴビナなどではムスリムも多い。

・北アイルランド地方・・・アングロサクソン(ゲルマン)系のプロテスタント教徒と，アイルランド(ケルト)系のカトリック教徒の対立。かつてイギリスがアイルランドを植民地としていた歴史も。
・ベルギー・・・北部のフラマン地方ではゲルマン系のオランダ語，南部のワロン地方ではラテン系のフランス語が使用されるなど，多言語国家となっている。ヨーロッパにおける多言語国家の例としては，他にスイスがある（ドイツ語，フランス語，イタリア語，ロマンシュ語が公用語)。
・バスク地方・・・フランスからスペインにまたがる地域。周辺地域とは異なった言語が使用される。独立や自治権の拡大を求める動きも（ただし，宗教はカトリックで周辺国と同じ)。
(参考)ブリュッセルにはEUの本部が置かれる。EUの加盟国はイギリスの離脱により27か国。域内人口は28か国時代は5億人を超えていたが，現在は約4.5億人。

［９］ ヨーロッパは河川交通の発達した地域で，多くの国際河川が流れ，それぞれが運河で連結されている。
・エルベ川・・・チェコからドイツを通り北海へ流れる。河口のエスチュアリーには港湾都市のハンブルク。
・ライン川・・・スイスやフランス，ドイツなどを流域に収め，オランダから北海に流出。河口に三角州を形成。沿岸にはバーゼル（スイス。精密機械工業)，ストラスブール(欧州議会)，デュイスブルク(ルール地方。鉄鋼業)など河港を備えた都市が並ぶ。河口は掘削され，ロッテルダムに人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ最大の貿易港であり，石油化学工業も立地。なお，支流のマイン川の沿岸には金融業の中心であるフランクフルト(欧州中央銀行)。
・ドナウ川・・・ドイツ南部から東ヨーロッパへ流れ，黒海に注ぐ。沿岸にはウィー

ン（音楽の都），ブダペスト（双子都市），ベオグラード（旧ユーゴスラビアの首都）が位置し，さらにルーマニアとブルガリアの国境を成す。河口はデルタを成し，湿地帯である。ハンガリー盆地は肥沃な土壌レスに恵まれ，小麦とトウモロコシの栽培が特徴的な農業地域である。

Ｊ；ルール工業地帯に近接するデュッセルドルフ。ライン川に沿って多くの中規模都市が並ぶ。

Ｋ；アルザス地方の中心都市ストラスブール。かつてドイツに支配されていた時代も。アルザス地方は肥沃な土壌にも恵まれ，ブドウの栽培で名高い。

Ｌ；オーストリアの首都ウィーン。多くの音楽家が活動拠点とした。

Ｍ；セルビアの首都ベオグラード。ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の首都でもあった。旧ユーゴスラビアはカトリックと東方正教，イスラム教が混在する地域。

[10]　①；「エスチュアリー」がポイント。

②；「ラグーン」とは，砂の堆積地形（砂州など）によって外海とほぼ区切られた水域。浅海に土砂が堆積することによって様々な地形が生まれている。

③；三角州（デルタ）を形成する主な河川は，長江，メコン川，ガンジス・ブラマプトラ川，ナイル川（円弧状三角州），ニジェール川，ライン川，ドナウ川，ミシシッピ川（鳥趾(ちょうし)状三角州）。

④；「両側を急斜面に挟まれた」地形は氷河の侵食による。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［練習問題］

［１］（2018年度地理Ｂ本試験第５問問１）

ヨシエさんは，次の図１に示すルートのように，ノルウェー，スウェーデン，フィンランドの３か国を旅行中に風景や気温の違いを体験し，３か国の地形と気候の特徴を次の図２のようにまとめた。図２中の**ア**～**ウ**は，３か国の標高200ｍ以下の面積（＊）の割合と，ほぼ同じ緯度にある都市（ベルゲン，ストックホルム，ヘルシンキ）における最寒月と最暖月の月平均気温を示している。国名と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

（＊）島嶼部を除く。

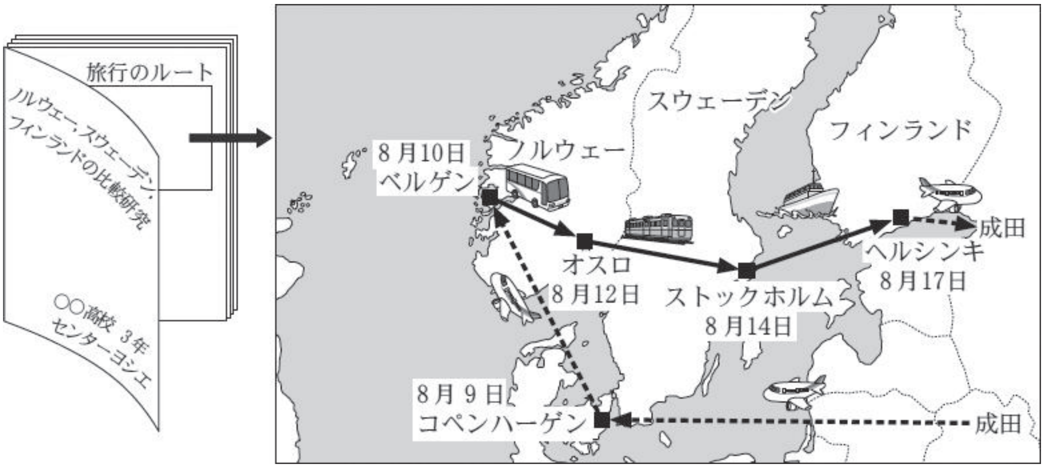


図　１

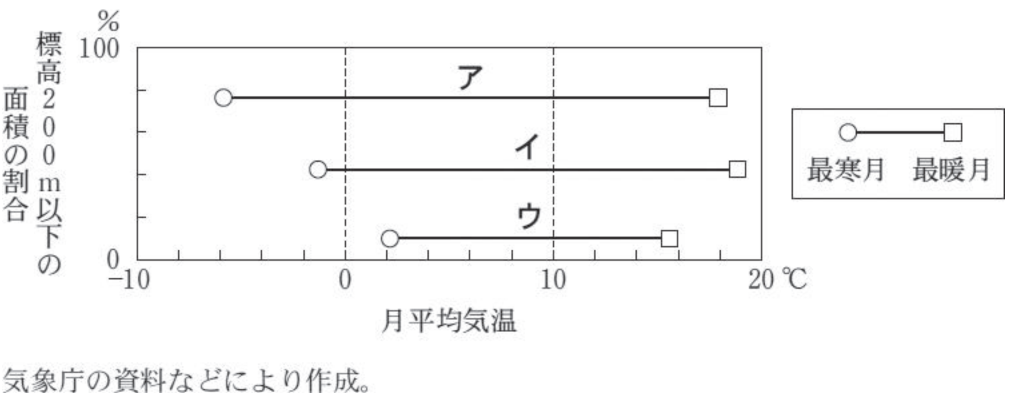
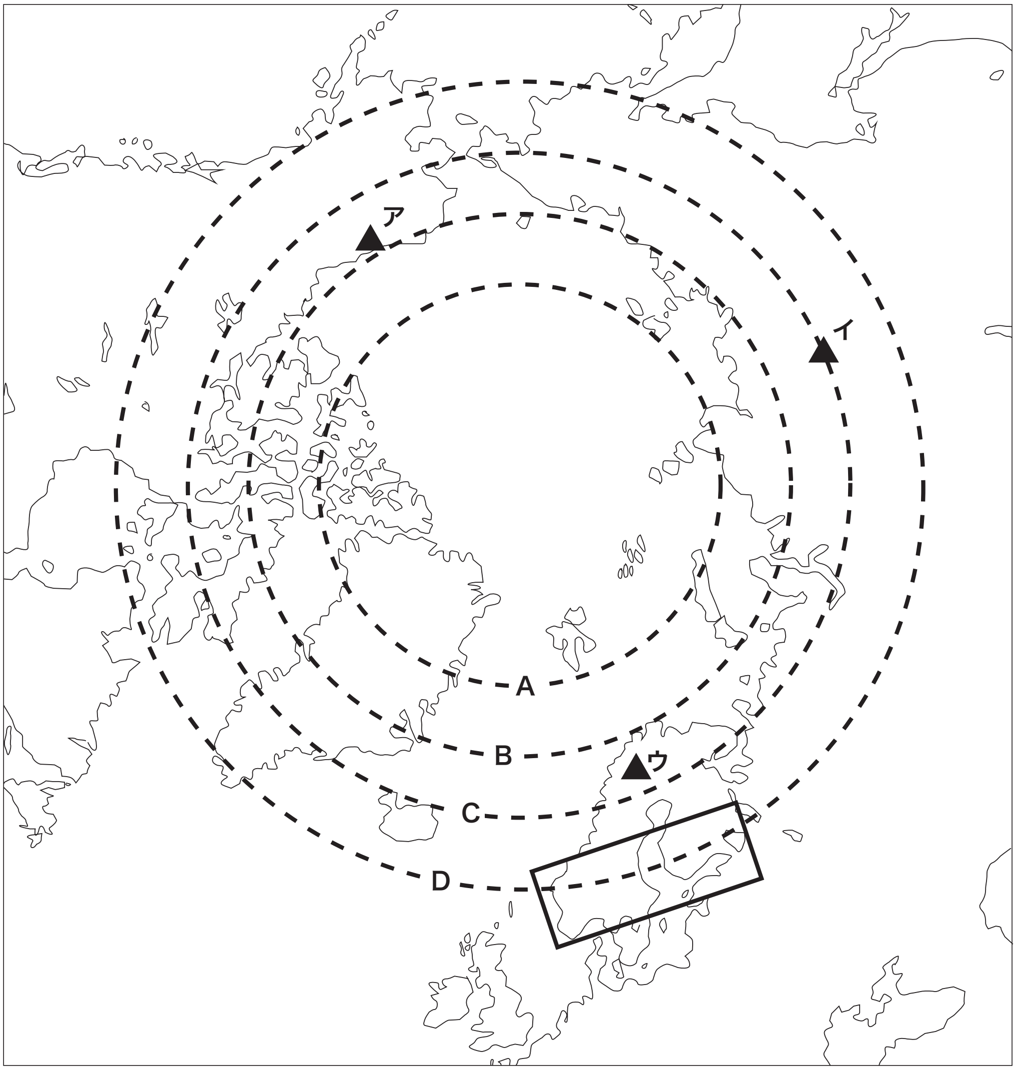


図　２

	①	②	③	④	⑤	⑥
ノルウェー	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
スウェーデン	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
フィンランド	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

［２］（2006年度地理Ｂ追試験第５問問６）

次の図２は，図１中の太線枠内を拡大して示したものである。また，下の**Ｐ**～**Ｒ**の文章は，図２中のほぼ同じ緯度に位置する**サ**～**ス**の都市のいずれかについて説明したものである。**Ｐ**～**Ｒ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



北極を中心としたランベルト正積図法。

図 1

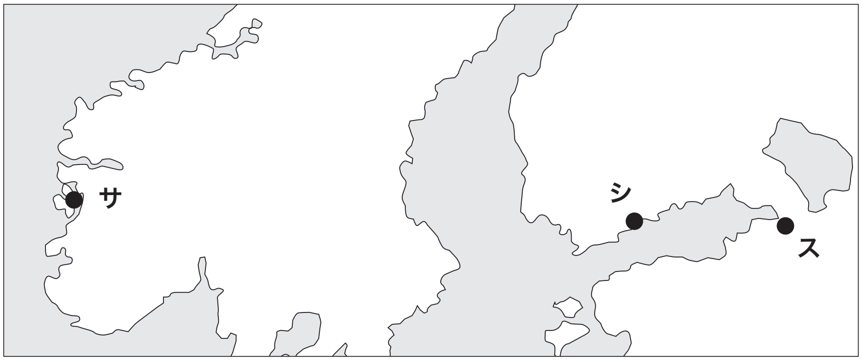


図 2

P　河川の河口部に位置する港湾都市。人口が400万人を超える大都市であり，内水面交通と海上交通をつなぐ拠点となっている。

Q　冬季にも氷結しない海域に臨む港湾都市。かつては造船業と繊維工業が盛んであったが，現在は衰えている。

R　首都でもある港湾都市。かつて隣国の支配下に入った時期に都市の原型が形づくられた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［３］（1999年度地理Ｂ追試験第１問問３）

都市の発達や地域の開発についても，河川流域ごとに特徴がみられる。次の文章Ｘ～Ｚは，図１中のテムズ川，ライン川，ローヌ川のいずれかの流域の特徴について説明したものである。それぞれの川の説明の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

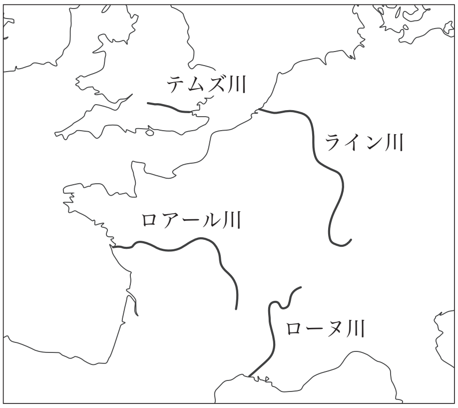


図　１

Ｘ　やや急流であるが古来，重要な交易ルートとなっており，河川沿いに古代起源の都市や定期市に起源をもつ都市がみられる。現在，河口には石油基地，中流域には原子力発電所が立地している。

Ｙ　緩やかな流れは水運に適しており，中流域における19世紀の炭田開発をきっかけに大工業地帯が発達し，石炭や鉄鉱石の運搬船が多数就航していた。河口の港は現在，世界有数の貨物取扱量を誇っている。

Ｚ　勾配が緩やかで河川交通が早くから発達し，河口から数十km上流にある都市が商業の中心であった。この都市を中心にした人口の過密化の結果，大気汚染や水質汚濁の問題が生じた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
テムズ川	Ｘ	Ｘ	Ｙ	Ｙ	Ｚ	Ｚ
ライン川	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｚ	Ｘ	Ｙ
ローヌ川	Ｚ	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｙ	Ｘ

［４］（2005年度地理Ｂ追試験第２問問６）

次の**ア～ウ**の文章は，イギリス，ドイツ，フランスのいずれかの国における都市と産業について述べたものである。**ア～ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　この国の中南部には，鉄鋼業など重工業の発達した都市が集中する。三角江(さんかくこう)（エスチュアリー）の近くに位置する首都は，世界の金融業の中心地として発展してきた。近年は，その郊外において先端産業の発展が著しい。

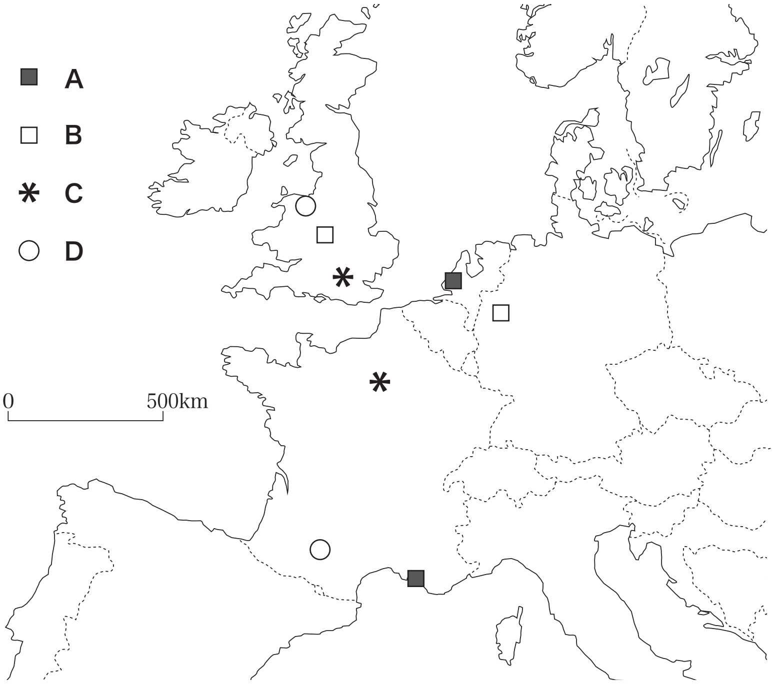
イ　この国では，主要な産業都市が各地に分散している。国土の北西部には，炭田を基礎にしたこの国最大の産業地域がみられる。また，近年では，南部の地方中心都市などで先端産業の発展がめざましい。

ウ　この国では，広い盆地の中央に位置する首都への一極集中が著しい。国土の北東部に鉄鉱石を利用した重工業都市が発達してきた一方で，首都を中心とした大都市圏が，この国最大の産業地域になっている。

	ア	イ	ウ
①	イギリス	ドイツ	フランス
②	イギリス	フランス	ドイツ
③	ドイツ	イギリス	フランス
④	ドイツ	フランス	イギリス
⑤	フランス	イギリス	ドイツ
⑥	フランス	ドイツ	イギリス

［５］（1998年度地理Ｂ追試験第１問問６）

次の図中の**A**～**D**は，それぞれ共通の特徴をもつＥＵ諸国の工業地域（または都市）を示している。**C**の説明として適当なものを，下の文①～④のうちから一つ選べ。



① EU諸国による旅客機の共同生産にかかわる組立工場が立地している。

② 石油などの輸入に便利なため，エネルギー革命後，重化学工業が発達した。

③ 炭田などを基礎として発達したが，最近，素材型重工業が停滞している。

④ 都市型の消費財工業に加えて，近年は先端技術産業の集積がみられる。

［６］（1997年度地理Ａ本試験第１問問１）

太郎君は夏休みにヨーロッパに滞在する父を訪ね，いっしょに自動車でヨーロッパ各地を旅行した。次の図はその旅行ルートを，また次の文章はその時のある一日の紀行文をそれぞれ示している。

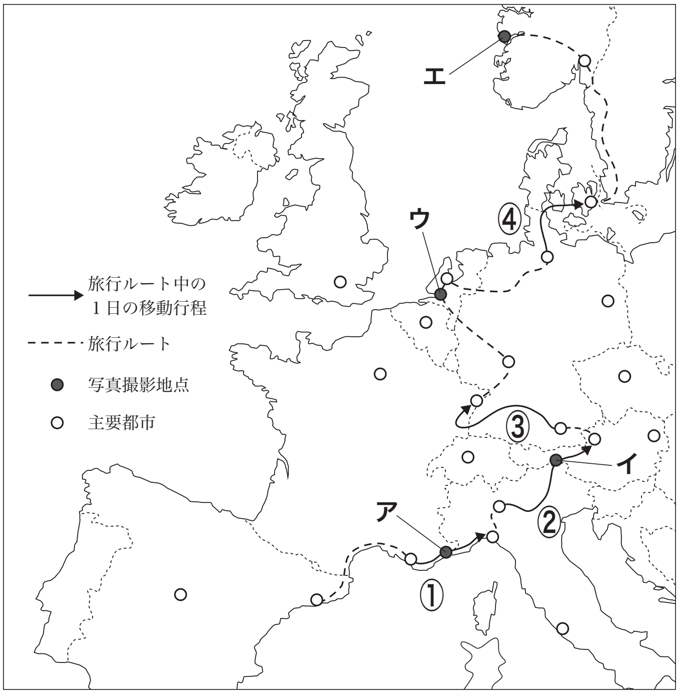


図　1

有名なビール祭りが開かれる大都市を早朝出発した。整備された高速道路の上を，畑や森を抜けて走った。国境に近くなると，ブドウ畑が広がってきた。やがて車は，河畔を緑で囲まれた大きな川に出た。川を渡ると，平行して運河が流れており，さまざまな国旗を掲げた貨物船が行き来する姿を見ることができた。途中，国境検問所の建物があったが，係官はいなかった。パスポートを見せることもなく隣の国へ行くことができたわけである。再び田園地帯を走っていくと，突然，日本企業の工場があらわれて驚いた。この場所は，この国からみれば周辺の位置にあるが，ヨーロッパ連合（EU）においては中心の位置にあるからだと，父は説明してくれた。再び，ブドウをつくる村々を通って，美しい街で宿をとった。

問　前述の紀行文に記述されている太郎君たちの移動行程に該当するものを，図中の実線部分①～④のうちから一つ選べ。

［７］（2005年度地理Ｂ追試験第３問問５）

次の**カ**～**ク**の文は，下の図３中に示したイタリアにおける**Ｘ**～**Ｚ**のいずれかの地域の工業について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｘ**～**Ｚ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　衣服や様々な機械類を生産する中小工場が集積しており，新たな成長地域として注目されている。

キ　大企業を主体にしたこの国最大の工業地域であり，自動車･繊維工業のほか，臨海部では石油化学工業が発達している。

ク　地域間格差の是正を目的として，政府の出資した公社などによって，大規模な製鉄所が建設された。

図　３

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	X	X	Y	Y	Z	Z
キ	Y	Z	X	Z	X	Y
ク	Z	Y	Z	X	Y	X

［８］（2015年度地理Ａ追試験第３問問４）

次のサ～スの文は，図１中のビルバオ，ブリュッセル，ベルファストの３都市を中心とした地域のいずれかについて述べたものである。サ～スと都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

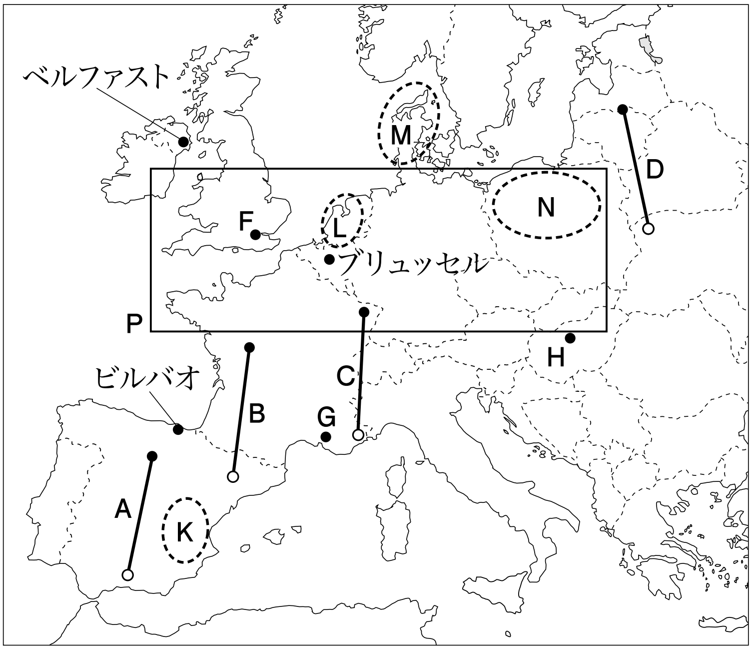


図　１

サ　カトリック系とプロテスタント系の住民間で紛争が繰り返されてきた。
シ　ゲルマン系言語を話す住民とラテン系言語を話す住民が共存する。
ス　バスク語を話す人々が住み，自治の拡大を求める声がある。

	サ	シ	ス
①	ビルバオ	ブリュッセル	ベルファスト
②	ビルバオ	ベルファスト	ブリュッセル
③	ブリュッセル	ビルバオ	ベルファスト
④	ブリュッセル	ベルファスト	ビルバオ
⑤	ベルファスト	ビルバオ	ブリュッセル
⑥	ベルファスト	ブリュッセル	ビルバオ

［9］（2016年度地理B本試験第4問問2）

次の①～④の文は，図1中のJ～Mに示したライン川またはドナウ川に面する都市について述べたものである。Jに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

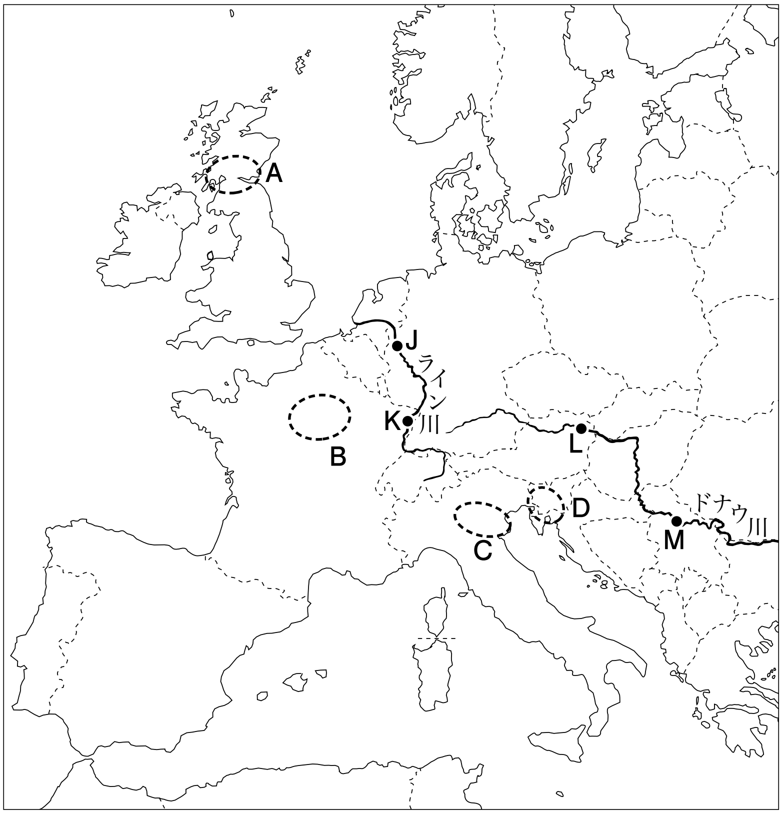


図 1

① 強大な帝国の中心地として成長を遂げた都市で，各種工業が栄えたほか，今日では「音楽の都」として観光客を集めている。

② ヨーロッパでも有数の連接都市（コナベーション）を後背地にもち，外国企業や金融機関など中枢管理機能の集積がみられる。

③ 隣国との間で帰属の移り変わりがあった都市で，独自の文化が育まれ，多国籍企業や国際機関を引きつけてきた。

④ 連邦国家を構成していた時代からの首都で，1990年代の政情不安や紛争により都市の経済発展は停滞した。

［10］ （2015年度地理Ｂ本試験第３問問１）

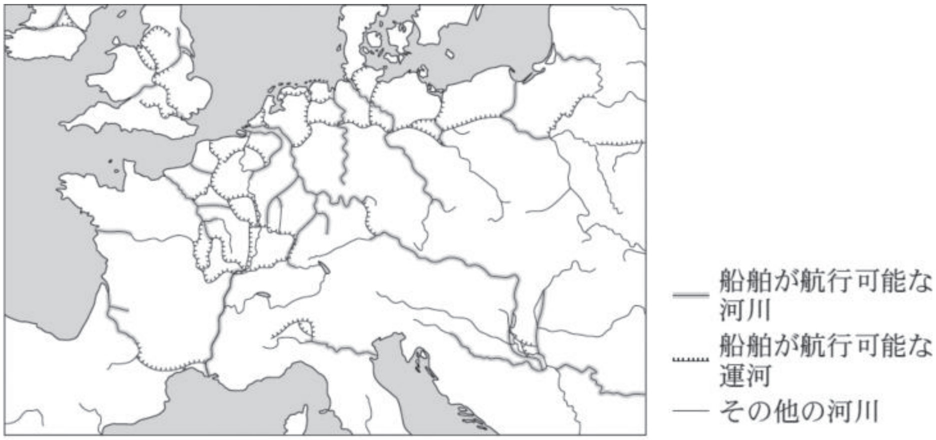
次の①～④の文は，カイロ，ハンブルク，ベネチア（ヴェネツィア），ベルゲンのいずれかの都市の立地とその特徴について説明したものである。ハンブルクに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 三角江（さんかくこう）（エスチュアリー）をなす河口から約100kmほど内陸に発達した都市で，国内最大の港湾都市となっている。
② 潟湖（せきこ）（ラグーン）の中に形成された都市で，近年は高潮による水没の被害に悩まされている。
③ 大河川の三角州（デルタ）の頂点に立地する都市で，現在の市街地は河川の分岐点に発達している。
④ 両側を急斜面に挟まれた入り江に位置する都市で，国内有数の海運業の拠点となっている。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［確認問題］

［１］（2024年度地理Ａ追試験第３問問２）

次の図２は，ヨーロッパの主な内陸水路を示したものである。ヨーロッパにおける内陸水運について述べた文①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。



Diercke Weltatlas, 2008 により作成。

図　２

① アルプス山脈以北では，平地が多いことに加え，河川流量が安定していることが，内陸水運の発展につながった。

② ドイツやフランスでは，主要な河川や運河に港が整備され，原料や工業製品の水上輸送が可能となったことで，内陸部の工業地域が発展した。

③ 西ヨーロッパと東ヨーロッパとの間は，内陸水路のみで移動できないため，両者の河川を陸路で結ぶ大規模な貨物積替基地が内陸部に整備された。

④ 北海と地中海にそれぞれ河口がある二つの河川を結ぶ運河が建設されたことで，北海から地中海まで，内陸水路のみで移動することが可能となった。

［２］（2004年度地理Ｂ追試験第３問問１）

次の**ア**～**ウ**の文章は，イギリス，スイス，スペインのいずれかの国における都市の特徴について述べたものである。**ア**～**ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　人口第１位の都市は首都であり，かつては世界有数の港湾都市であった。人口第２位の都市は，産業革命期に工業都市として発達した。

イ　人口第１位の都市は首都であり，国土のほぼ中央に位置する。人口第２位の都市は，首都と並ぶこの国有数の商工業都市である。

ウ　連邦国家を成しており，首都のほかにも規模の大きな都市がみられる。首都の人口規模は，国内で第４位である。

	ア	イ	ウ
①	イギリス	スイス	スペイン
②	イギリス	スペイン	スイス
③	スイス	イギリス	スペイン
④	スイス	スペイン	イギリス
⑤	スペイン	イギリス	スイス
⑥	スペイン	スイス	イギリス

［3］（2007年度地理Ｂ本試験第２問問２）

次の図２中のＡ～Ｃは，ヨーロッパにおける三つの工業地域の一部を示しており，下のカ～クの文は，Ａ～Ｃのいずれかの特徴について述べたものである。Ａ～Ｃとカ～クとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

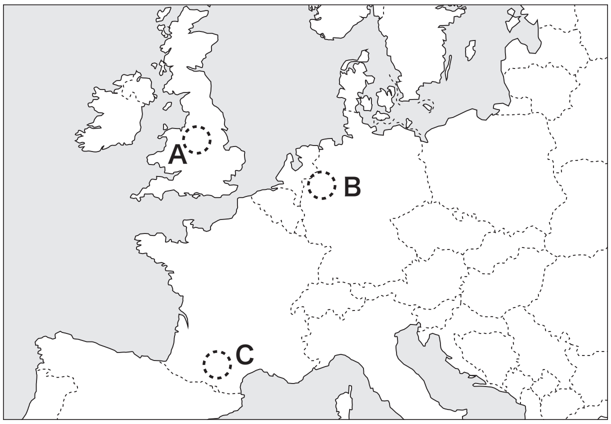


図 ２

カ　この付近で産出される石炭や鉄鉱石を利用して，産業革命期から鉄鋼・機械工業が盛んである。

キ　炭田地域に位置し，工業の中心がかつての重工業から，エレクトロニクスや環境，医療技術などの分野に移行しつつある。

ク　学術研究都市であり，航空機の最終組立てなどの産業が盛んである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［4］（2010年度地理Ｂ本試験第５問問３）

図１中のＥ～Ｇは，ヨーロッパにおける三つの工業地域を示しており，次のサ～スの文は，Ｅ～Ｇのいずれかの特徴について述べたものである。Ｅ～Ｇとサ～スとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

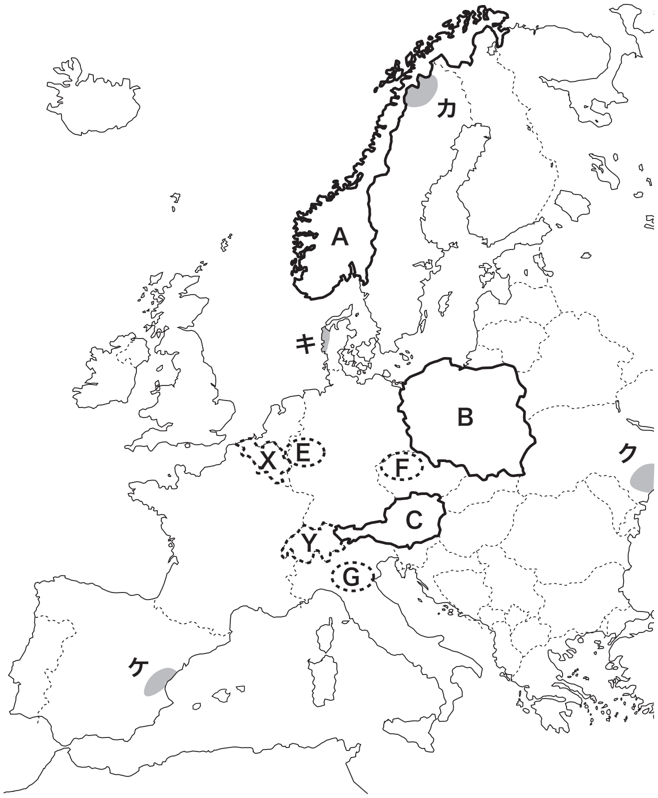


図　1

サ　衣料品や装飾品などの手工業が伝統的に発達しており，企業間の連携をいかした製品開発が行われている。

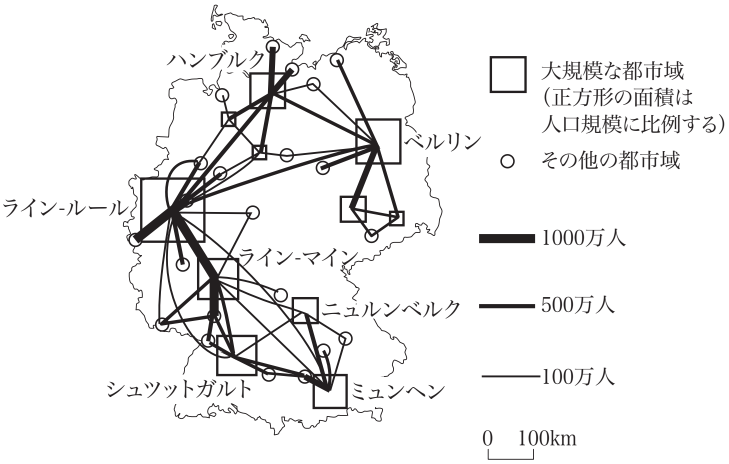
シ　繊維やガラス工業などが発達していたが，近年では賃金の安さから自動車関連の工場などが進出している。

ス　近隣の資源を利用して鉄鋼業が発達したヨーロッパ有数の工業地域であるが，エネルギー革命や構造不況を経て，近年では工業の多様化がすすんだ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	サ	サ	シ	シ	ス	ス
F	シ	ス	サ	ス	サ	シ
G	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［５］（2003年度地理Ａ本試験第３問問５）

次の図３は，ドイツにおける都市域間の旅客交通量（100万人以上）を示したものである。図３について述べた文として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。



統計年次は1993年。
Bundesministerium für Raumordnung. Bauwesen und Städtebau, *Raumordnungsbericht* による。一部改変。

図　３

①　ドイツにおける都市の結びつきは，首都の規模が大きいために，首都を中心とした一極集中的な構造を示している。

②　ハンブルクからミュンヘンまでの旅客交通が多いのは，ライン川の水運を利用した旅客輸送の発展によるものである。

③　ドイツ中央部で大規模な都市域がみられないのは，低湿な地形条件によって発展が遅れたためである。

④　過去の東西ドイツの分断による影響は，ドイツの旅客交通が東西方向よりも南北方向で活発な点に表れている。

［6］（2009年度地理Ｂ追試験第６問問４）

次の**カ**～**ク**の文は，下の図**３**中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの地域でみられる民族紛争について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

図　3

カ　カトリック系住民とプロテスタント系住民が対立してきた。
キ　キリスト教系住民とイスラム教系住民が対立してきた。
ク　独自の言語を使う民族が独立国家の建設を目指す運動を展開してきた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ

［１］ ヨーロッパ全体における東ヨーロッパ諸国の特徴を意識してみよう。

東ヨーロッパ６か国では，かつてソ連の影響下で社会主義政権が成立していたが，1980年代末より自由化の波が訪れ，全て資本主義国へと転換した。いずれもEUおよびNATOに加盟している。

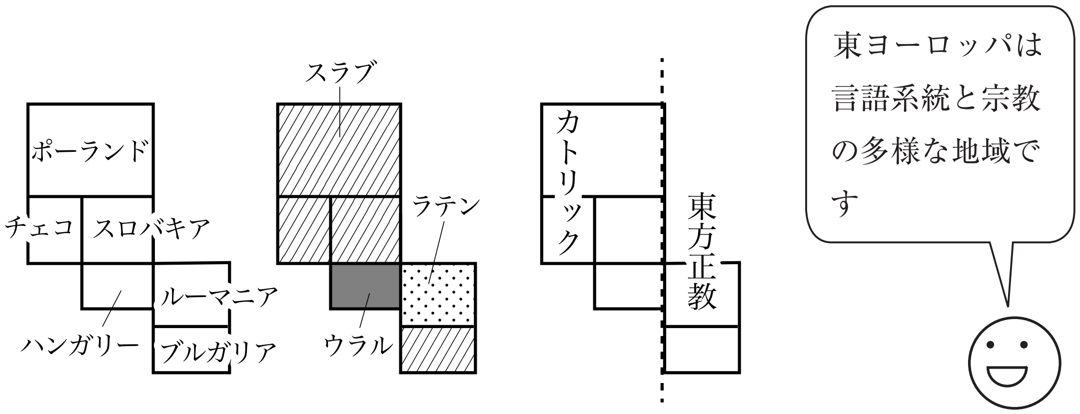
１人当たりGNIは概して低いが，安価で豊富な労働力が得られるため西ヨーロッパ諸国からの工場進出が盛んで，特にチェコは自動車工業が発達する。第２次産業就業人口割合も高い。一方で，高賃金国への出稼ぎの流出も顕著である。

各国とも言語系統・宗教(宗派)に特徴があるので，人口規模と合わせて以下に整理する。

・ポーランド(4000万人)・・・スラブ系・カトリック
・チェコ(1000万人)・・・スラブ系・カトリック
・スロバキア(500万人)・・・スラブ系・カトリック
・ハンガリー(1000万人)・・・ウラル系・カトリック
・ルーマニア(2000万人)・・・ラテン系・正教
・ブルガリア(500万人)・・・スラブ系・正教

ドナウ川は国際河川であり，東ヨーロッパを貫く。ウィーン(オーストリア)，ブダペスト(ハンガリー)，ベオグラード(セルビア)などが沿岸に立地し，黒海に注ぐ河口は三角州。運河によってライン川の支流と連結する。

カルパティア山脈はポーランド南部からルーマニアに至る険しい山脈。ヨーロッパにおいて，最も北に位置する新期造山帯である(ただし火山はない)。



［２］

・ウクライナ・・・黒海北岸に位置する旧ソ連構成国。資源に恵まれ鉄鋼業が発達するほか，肥沃な土壌を利用した穀物の栽培も盛ん。

・バルト３国・・・エストニア・ラトビア・リトアニア。いずれも旧ソ連構成国だが，ソ連崩壊前に連邦を離脱し独立。CISには加盟せず，EUの一員となった。

・旧ユーゴスラビア・・・独自の社会主義路線をとる国であったが，1990年代前半に崩壊。現在は７つの国に分裂。西部のスロベニアやクロアチアではカトリック教徒が多く，東部のセルビアや北マケドニア(＊)などでは東方正教徒が多い。中部のボスニア・ヘルツェゴビナにはイスラム教徒も多く，多様な勢力が対立し内戦が生じた。コソボはセルビアから分離独立した国で，イスラム教徒が多い。

(＊)2019年にマケドニアから改称。

［３］ ロシアの都市について整理しよう。

・モスクワ・・・首都にして人口最大都市(1000万人以上)。政府機関を中心として放射環状路型の街路区画を有する。

・サンクトペテルブルク・・・ロシア第２の都市で，バルト海に接続するフィンランド湾に面する。ただし，冬季は凍結する。帝政ロシアの都であり，西ヨーロッパとの交流の窓口だった。

・イルクーツク・・・シベリア南部の都市で，バイカル湖に接する。周辺は森林で，製紙・パルプ工業が発達するほか，水力発電によるアルミニウムの精錬も行われる。大陸性気候がみられ，寒暖差が大きい。夏には一定の降水があるが，冬季はシベリア高気圧により少雨となる(おおよそ最暖月平均気温20℃，最寒

月平均気温－20℃，年降水量500ミリ）。シベリアの広い範囲に永久凍土層がみられるが，その南限はバイカル湖付近である。

・オイミャコン・・・シベリア東部。北半球の寒極であり，最寒月の平均気温は－45℃程度まで低下する。

・ウラジオストク・・・日本海に面する港湾都市で，シベリア鉄道の東側の起点。軍港として発達したが，港湾は冬季凍結する。

［4］　aはキーウでウクライナの首都。ウクライナは巨大な鉄山（図中あ）と炭田（い）を有し鉄鋼業が発達。チェルノーゼムに恵まれ，小麦やトウモロコシの栽培も。

　bはバクーでアゼルバイジャンの首都。油田に近接。世界最大の湖であるカスピ海は原油や天然ガスの埋蔵が多く，周辺国の間で採掘権をめぐって対立も。

　cはモスクワ，gはイルクーツクである。

［5］　旧ソ連の南部が中央アジアであり，カザフスタンやウズベキスタンが含まれる。少雨地域であり，北部でステップ，南部で砂漠となる。シルクロードに沿いイスラム教が伝えられた。ウズベキスタンの首都タシケントは交易都市として発展。現在は綿工業など。

［6］ 南北アメリカ大陸の先住民のルーツはユーラシア大陸のモンゴルにあるといわれている。最終氷期に陸化していたベーリング海峡（ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の間）を伝って移動した。北極海沿岸がイヌイット（エスキモー），カナダ南部からアメリカ合衆国がネイティブアメリカン，メキシコ以南（カリブ海含む）がインディオ。

［7］ カナダの自然環境。広く亜寒帯（冷帯）気候がみられタイガ（針葉樹の純林）に覆われているが，北極海沿岸はツンドラ。

太平洋岸にはフィヨルドが広がるが，暖流の影響で温暖多雨となっている。西部は新期造山帯の険しい地形で，太平洋岸には火山もみられる。西経100度に沿う中央部は春小麦地帯。ウィニペグなど。五大湖周辺は大陸氷河に覆われ，酪農地帯となっている。北東部のラブラドル半島は楯状地（カナダ楯状地）。五大湖と大西洋をつなぐセントローレンス川の河口はエスチュアリーである。

［8］ カナダの言語と民族。カナダでは英語の使用人口が多いが，東部のケベック州はフランス系住民が多くフランス語が公用語とされている。

また，北部のヌナブト準州ではイヌイットによる自治が行われている。

［9］ カナダの都市。

・バンクーバー・・・太平洋岸の港湾都市で，木材の積出港として発展。暖流の影響によって冬季でも温暖。
・ウィニペグ・・・カナダ中央部で，北アメリカのほぼ中央に位置する。春小麦の集散地。典型的な大陸性気候がみられ，寒暖の差が大きい。最寒月平均気温－20℃（アンカレジより低温），最暖月平均気温20℃（サンフランシスコより高温），年降水量500mm。
・トロント・・・国内人口最大都市（都市圏600万人超）。五大湖に接し，アメリカ合衆国より自動車工場が進出。
・オタワ・・・首都。英語圏とフランス語圏の境界に位置。
・モントリオール・・・ケベック州の中心都市。フランス系住民が多い。都市圏人口は400万人を超えるが，経済は停滞。セントローレンス川に沿う。周辺では酪農。

[10]

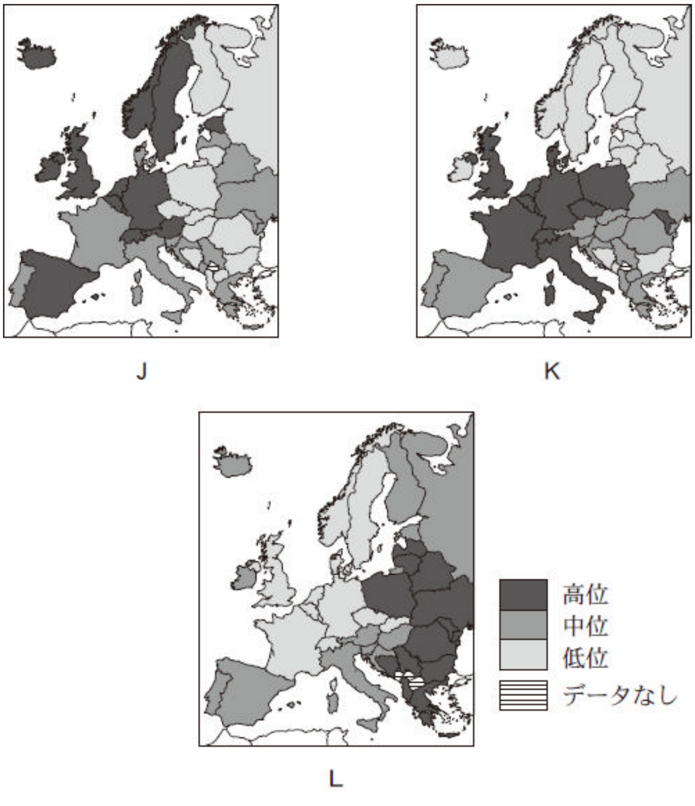
・ムルマンスク・・・ロシアの港湾都市でノルウェーに近い。暖流の影響によって不凍港となる。

・アンカレジ・・・アラスカ州の中心都市。北極海沿岸で採掘された原油がパイプラインによって付近まで輸送されている。かつて日本とヨーロッパをつなぐ航空路の結節点だった。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［練習問題］

［１］（2022年度地理Ｂ追試験第４問問３）

次の図３中のＪ～Ｌは，人口密度，外国生まれの人口の割合，第1次産業就業者割合のいずれかを示したものである。項目名とＪ～Ｌとの正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。



統計年次は，人口密度と第１次産業就業者割合が 2018 年，外国生まれの人口の割合が 2020 年。*World Population Prospects* などにより作成。

図　３

	①	②	③	④	⑤	⑥
人口密度	J	J	K	K	L	L
外国生まれの人口の割合	K	L	J	L	J	K
第1次産業就業者割合	L	K	L	J	K	J

［２］（2009年度地理Ａ本試験第３問問７）

次の図４中に示したＰ～Ｓは，1990年代以降，国家の形態や国家間結合のあり方に変化がみられた国々であり，下の①～④の文はＰ～Ｓのいずれかについて説明したものである。Ｐの国々に該当するものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

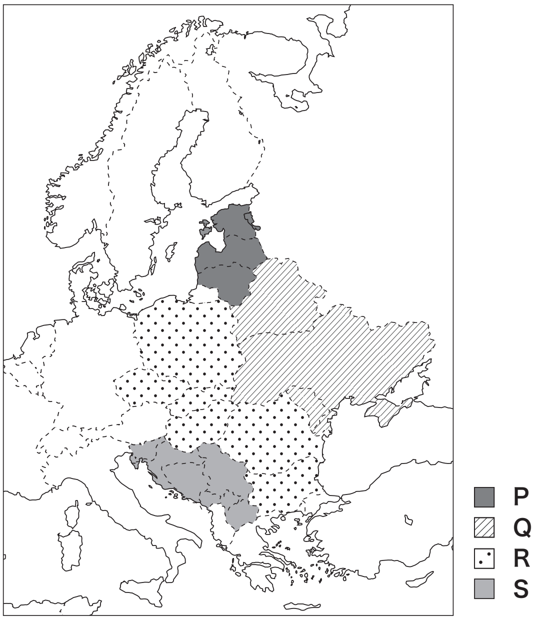


図 ４

① かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが，現在はロシアを中心とする国家連合であるCIS(独立国家共同体)の加盟国である。

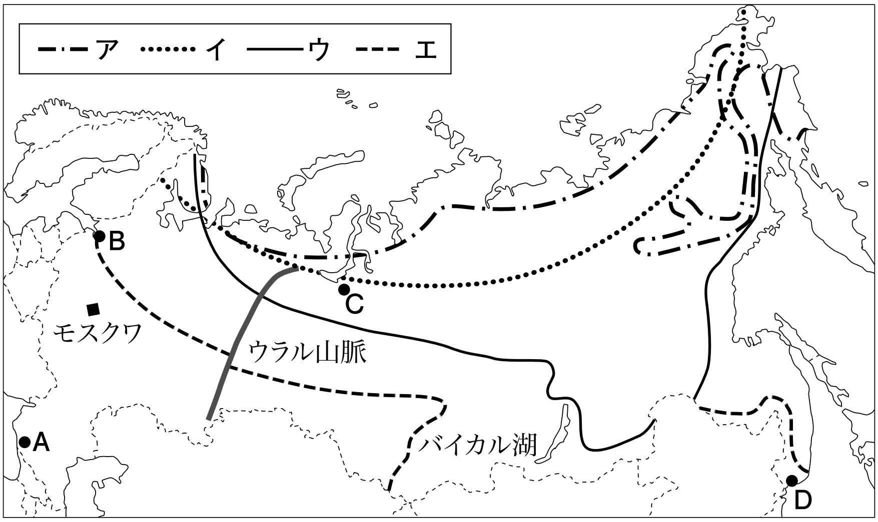
② かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

③ かつてはソビエト連邦を中心とする軍事同盟の加盟国であったが，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

④ かつては一つの連邦国家であったが，複数の国家に分裂し，その一部の国は，以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

［３］（2017年度地理Ｂ追試験第４問問２）

次の①～④の文は，図１中に示したＡ～Ｄのいずれかの地域における特徴を述べたものである。図１中のＢに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。



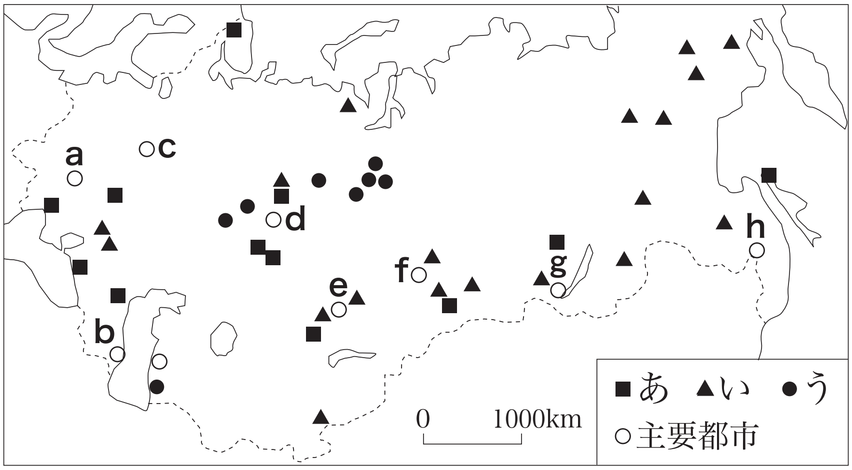
Diercke Weltatlas, 2008 などにより作成。

図　１

① 寒冷な気候のもとで，少数民族によるトナカイの遊牧が行われている。
② 自然資源を利用した軽工業が盛んで，シベリア鉄道の起点・終点でもある。
③ 湿地を開発した港を中心に，国内第２位の人口をもつ都市圏が広がる。
④ 比較的温暖な気候を利用した世界有数のリゾート地である。

［４］（1991年度地理追試験第５問問４改訂）

次の文章は，ある工業地域について述べたものである。この工業地域の代表的都市を図１中から選び，これに該当するものを下の①～④のうちから一つ選べ。



「ディルケ 世界地図帳」による。

図　１

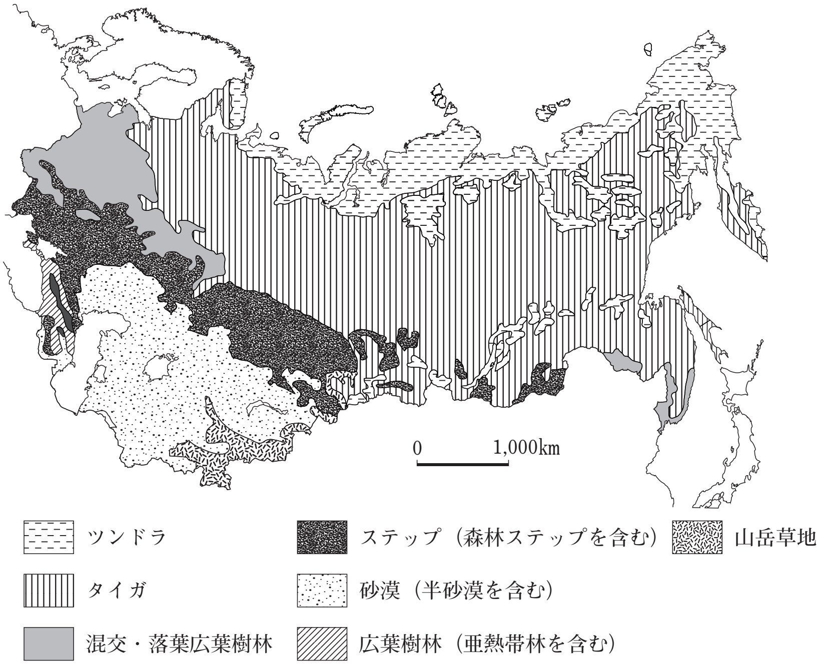
（編集部注：国境線は1991年当時のものとなっています。）

大河川の支流の上流部と湖の周辺部に広がる。豊富な水力と林産資源を基礎に工業が発達し，現在では，製鉄・機械・アルミニウム・製材などの工業がみられる。

① a
② b
③ c
④ g

［５］（1998年度地理Ａ追試験第２問問７）

次の写真２は，図１中の砂漠地帯のあるオアシス都市で写したものである。この写真あるいはその付近の説明として最も適当なものを，下の文の①～④のうちから一つ選べ。



「アトラス現代のソ連邦」により作成。

図 1

写真 2

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

①　シルクロードの交易で栄えた時代の伝統を受け継ぐバザールであり，ときおりコーランの一節をよむ声が聞こえてきた。

②　衣料品や食器などに加えて，香辛料やマンゴー，パイナップルなどの特産品も売られていた。

③　羊肉や鳥肉などが大量に並べられ，名物の豚肉の串焼きは人気が高かった。

④　付近は社交場であり，その土地に住む年老いた男性が数人ずつまとまり酒を飲みながらおしゃべりしていた。

［６］（2004年度地理Ａ本試験第１問問１）

次の文章Ｊ～Ｌは，図１中のＡ～Ｃ地点付近のいずれかを居住地としてきた，代表的な先住民について説明している。Ｊ～ＬとＡ～Ｃとの組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

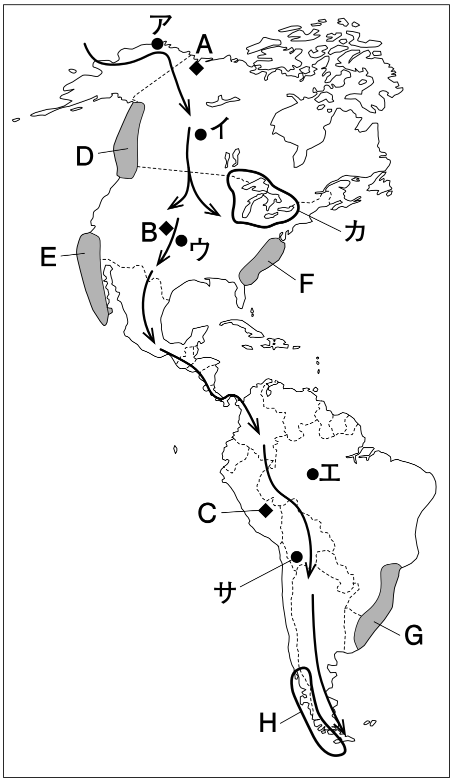


図　１

Ｊ　広範囲に居住し，狩猟など独自の文化を発達させたが，後の移住者に土地を追われ，人口が激減した。現在は居留区（保護区）が設けられている。

Ｋ　山岳地帯を中心に高度な文明を発達させたが，後の移住者による支配を受けた。先住民の生活の改善をめざして，農地改革が行われてきた。

Ｌ　厳しい自然環境に対応し，短い夏季を中心に狩猟・漁労を行ってきた。近年では，外来文化に接触し，生活様式を変化させている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	A	A	B	B	C	C
K	B	C	A	C	A	B
L	C	B	C	A	B	A

［7］（2009年度地理Ｂ本試験第５問問１）

次の図１中のＡ～Ｄの地域でみられる自然環境の特徴について述べた文として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。

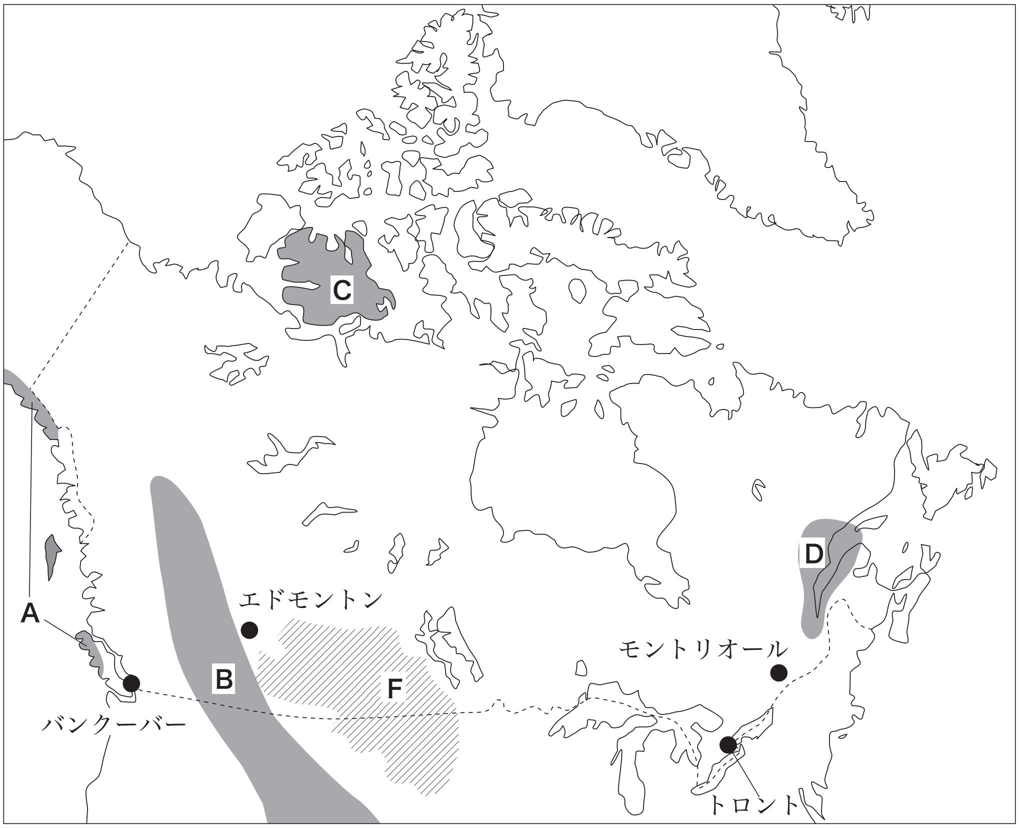


図　1

①　Ａの地域は，西岸海洋性気候区に属する。

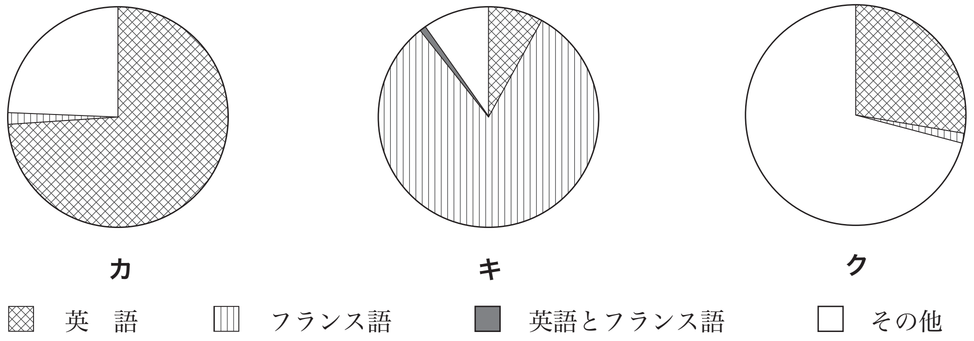
②　Ｂの地域は，新期造山帯の山脈に属する。

③　Ｃの地域には，針葉樹林（タイガ）が広く分布する。

④　Ｄの地域には，三角江（エスチュアリー）がある。

［８］ (2009年度地理Ｂ本試験第５問問５)

次の図３中の**カ**～**ク**は，下の図４中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの州あるいは準州における母語(＊)別人口の割合を示したものである。**カ**～**ク**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。
(＊)幼児期に親などから初めて習得する言語。



統計年次は2001年。
Census of Canada により作成。

図　３

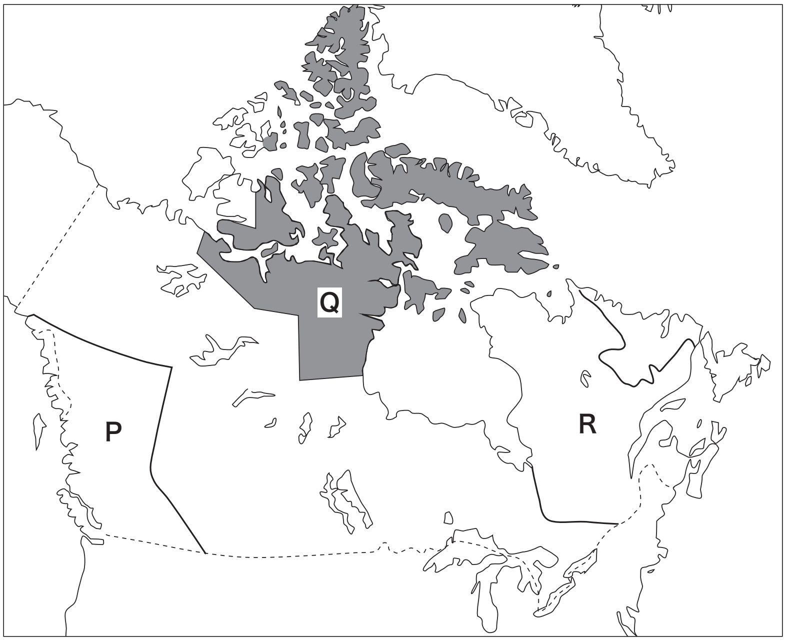


図　４

	カ	キ	ク
①	P	Q	R
②	P	R	Q
③	Q	P	R
④	Q	R	P
⑤	R	P	Q
⑥	R	Q	P

［９］（2004年度地理Ｂ追試験第３問問７）

次の図３中のＷ～Ｚは，カナダにおける主要な４都市を示したものであり，ウィニペグ，オタワ，カルガリー，トロントのいずれかである。都市Ｗ～Ｚについて述べた文として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。

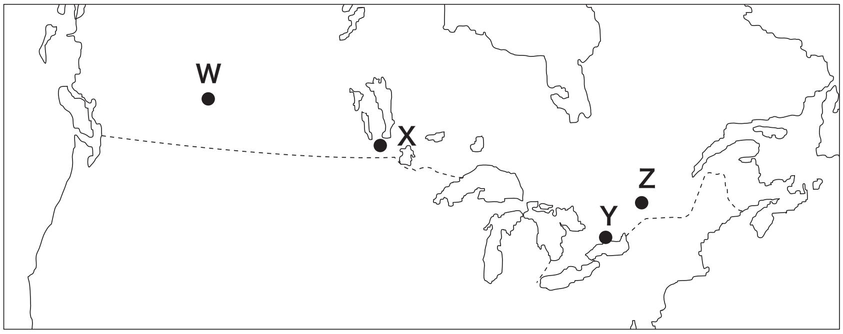


図　３

①　都市Ｗは，新期造山帯に属する山脈の東麓（とうろく）に位置し，石油や天然ガスの主要な産出地となっている。

②　都市Ｘは，春小麦地帯の東端に位置し，小麦の集散地や鉄道交通の要衝（ようしょう）となっている。

③　都市Ｙは，カナダのフランス語圏における最大の都市であり，この国における経済活動の中心となっている。

④　都市Ｚは，ケベック州とオンタリオ州との境界付近に位置しており，カナダにおける政治の中心となっている。

［10］（2015年度地理Ｂ追試験第４問問４）

次の①～④の文は，図１中のアンカレジ，ナルヴィク，ムルマンスク，レイキャビクのいずれかの都市の特徴を述べたものである。ムルマンスクに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

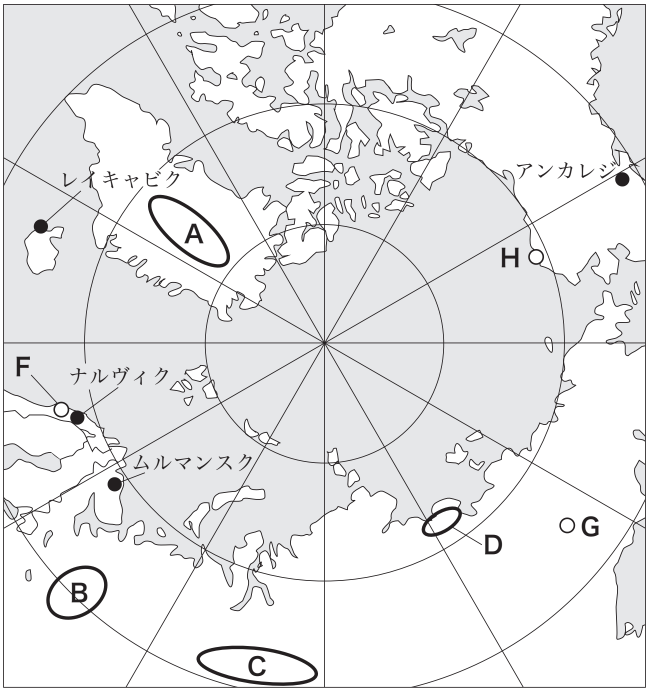


図　1

① 軍港として整備された不凍港があり，トロール漁業の基地としても発展している。

② 国内最大の人口を有し，自然環境や温泉施設などを活用した観光の拠点となっている。

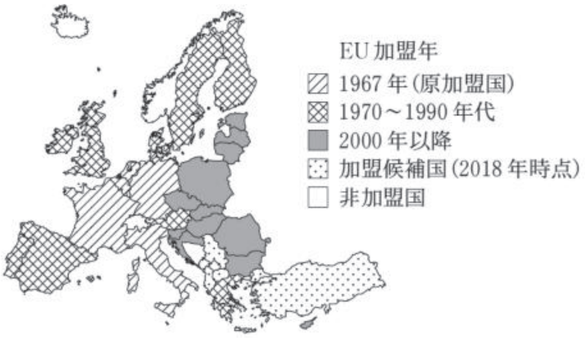
③ 水産業や林業，石油工業が立地し，国際空港をいかした旅客輸送の重要な中継基地であった。

④ 隣国で産出される鉄鉱石を運び出すために鉄道や港湾施設が整備され，積出港として機能している。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ［確認問題］

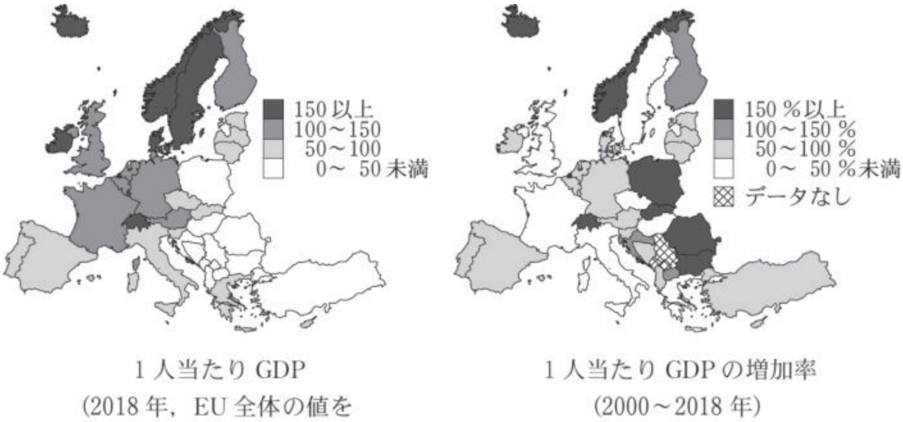
［１］（2024年度地理Ａ追試験第３問問５）

　次の図５は，2018年時点における加盟年別のＥＵ加盟国，加盟候補国，非加盟国を示したものである。また，後の図６は，ヨーロッパ各国の１人当たりＧＤＰに関する指標を示したものである。図５と図６に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから，最も適当なものを一つ選べ。



1993 年以前の加盟国は EC への加盟年，ドイツは旧西ドイツの加盟年を示している。
2020 年に離脱したイギリスは，加盟国として示されている。

図　５



１人当たり GDP（2018 年，EU 全体の値を 100 とした指数）　　１人当たり GDP の増加率（2000～2018 年）

Eurostat により作成。

図　６

ＥＵは，加盟国の拡大に伴って，域内の経済格差拡大などの課題に直面するようになった。ＥＵ経済の中心である原加盟国の6か国は，①<u>1人当たりＧＤＰと，1人当たりＧＤＰの増加率がともに高い</u>。2000年以降に加盟した東ヨーロッパの国々では，②<u>1人当たりＧＤＰの増加率が高い値を示しているが，1人当たりＧＤＰはなお低い傾向がある</u>。東ヨーロッパの国々には，③<u>加盟後に多くの外国資本が進出し，西ヨーロッパから多くの労働力が流入した</u>。西ヨーロッパのＥＵ非加盟国は，④<u>ＥＵ加盟国と比べて，1人当たりＧＤＰと1人当たりＧＤＰの増加率がともに低く</u>，ＥＵの共通政策と異なる独自の政策を進めるために加盟申請をしていない。

［２］（2005年度地理Ａ追試験第２問問６）

次の図２中の①～④は，東方正教が主な宗教である国，ラテン語（ロマンス語）派の言語が主な言語である国，CIS（独立国家共同体）の加盟国，NATO（北大西洋条約機構）の加盟国のいずれかを斜線で示したものである。東方正教が主な宗教である国を示したものを，図２中の①～④のうちから一つ選べ。

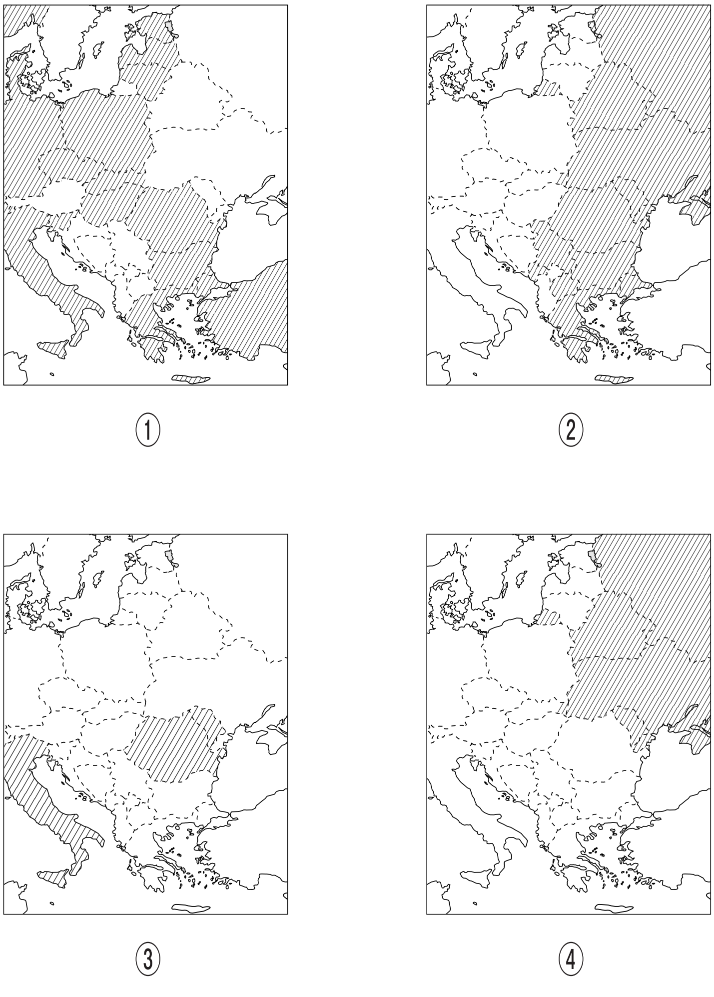

① ② ③ ④

図　２

［３］（2001年度地理Ｂ追試験第１問問１）

旧ソ連地域の自然環境について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

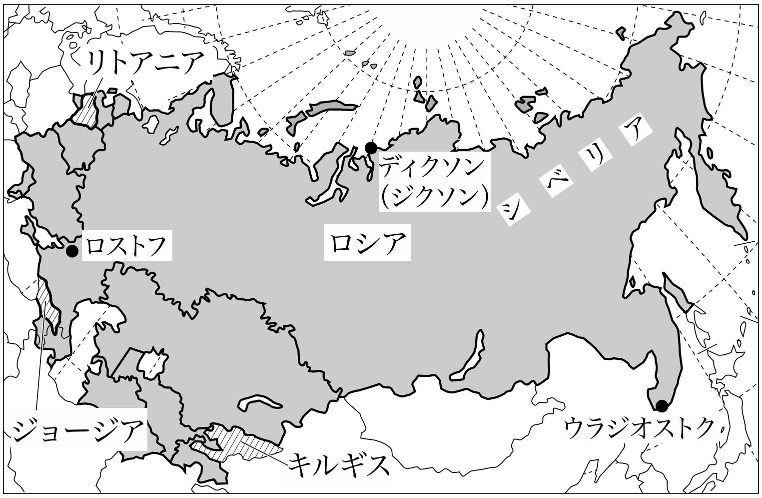


図　１

①　この地域の大半は，安定陸塊と古期造山帯からなるが，太平洋沿岸やカフカス(コーカサス)地域では，地震や火山の活動もみられる。

②　黒海北岸から東にのびる穀倉地帯の土壌は肥沃（ひよく）なチェルノーゼムである。

③　ロシアに接する海域は，黒海沿岸を除いて，冬の期間，流氷や結氷によって閉ざされる。

④　永久凍土は，ツンドラ地帯のみでなくタイガ地帯にも分布している。

［４］（2013年度地理Ａ追試験第３問問５）

次の図２は，図１中のＰ～Ｓのいずれかの都市について，18世紀の景観を描いた銅版画であり，下の文章はこの都市を説明したものである。図２に描かれた都市に該当するものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

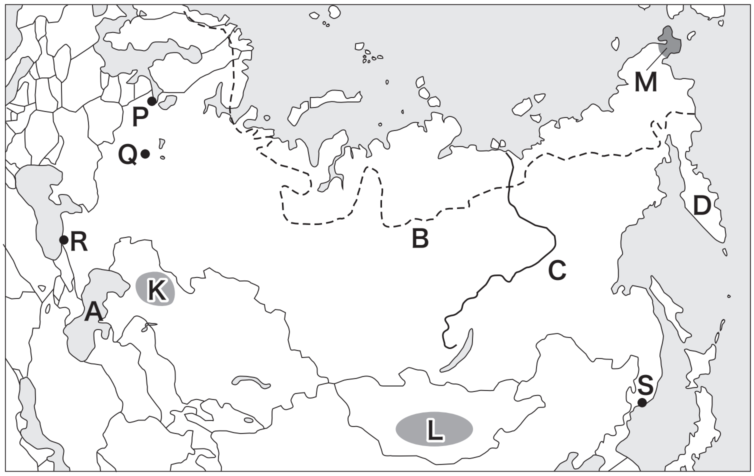


図　１

図　２

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

この都市は，帝政ロシア時代に建設された。フランスの都市計画と建築の様式が導入され，湿地帯に運河網が張り巡らされた。銅版画の正面には海外からやってきた商船が描かれており，この都市がロシアの「ヨーロッパへの窓」としての役割を果たしたことを示している。

① Ｐ　② Ｑ　③ Ｒ　④ Ｓ

［5］（2011年度地理A追試験第3問問4）

図１中に示したタ～テのいずれかの地域における自然環境と産業・生活との関連について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

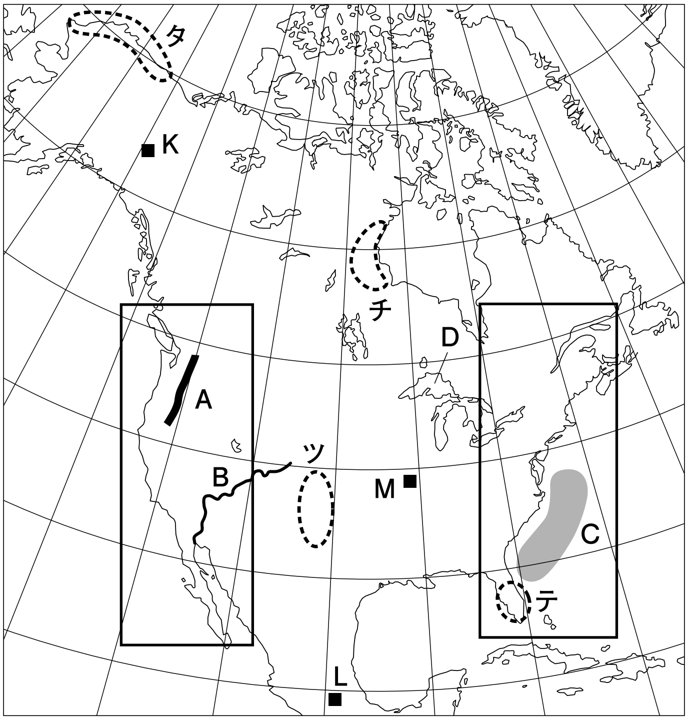


図　1

① **タ**の地域は，北極圏に位置し寒冷なため農業に適さないが，油田や鉱産資源に恵まれている。

② **チ**の地域では，寒冷で平坦な地域が広がるため，春に種子をまいて秋に収穫する春小麦の栽培が盛んである。

③ **ツ**の地域は，乾燥した気候条件にあるが，豊富な地下水と肥沃な土壌をいかした灌漑農業が盛んである。

④ **テ**の地域では，温暖な気候条件をいかした園芸農業が盛んであるほか，海岸沿いには保養地もみられる。

［６］（2011年度地理Ａ追試験第３問問５）

北アメリカ大陸の人の移動，社会・文化について述べた文として下線部が**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

①　北アメリカ大陸の先住民は，太平洋を船で移動してきたオーストラロイドの子孫と考えられており，その一部は北極海沿岸に居住し，現在はイヌイット(エスキモー)とよばれている。

②　北アメリカ大陸では，ヨーロッパ各地から人々が入植した当初，イギリス領，スペイン領，フランス領などに分かれていたが，現在もその名残が地名などにみられる。

③　アメリカ合衆国独立の中心となったイギリス出身者の多くは，白人でアングロサクソンのプロテスタントであることからWASP(ワスプ)とよばれ，社会の中枢をになってきた。

④　アメリカ合衆国に居住するアフリカ系の黒人の多くは，かつて労働力として強制的に連れてこられた人々の子孫であるが，現在ではスポーツ・芸能分野や政府の中枢で活躍する人々もいる。

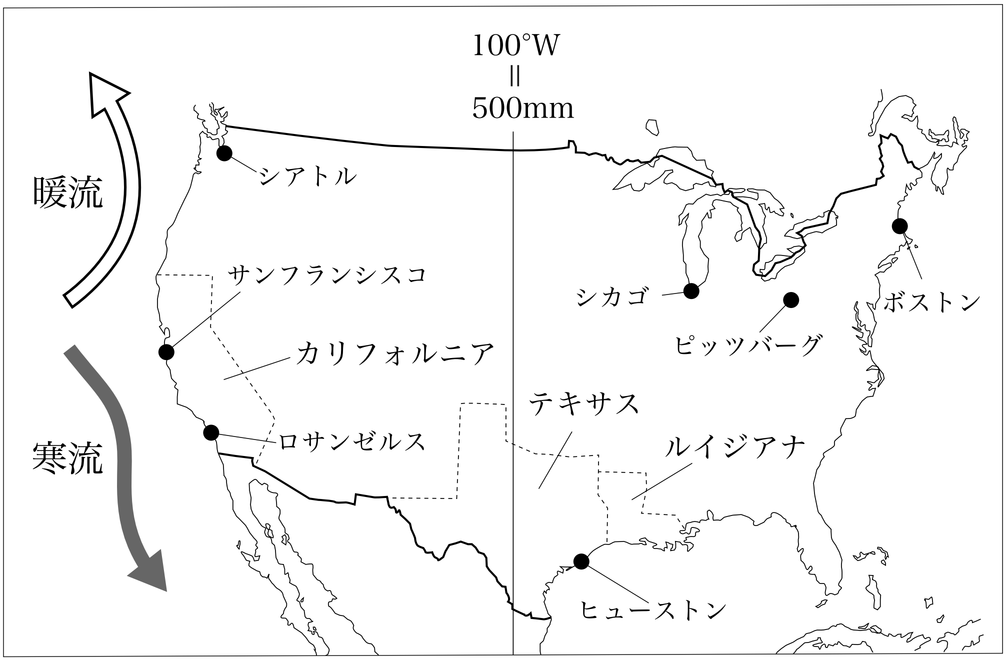
〈Note〉

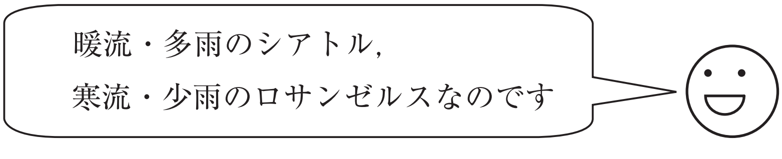
第５講
アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア

［１］ アメリカ合衆国の都市で最も大切なのはシアトル。太平洋岸北部に位置する港湾都市で，木材の積出港として発展した。背後の新期造山帯には火山もみられる（ただし，プレート境界ではあるが，沿岸に海溝はない）。

冬季の降水が夏季を上回る地中海性気候であるが，他の同気候の地域とは異なり，年間の降水量が多い点（1000mm程度）が特徴的。沿岸の暖流の影響により最寒月の平均気温も氷点下とはならず，緯度（北海道より高緯度）のわりに温暖。水力発電が盛んで，アルミニウムの精錬が行われているため，これを材料とした航空機の開発の拠点となっている。

一方，同じ太平洋岸でも中央部から南側に位置するサンフランシスコやロサンゼルスは寒流の影響により年間の降水量も少なくなっている。サンフランシスコで500mm，ロサンゼルスで300mm程度。とくにロサンゼルスは，外来河川であるコロラド川から生活用水や工業用水を得ている。晴天日数の多さを利用して，映画産業や航空機の組立工業などが立地するようになった。





［２］ アメリカ合衆国の都市についてまとめよう。

・ボストン・・・ニューイングランド地方の代表的な都市。早い段階からイギリス人によって入植が進んだ「古都」であり，伝統的な大学も置かれている。かつては綿織物や毛織物など繊維工業が栄えたが，現在は先端産業が集積。

・ニューヨーク・・・マンハッタン島を中心に発展した国際都市で，人口は全米１位（約850万人）。近年の再開発によって街路は整備され，観光地としての魅力も増している。

・ピッツバーグ・・・アパラチア炭田に近接する内陸の都市で，長い間，全米の鉄鋼業の中心であった。1980年代以降は停滞し，現在は再開発によりバイオテクノロジーなど新たな産業の誘致に積極的。しかし人口は減少している。

・デトロイト・・・20世紀初頭より自動車工業が発達し，当時南部から多くの労働者が移入した。現在は自動車不況により，財政が破綻。

・シカゴ・・・農業地帯の中心に位置し，農産物の集散地となっている。穀物市場が置かれ，世界の穀物価格の決定に大きく寄与している。亜寒帯（冷帯）気候。

・ワシントンD.C.・・・計画的に建設された首都（政治都市）。放射直交路型の街路網。

・アトランタ・・・「南部」の都市。アフリカ系の割合が高い。

・ニューオーリンズ・・・ルイジアナ州。ミシシッピ川の河港を中心に発展（ミシシッピ川の河口は独特の形状をした鳥趾状三角州）。綿花の積出港であり，アフリカ系が奴隷として連れて来られた港でもある。アフリカ系の割合が高く，彼らの伝統音楽をルーツとするジャズが生まれた街。

・ヒューストン・・・テキサス州。メキシコ湾岸油田に近接し，石油化学工業が立地するほか，ジョンソン宇宙センターも位置している。

・サンフランシスコ・・・太平洋岸中部の港湾都市。寒流の影響で夏の気温が低く（最暖月平均気温は18℃），気温年較差が極めて小さい。郊外のサンノゼには先端産業（シリコンバレー）。

［３］ アメリカ合衆国において人口の過半を占めるのはヨーロッパ系白人であり，とくにイギリス系プロテスタントをWASPとよぶ。概して社会的地位の高い富裕層が多い。

アフリカ系は，綿花プランテーションが多く開かれていた「南部」（南東部）を中心に分布する。

ヒスパニックは，メキシコやカリブ海地域からの移民とその子孫で，フロリダ

州やメキシコ国境沿いの州でとくに割合が高くなっている。

太平洋岸にはアジア系の人々も多い。とくに中国系は都市部のチャイナタウンに集住するが，近年は経済的な成功を収め，郊外に転居する例もみられる。

なお，アメリカ合衆国の大都市では，個々の民族がそれぞれの文化や生活習慣を尊重する「住み分け」が進み，決して混住はしていない。「民族のサラダボウル」である。

［4］ アメリカ合衆国で知っておくべき州。

・イリノイ州・・・五大湖南岸に接する。北端のシカゴは亜寒帯（冷帯）気候（五大湖も凍結する）だが，州内のほとんどの地域は温帯に含まれ，トウモロコシや大豆が栽培されている（コーンベルト）。

・アイオワ州・・・イリノイ州の西に隣接。コーンベルトを象徴する全米随一の農業州。トウモロコシ，大豆の生産量，豚の飼育頭数はそれぞれ国内上位（トウモロコシ，豚が１位。大豆のみ２位）。

・フロリダ州・・・南東部に突き出した半島を中心とした州で，南端では熱帯気候もみられる。ヒスパニックの割合が高い。園芸農業（オレンジ）が行われる。

・ルイジアナ州・・・テキサス州の東に隣接する「L」の形の州で，名称はフランス国王に由来。アフリカ系の割合がとくに高い。

・テキサス州・・・アラスカ州についで面積２位の州。原油の産出，綿花の生産量，牛の飼育頭数がそれぞれ国内１位。メキシコとの境はリオグランデ川。

・カリフォルニア州・・・人口，農業，工業，商業いずれも全米トップレベル。地中海性気候がみられ，ブドウの栽培が特徴的。プレートのずれる境界であるサンアンドレアス断層が走り，地震や火山活動も。近年，ヒスパニックの割合がとくに高まっている。

［5］ 南アメリカ大陸の自然環境。太平洋岸に沿って新期造山帯のアンデス山脈が縦断し（火山もみられる），それに沿って海溝もみられる。ペルー東部からブラジルの低緯度一帯にかけて広がるアマゾン低地，ブラジル南部のブラジル高原などは安定陸塊。また，「古期造山帯に分類される地形がほとんどない」ことも重要。そのため，ブラジルは資源大国であるものの，石炭の産出はほとんどない。

気候については，チリが重要。北部はペルー海流の影響で大気が安定することからほとんど降水がみられず，ペルーから続く海岸砂漠となっている。少雨であることは鉱産資源の採掘に有利（露天掘り）。

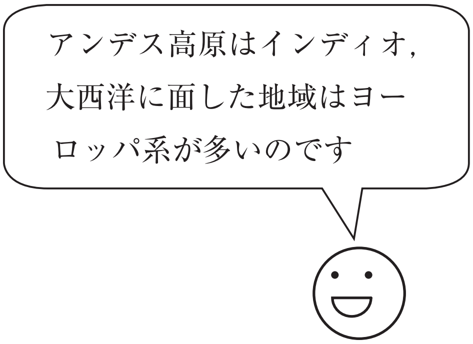
中部の南緯35°周辺は地中海性気候。ブドウの栽培が行われ，ワインはチリの輸出品の一つ。首都サンティアゴも位置し，その人口はチリ全体の３割を占める。
南部はフィヨルドの広がる森林地帯であるが，偏西風が湿った空気をもたらし，年降水量2000mmを超える多雨地域となっている。一方で，風下側斜面となるアルゼンチン南部は少雨地域であり，ステップ(草原)が広がる。

［6］ 民族構成に特徴がある国が多いのが中南アメリカの特徴である。

・ヨーロッパ系白人が主・・・アルゼンチン・ウルグアイ。ラプラタ川のエスチュアリーに大規模な港湾を有し，スペインなど南ヨーロッパ地域から多くの移民を迎え入れた。

・インディオが過半を占める・・・ペルー・ボリビア。アンデス高原にインカ帝国が栄え，スペインに占領された後はカトリック化も進んだが，その末裔であるインディオの割合が現在も高い。なお，両国はスペイン語以外に先住民の言語も公用語とされている。

両地域に接するチリとパラグアイは，インディオとヨーロッパ系の混血であるメスチソの割合が高い。同じくメスチソが主であるのはメキシコ。



［7］ Ｊの島はジャマイカである。先住のインディオが死に絶え，サトウキビ栽培などのためにアフリカから黒人奴隷が連れてこられたため，現在もアフリカ系が主の住民構成となっている。その東方に浮かぶエスパニョーラ島の西側を占めるハイチもアフリカ系の国。島の東側のドミニカ共和国はムラート（アフリカ系とヨーロッパ系の混血）の割合が高い。

［8］ オーストラリアは，東岸に沿って古期造山帯の山脈がみられる以外，広く安定陸塊となっている。北東岸は暖流が流れ，巨大なサンゴ礁が形成されている（グレートバリアリーフ）。資源が豊富で，北部の熱帯（サバナ）地域でボーキサイト，東部の古期造山帯の地域で石炭，北西部で鉄鉱石，南西部で金鉱が，それぞれ採掘される。

都市は，国全体の人口が少ないのに対し，大都市が多いことが特徴。シドニーとメルボルン（いずれも約500万人）の規模がとくに大きく，いずれも南東部に位置（それぞれタスマン海，バス海峡に面する）。南西部のパースは金の積出港として発達し，地中海性気候がみられる。ただし，首都のキャンベラは，シドニーとメルボルンの中間の山間部に計画的につくられた都市で規模は小さい。

ニュージーランドの人口最大都市は北島のオークランドであり，首都ウェリントンの規模は小さい。南島の東岸のクライストチャーチ付近は比較的降水量が少なく，小麦の栽培や羊の飼育がみられる。

［9］ 太平洋の島々は，ミクロネシア（おおよそ赤道以北，経度180度以西の地域。ただしナウルも含む），メラネシア（おおよそ赤道以南，経度180度以西の地域），ポリネシア（おおよそ経度180度以東の地域。ただしニュージーランド，ツバル，キリバスの一部などを含む）に分けられる。

・ナウル・・・リン鉱石の産出（海鳥の排泄物が石化したグアノという物質に含まれる）で経済レベルは比較的高いが，資源枯渇により新たな産業の活性化が求められる。
・ハワイ・・・アメリカ合衆国の州。プレート中央部のホットスポットに生じた火山群島からなる。プレートが移動する方向から，西部の島ほど形成年代は古い。ハワイ島には巨大な楯状火山がみられるが，爆発力が弱く，溶岩の粘性も小さい。かつて日本から農業移民が流入し，現在も永住者や日系人が多い。
・ニューカレドニア・・・フランスの海外県で，本国との交流も活発。観光業が発達しているほか，ニッケル鉱の産出も。

[10]

・イースター島・・・チリ領。モアイ像で知られる。

・ガラパゴス諸島・・・「進化論の島」。エクアドル領で赤道直下に位置する火山群島。ペルー海流の影響で海水温が低く，地表面付近の空気が冷やされることによって大気が安定し，降水量が少ない。独自の生態系を有する。

第５講
アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア［練習問題］

［１］（2010年度地理Ｂ追試験第４問問１）

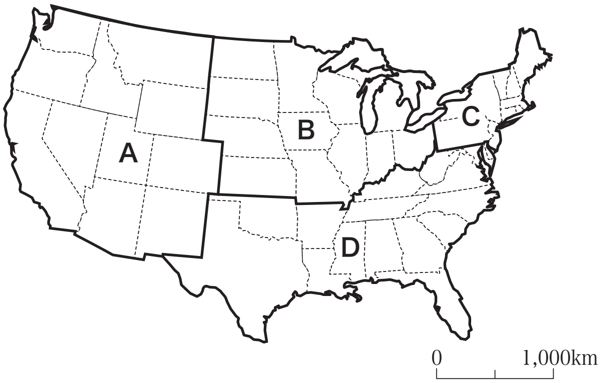
下の①～④の文は，次の図１中に示したカーナック(チューレ)，シアトル，セントルイス，ロサンゼルスのいずれかの都市について，それらの形成や発達の特徴を自然環境とのかかわりから述べたものである。セントルイスについて述べた文として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

図 1

① 周辺に豊富な森林資源や水資源をもち，製紙・パルプ工業やアルミニウム工業が盛んな工業都市として発達した。
② 周辺は非居住地域(アネクメーネ)であるが，軍事的条件に優れることから，軍関係者が多くを占める都市が形成された。
③ 晴天日が多く乾燥した気候をいかして，郊外に大規模な映画産業が発達した。
④ 二つの河川の合流点近くに位置し，後背地で生産されるトウモロコシなどの穀物取引や製粉業を中心とした商工業都市として発達した。

［２］（1999年度地理Ｂ本試験第２問問４）

アメリカ合衆国の四つの都市に関して述べた次の文①～④のうちから，図１中のＣ地域にある都市に該当するものを一つ選べ。



地域区分は，アメリカ合衆国センサス局の「西部」「中西部」「北東部」「南部」の分類に従った。

図　１

① この都市は，内陸の森林資源の輸出港として発展し，豊富な木材はこの地に航空機工業を誘引する要因の一つとなった。

② この都市は，農業には適さない周囲の土地条件から，海運業や織物工業に活路を見出して発展し，近年ではハイテク産業の集積も進んでいる。

③ この都市は，フランス人によって開かれた河港を起源とし，フランス系，スペイン系，アフリカ系の文化の融合した独自の大衆文化を生み出した。

④ この都市は，水陸交通の結節点であることから農畜産物の大集散地として発展し，穀物や食肉の国際価格を左右する取引所があることで知られている。

［３］（2003年度地理Ａ追試験第２問問２）

アメリカ合衆国では，様々な人種や民族がともに生活しているが，その構成は地域ごとに異なっている。次の表１中の**カ**～**ク**は，図１中の**Ａ**～**Ｃ**のいずれかの州における人種・民族構成について，白人，黒人，アジア系の割合を示したものである。**カ**～**ク**と**Ａ**～**Ｃ**との組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

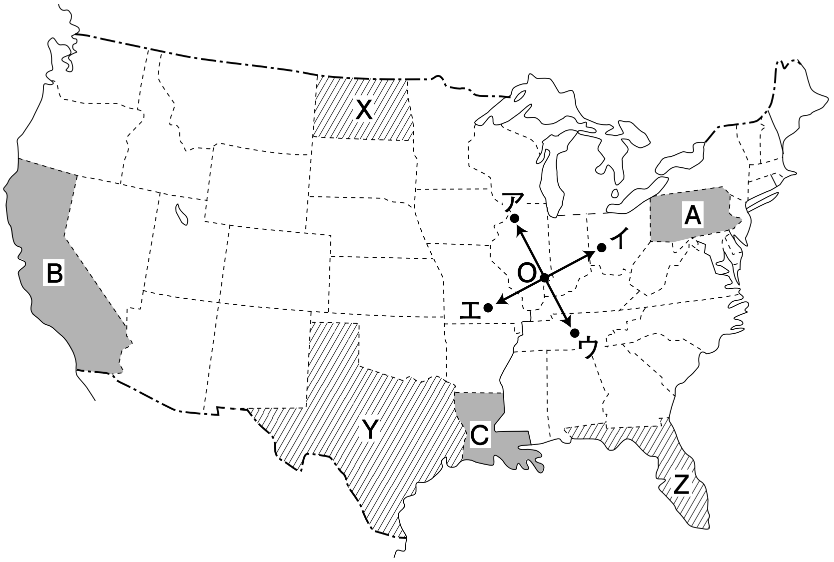


図　１

	白人(%)	黒人(%)	アジア系(%)
カ	85.４	10.０	１.８
キ	63.９	32.５	１.２
ク	59.５	６.７	10.９

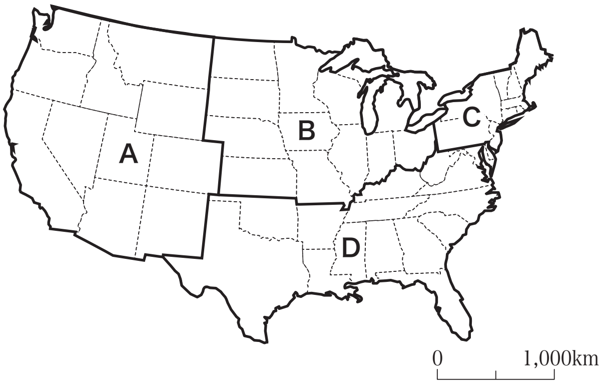
統計年次は2000年。アメリカ合衆国センサス局の資料により作成。

表　１

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	**A**	**A**	**B**	**B**	**C**	**C**
キ	**B**	**C**	**A**	**C**	**A**	**B**
ク	**C**	**B**	**C**	**A**	**B**	**A**

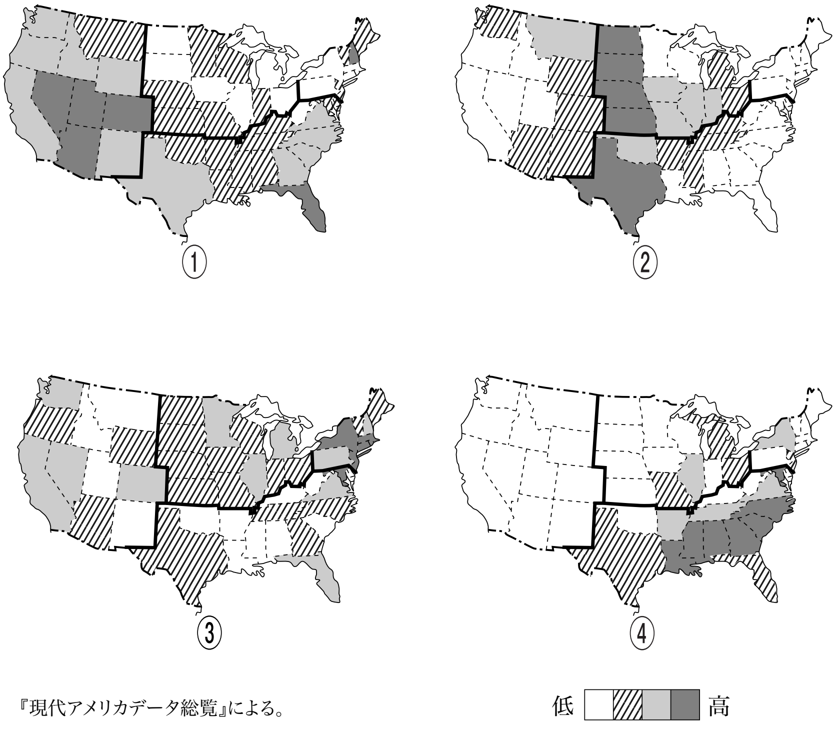
［4］（1999年度地理Ｂ本試験第２問問６）

次の図３は，図１中のＡ～Ｄの各地域で高い値を示す四つの指標を取り上げて作成した州別の分布図である。取り上げた指標は，人口増加率（1970～1995年），黒人人口率（1992年），１人当たり個人所得（1995年），および農地面積率（＊）（1992年）である。人口増加率に該当するものを，図３中の①～④のうちから一つ選べ。
（＊）農地面積率は，州面積のうち耕作地・牧草地・放牧地の占める割合。



地域区分は，アメリカ合衆国センサス局の「西部」「中西部」「北東部」「南部」の分類に従った。

図　1



『現代アメリカデータ総覧』による。

図 3

［5］（2008年度地理Ｂ追試験第１問問５）

図１中のＫ地域を西岸から東岸に移動した際にみられる主な自然景観の変化を示したものとして最も適当なものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。

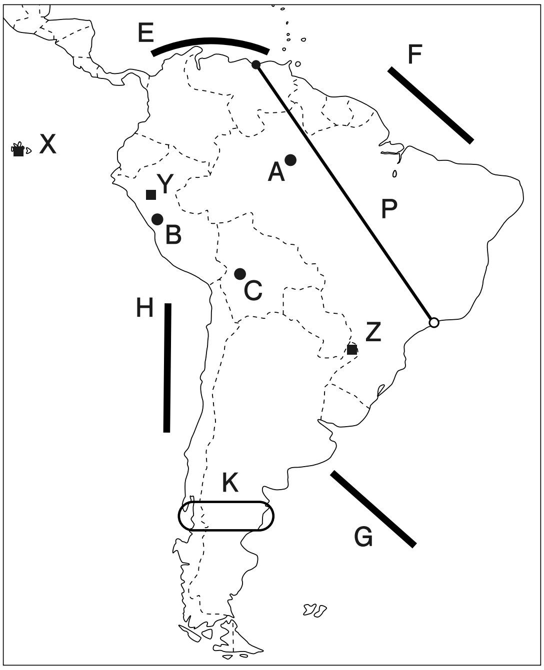
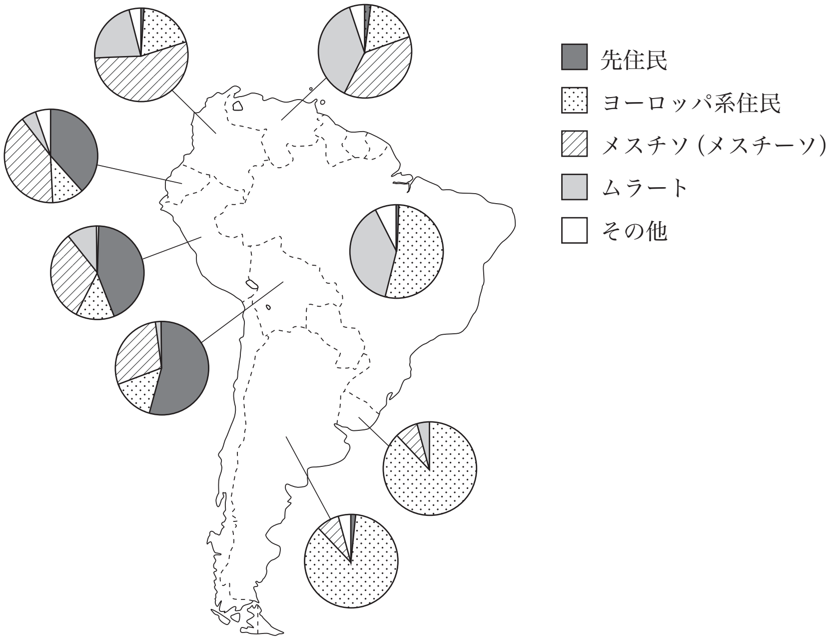


図　1

① 草原　→　氷河と湖　→　U字谷と温帯林
② 草原　→　U字谷と温帯林　→　氷河と湖
③ 氷河と湖　→　草原　→　U字谷と温帯林
④ 氷河と湖　→　U字谷と温帯林　→　草原
⑤ U字谷と温帯林　→　草原　→　氷河と湖
⑥ U字谷と温帯林　→　氷河と湖　→　草原

［6］（2015年度地理Ｂ本試験第４問問６）

南アメリカの国々では多民族・多文化の社会が形成されている。次の図３は南アメリカのいくつかの国における住民の民族構成を示したものである。図３に関することがらについて述べた文章として，下線部が最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。



Convergencia, 2005 により作成。

図 ３

① アルゼンチンやウルグアイではヨーロッパ系住民の割合が高い。これは，独立後に北アメリカからの移民を大量に受け入れたためである。

② エクアドルやコロンビアではメスチソ（メスチーソ）の割合が高い。これらの国では，ポルトガル語が国の公用語となっている。

③ ブラジルやベネズエラではムラートの割合が高い。これは，植民地時代にアフリカから多くの奴隷（どれい）が連れてこられたためである。

④ ペルーやボリビアでは先住民の割合が高い。これらの国では，植民地支配を受ける以前からの宗教を信仰する住民が多数を占めている。

［７］（2012年度地理Ａ本試験第３問問４）

中央・南アメリカでは，国・地域ごとに，歴史や民族性を反映した大衆音楽・ダンスがみられる。次の写真２中の**マ**～**ム**は，図１中の**Ｊ**～**Ｌ**のいずれかの国における代表的な大衆音楽・ダンスの特徴を示したものである。**マ**～**ム**と**Ｊ**～**Ｌ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

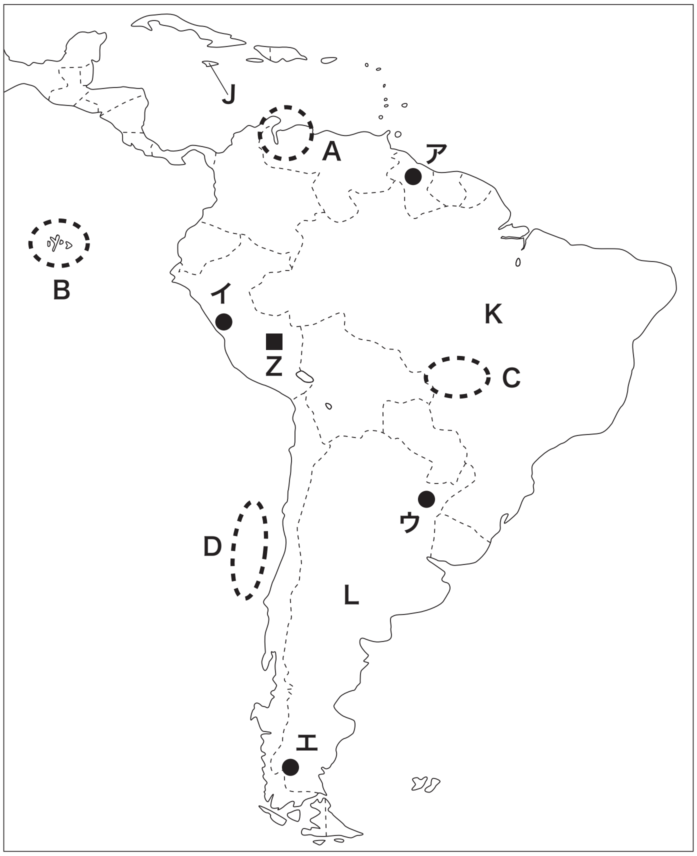


図　１

マ　「サンバ」は，名称やダンス，リズムがアフリカに由来する。このダンスを中心としたカーニバルは，世界的に有名である。

ミ　「タンゴ」は，ヨーロッパ系移民の音楽に影響を受け，この国で誕生した。バンドネオンというアコーディオンが演奏に使用される。

ム　「レゲエ」は，アフリカ系のダンス音楽に，アメリカ合衆国のソウル・ミュージックなどの影響が加わって形成された。

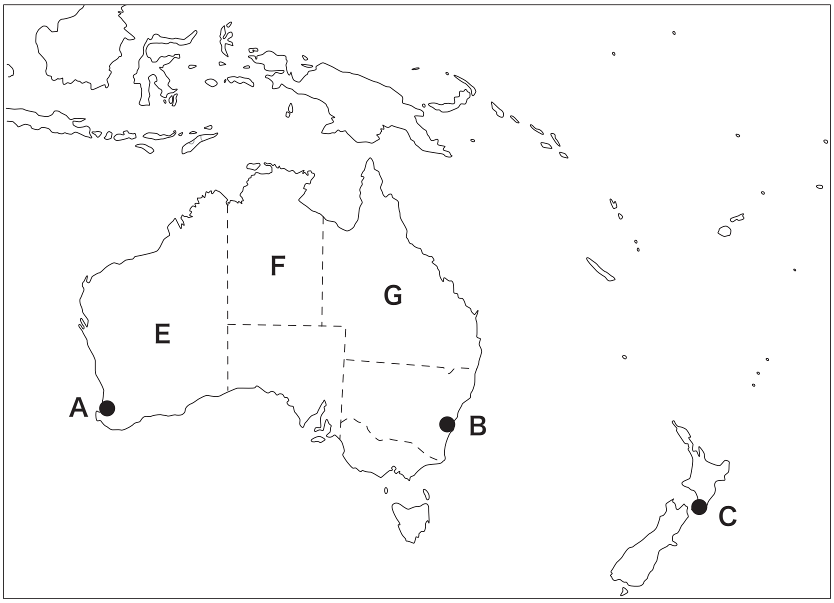
写真　２

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	①	②	③	④	⑤	⑥
マ	J	J	K	K	L	L
ミ	K	L	J	L	J	K
ム	L	K	L	J	K	J

［８］（2011年度地理Ｂ追試験第４問問２）

図１中の**Ｅ**～**Ｇ**はオーストラリアのいくつかの州（準州を含む）を示したものであり，次の**カ**～**ク**の文章は**Ｅ**～**Ｇ**のいずれかの特徴を述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｅ**～**Ｇ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



－－－－－ は州境（準州を含む）を示す。

図　１

カ　この州の沿岸部は，気候が温暖であり，グレートバリアリーフなどの観光資源が存在する。それらを背景としてリゾート地が発達し，人口も増加している。

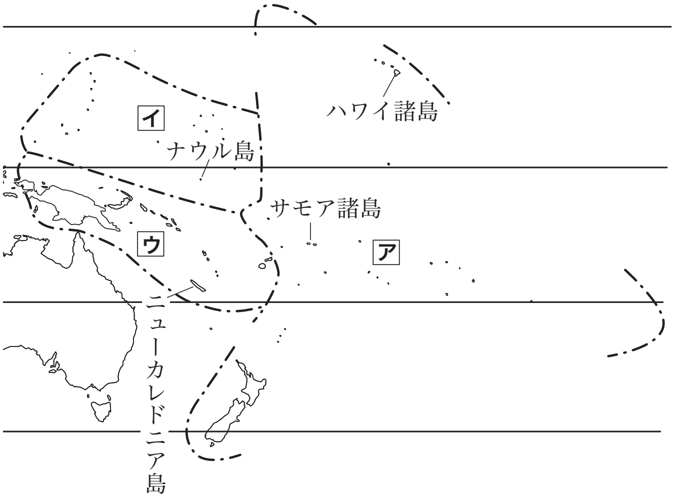
キ　この州の内陸部では，金，鉄鉱石，ニッケルやボーキサイトなどの鉱物資源に恵まれ，それらは大規模な露天掘りで採掘されている。

ク　この州の内陸部の乾燥地域では，掘り抜き井戸が分布し，そこから飲料水や農業用水が取水されている。また，ウルル（エアーズロック）周辺は，アボリジニの聖地として知られている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	E	E	F	F	G	G
キ	F	G	E	G	E	F
ク	G	F	G	E	F	E

［9］（2000年度地理A追試験第3問問3）

次の文P～Rおよびa～cは，図中のハワイ諸島，ナウル島，ニューカレドニア島のいずれかについて説明したものである。それらの組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



P　リン鉱石による鉱業が最大の産業であるが，資源枯渇の問題がある。
Q　ニッケル鉱の産出のほか，観光が住民の大きな収入源である。
R　住民には日系人が多く，農業と観光業が盛んである。

a　20世紀半ばにアメリカ合衆国の一つの州となった。
b　20世紀半ばにイギリス連邦内の独立国となった。
c　19世紀半ばにフランスの植民地となった。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	a	a	b	b	c	c
Q	b	c	a	c	a	b
R	c	b	c	a	b	a

［10］（2010年度地理Ａ本試験第４問問３）

次の写真１中のア～ウは，図１中のＫ～Ｍに位置するいずれかの島で撮影されたものである。ア～ウとＫ～Ｍとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

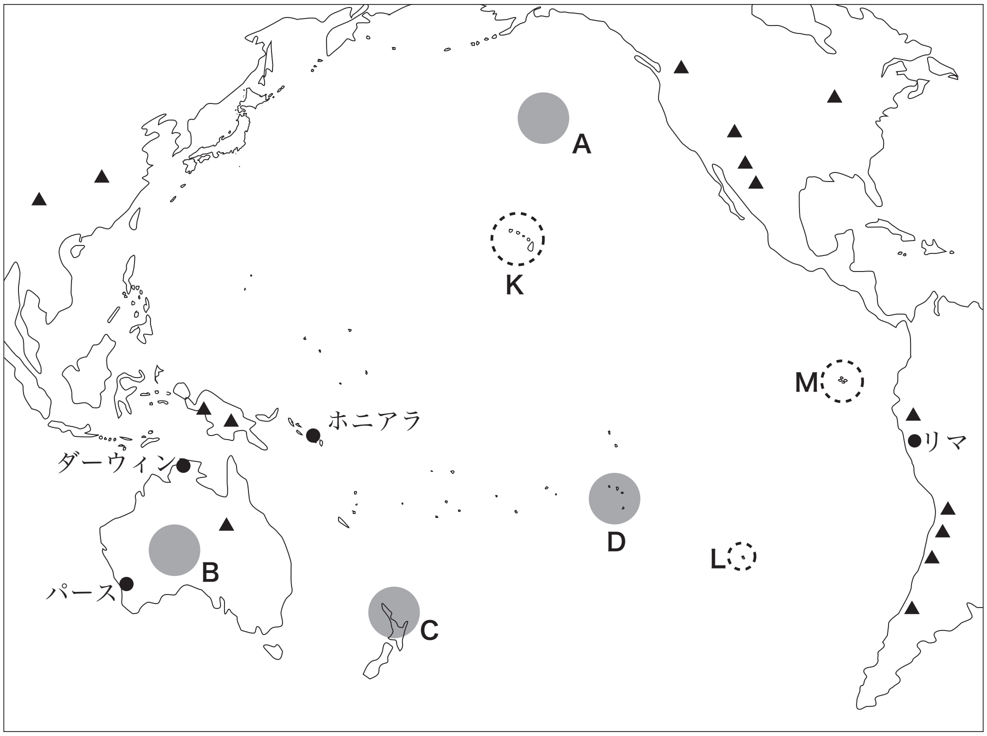


図 1

ア　巨大な石像群で知られ，世界文化遺産に登録された。

イ　固有の進化をとげた動植物が多くみられるため，世界自然遺産に登録された。

ウ　世界最大規模の噴火活動がみられ，世界自然遺産に登録された。

写真　1

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	ア	イ	ウ
①	K	L	M
②	K	M	L
③	L	K	M
④	L	M	K
⑤	M	K	L
⑥	M	L	K

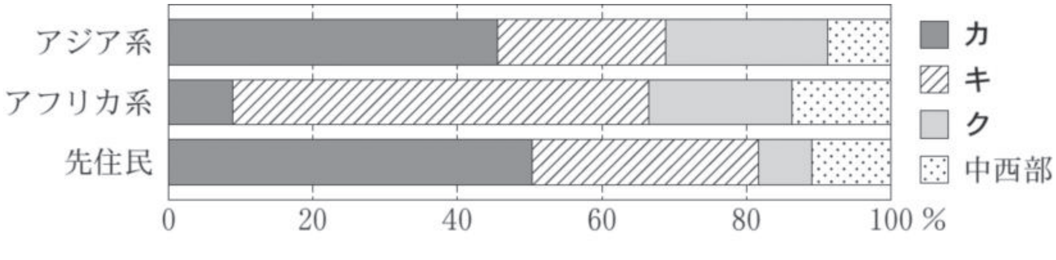
第５講
アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア［確認問題］

［１］（2023年度地理Ａ本試験第３問問３）

北アメリカでは，地域によって人口の構成が異なる。次の図３は，アメリカ合衆国を４地域に区分して示したものである。また，後の図４は，アメリカ合衆国におけるアジア系，アフリカ系，先住民の人口について，地域別の割合を示したものであり，凡例**カ**～**ク**は，西部，南部，北東部のいずれかである。地域区分と**カ**～**ク**との正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

西部にはアラスカ州とハワイ州を含む。

図　３



統計年次は2010年。U.S. Census Bureau の資料などにより作成。

図　４

	①	②	③	④	⑤	⑥
西　部	カ	カ	キ	キ	ク	ク
南　部	キ	ク	カ	ク	カ	キ
北東部	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［２］（2011年度地理Ｂ本試験第２問問６）

次の**タ～ツ**の文は，下の図**３**中の**Ｋ～Ｍ**のいずれかの地域における産業の特徴について述べたものである。**タ～ツ**と**Ｋ～Ｍ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

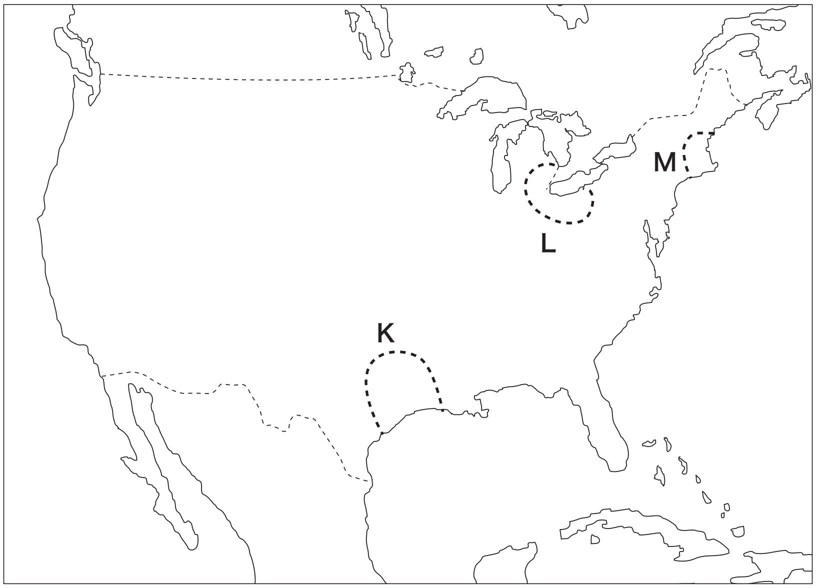


図　**３**

タ　高級毛織物など繊維工業が盛んであったが，近年では大学や研究所との産学連携によって，先端技術産業が発展してきている。

チ　石油化学工業が発達しているほか，NASA（アメリカ航空宇宙局）の基地があり，航空宇宙産業も盛んである。

ツ　交通の利便性が高く，周辺の鉱産資源を利用した鉄鋼業や機械工業，自動車工業が発達したが，近年ではIT産業などへの業種転換も行われている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	K	K	L	L	M	M
チ	L	M	K	M	K	L
ツ	M	L	M	K	L	K

［３］（1990年度地理本試験第２問問２）

次の文章**ア・イ・ウ**は，図１中の**A**の工業地域の都市について，近年の変化を述べたものである。それぞれの文章に該当する都市名の正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

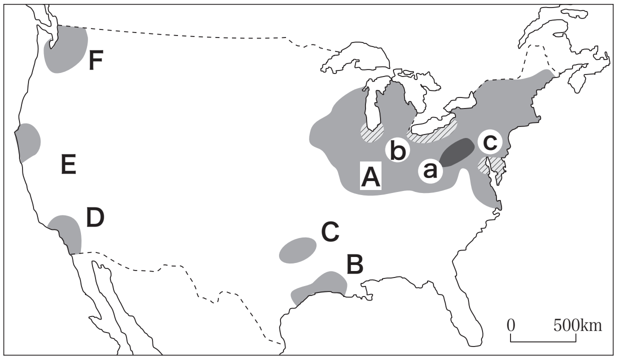


図　１

ア　この都市の郊外の臨海部に位置するスパローズポイントには，鉄鋼業の新たな立地の傾向として，銑鋼一貫工場が建設された。

イ　この都市では，鉄鋼・非鉄金属などの素材工業が低迷したため，しだいに組立工業への転換が図られ，市街地の再開発も進められている。

ウ　この都市では，衣服・食品・出版などの都市型工業に特色がある。特に婦人服は，ファッション産業として大きく成長している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	ピッツバーグ	ピッツバーグ	ニューヨーク	ニューヨーク	ボルチモア	ボルチモア
イ	ニューヨーク	ボルチモア	ピッツバーグ	ボルチモア	ピッツバーグ	ニューヨーク
ウ	ボルチモア	ニューヨーク	ボルチモア	ピッツバーグ	ニューヨーク	ピッツバーグ

［４］（2008年度地理Ａ本試験第３問問６）

次の写真１中の**カ～ク**は，図２中の**Ｘ～Ｚ**のいずれかの都市の景観を示したものである。**カ～ク**と**Ｘ～Ｚ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

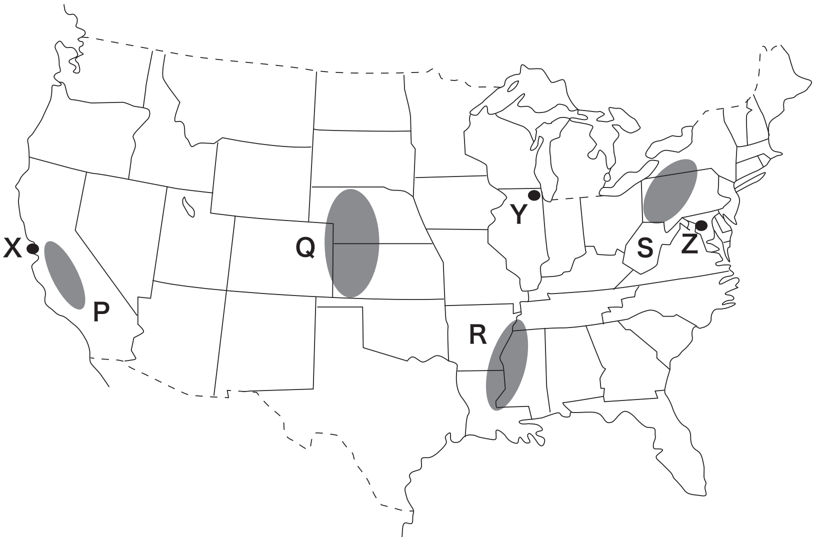


図　２

カ　坂の多い市街地を走るケーブルカー

キ　農畜産物の集散地から発達した都心部の高層ビル群

ク　格子状と放射状の組み合わさった道路網をもつ政治都市

写真　１

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	X	X	Y	Y	Z	Z
キ	Y	Z	X	Z	X	Y
ク	Z	Y	Z	X	Y	X

［５］（1999年度地理Ａ追試験第１問問２）

ラテンアメリカの植民地化の過程で，海外から労働者が移入した結果，人種・民族の混合がおこった。人種別人口構成を，インディオ，黒人，混血，白人の４種類に分けることができる。図１中のウルグアイ，ハイチ，ブラジルの３か国について，黒人の比率が高い順に国名を並べたものとして正しいものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。

図　1

	高	中	低
①	ウルグアイ	ハイチ	ブラジル
②	ウルグアイ	ブラジル	ハイチ
③	ハイチ	ウルグアイ	ブラジル
④	ハイチ	ブラジル	ウルグアイ
⑤	ブラジル	ウルグアイ	ハイチ
⑥	ブラジル	ハイチ	ウルグアイ

［6］（2002年度地理Ａ本試験第１問問６）

次の**タ**，**チ**の文は，オーストラリアのある州（準州を含む）への訪問客について述べたものである。**タ**，**チ**に該当する州を，下の図**７**中の①～⑦からそれぞれ一つずつ選び，**タ**については⑴に，**チ**については⑵に答えよ。

タ　2000年にオリンピックを開催したオーストラリア最大の都市があるこの州には，観光客だけでなく，商用を目的とした訪問客も多い。

チ　大陸棚に世界有数のサンゴ礁があるこの州には，国内からだけでなく，日本などの海外からも多くの観光客が訪れる。

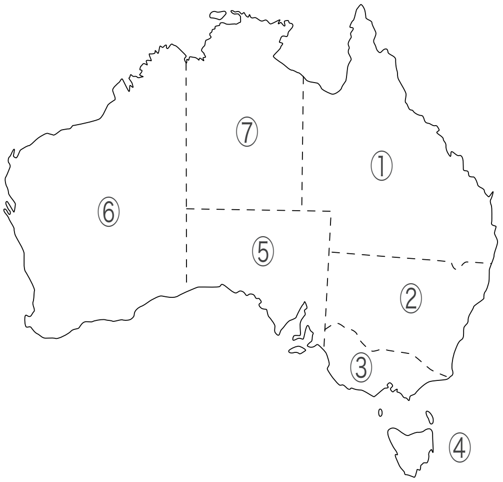


図　**７**

［写真・映像提供元］
アフロ，AP，Alamy，AFP/WAA，毎日新聞社，REX，ロイター

練習問題解答

第１講
東アジア・東南アジア　解答

[１]正解；②

[２]正解；①

[３]正解；④

[４]正解；⑥

[５]正解；②

[６]正解；②

[７]正解；④

[８]正解；②

[９]正解；④

[10]正解；①

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ　解答

[１]正解；⑤

[２]正解；①

[３]正解；③

[４]正解；③

[５]正解；③

[６]正解；②

[７]正解；①

[８]正解；③

[９]正解；⑥

[10]正解；⑤

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ　解答

[１]正解；⑥

[２]正解；⑤

[３]正解；⑥

[４]正解；①

[５]正解；④

[６]正解；③

[７]正解；③

[８]正解；⑥

[９]正解；②

[10]正解；①

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ　解答

［1］正解；③

［2］正解；②

［3］正解；③

［4］正解；④

［5］正解；①

［6］正解；④

［7］正解；③

［8］正解；②

［9］正解；③

［10］正解；①

第５講
アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア　解答

[１]正解；④

[２]正解；②

[３]正解；②

[４]正解；①

[５]正解；⑥

[６]正解；③

[７]正解；④

[８]正解；⑤

[９]正解；④

[10]正解；④

確認問題解答

第１講
東アジア・東南アジア　解答

［**1**］正解；①

東アジア・東南アジア地域の港の規模に関する問題である。近年，急激に経済成長した中国に着目する。中国は改革開放政策によって1980年代以降大きな経済成長を果たした国であり，海上交通を含めた貿易額も大きく増加した。代表的な港湾都市としては，中部のシャンハイ，南部のホンコンなどがあり，図中でも示されている。

中国南部の沿岸部に注目すると，**A**では３つの港(**ア**が２，**イ**が１)が示されているのに対し，**B**では２つの港(**ア**が１，**イ**が１)が確認できる。まず，**B**の２つは南部の代表的な港であるホンコンとシェンチェンだと考えられる。**A**ではその近くにもう一つの港が加わっているが，これは２つの港湾都市を中心とした中国南部地域の海上交通における重要性が高まり，近隣の港の規模も大きくなったと解釈するのが適当である。また，中国全体でみても，１～10位の港のうち，**B**では中国に３つ，**A**では７つとなっている。これは，中国の港の規模が大きくなり，東アジア地域の海上交通の中心として成長していることによるものと想像できる。よって，2018年の図に該当するのは**A**である。

次に，**ア**と**イ**を判定する。**B**から**A**への変化に注目すると，**B**に存在していた日本，フィリピン，インドネシアの**イ**が，**A**では消えている。2000年の段階で上位５位までにランクインしていた港が，18年後には３つも11位以下にランクが下がってしまうということは考えづらい。台湾の**ア**のみ**B**から**A**に移行する過程で消えているが，より可能性が高いものとして，**イ**を６～10位の港と判断する。

以上のように考え，矛盾がないか検討していく。まず，**B**から**A**までの間に日本国内からは上位10位までの港がなくなり，韓国南部の港もランクを下げている。一方で，中国北部では２つの港が６～10位に，中部では一つの港が１～５位に新しく加わっている。さらに南部でも，すでに述べたように，シェンチェンとホンコンに加えてもう一つ巨大な港湾が加わっている。2018年には上位１～５位までの港のうち４つが中国に集中し，東アジア経済の中枢を担っていることがよくわかる。中国の台頭によって東アジア地域における日本の経済的な地位が低下したことが如実に現れており，中国の急激な経済成長を物語っている。

東南アジアに目を移すと，シンガポールとマレーシアの港に変化はなく，とく

にシンガポールは依然として上位１～５位の地位を保っている。国際分業が進み，各国間の関係がさらに緊密になる中で，シンガポールがその中心として大きな存在感を放っていることがうかがえる。

よって，2018年の図が**A**，上位１～５位の港が**ア**であり，正解は①。

［２］正解；③

Aはシンチヤンウイグル自治区。シルクロードに沿う乾燥地域でイスラームが伝えられた。伝統的な灌漑農業であるオアシス農業によって穀物や綿花が栽培されるほか，羊の放牧もみられる。**キ**が該当。

Bはチベット自治区。標高が極めて高い冷涼少雨の高原を中心とし，ヤクの遊牧がみられる。チベット仏教が信仰され，**カ**が該当。

Cはコワンシーチョワン族自治区。温暖多雨で米作が盛ん。高い人口支持力によって，農業を基礎とする仏教が広まっている。**ク**が該当。

［３］正解；④

シェンチェンはコワントン省の都市。ホンコンに隣接し，経済特区に指定されている。外資系の企業が多く進出し，出稼ぎ者の流入によって人口も急増した。

①はテンチン。直轄市の一つで，ペキンの外港都市である。綿工業などが盛ん。

②はホンコン。イギリスの植民地として発展し，1990年代に中国へと返還された。返還後も資本主義の経済体制は維持されており，１人当たりGNIは高い。金融業が発達する。

③はシャンハイ。人口規模はペキンを凌ぎ，港湾都市として商工業が発展する。輸出加工区が設けられ，外国企業の進出数も多い。

［４］正解；③

北西部のシンチヤンウイグル自治区に注目。イスラーム地域であり豚の飼育はみられず，乾燥地域なので主に羊が飼育されている。ここで値の大きい**カ**が羊，小さい**ク**が豚となる。羊はこれ以外に内モンゴル自治区でも多く，やはり少雨である。豚は華北やスーチョワン省で多く，これらの地域は豊かな農業地域であるため，飼料作物の栽培も盛ん。

［５］正解；④

①；「中継貿易」よりシンガポールである。東南アジアで最も早く工業化を成し

遂げた国でもある。ただし，高賃金と労働力の少なさにより，繊維や自動車など労働集約型工業は発達せず，石油化学工業のような資本集約型工業や，電子など知識集約型工業が中心である。

②；この国も工業は発達しているが，①のシンガポールに比べると「電気機械」などが「主要産業」であるなど，労働集約型の特徴がある。マレーシアに該当。１人当たりGNIは約10000ドル／人であり，機械工業も成り立つ。ただし，近年は首都クアラルンプール近郊のサイバージャヤにハイテク産業地域が形成されるなど，先端産業の分野においても飛躍が目覚ましい。

③；「天然ガス」が主要な輸出品目であり，ブルネイに該当。資源産出に依存する小国であり，１人当たりGNIが高い。

④；工業国ではあるが，その中心の一つに繊維工業があるなど，経済レベルが①のシンガポールや②のマレーシアより低いことがわかる。１人当たりGNIが約7000ドル／人であるタイに該当。なお，タイは自動車部品などについて日本と自由貿易を行っており，バンコク近郊には日系の自動車工場が多く設けられている。ここで組み立てられた自動車が西アジアの産油国などに輸出されている。

［６］正解；⑴②　⑵⑤

⑴シンガポールはもともとマレーシアの一部だったことからマレー語が，さらに旧宗主国の言語である英語に加え，移民系の言語である中国語とタミル語（インド南部の言語）も，公用語とされている（公的な場においては一般に英語が使用される）。

⑵マレーシアではブミプトラ政策が施行されるなど，先住のマレー系住民の権利が強く尊重されており，公用語もマレー語のみである。宗教もイスラームが国教とされ，国旗にもイスラームを象徴する月と星のマークが描かれている。

なお，表中の数値については現在とは異なっているので注意してほしい。参考までに最新のデータを示しておく。

国名	総人口(万人) 2021年	各民族の構成比(％)		
		中国系	マレー系	インド系
シンガポール	594	74	13	9
マレーシア	3,357	23	62	7

『データブック オブ・ザ・ワールド2024』(二宮書店)により作成。

各民族の構成比の統計年次は，シンガポールが2010年，マレーシアが2009年。

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ　解答

［１］正解；⑤

まず，月降水量を判定する。図２の地域は季節風（モンスーン）の影響で雨季と乾季が明瞭であり，**ア**～**ウ**のグラフはいずれも最多雨月と最少雨月の降水量の差が大きい。ここは，地点Ａ～Ｃにおける総降水量を想像し，それを問題を解くカギとする。南アジアでは，全体的に「北西部で少雨，東部と南西部で多雨」という降水量分布がみられる。パキスタンやインド北西部には乾燥地域が広がり，一部には砂漠も見られる。一方，東部は降水量が多く，とくにヒマラヤ山脈南麓のアッサム地方は世界的な多雨地域となっている。このことから，Ａ～Ｃのうちインド西部のＡは最も降水量が少ないと考えられるので，最多雨月の降水量が最も少ないＡを**ウ**と判定する。夏にはまとまった降水がみられるが，それ以外の時期はほとんど降水が見られないと想像できる。

次に農作物だが，地点Ａを含むＥ州は降水量が少ない地域と考えられる。小麦と米のうち，少雨気候に適応するものは小麦であり，南アジア北西部の乾燥地域では，チャパティやナンなど小麦を原料とした料理が食されている。よって，正解は⑤である。

他の地点についても確認しておく。ＢとＣは，乾季の降水量に注目する。とくに雨季と乾季の差が大きく，乾季にはほとんど降水が見られない**ア**に該当する地点がインド東部のＣ。夏は海からの湿った風が吹き込み多雨となるが，冬は大陸内部からの乾いた風が吹き出すため雨がほとんど降らない。一方の**イ**に該当するのがスリランカに位置するＢとなる。季節風の影響を強く受けるのは他の地点と変わらないが，周囲を海に囲まれているため，冬でも水分の供給は見られる。また，赤道に近いことから，熱帯収束帯（赤道低圧帯）の影響も比較的大きい。激しい上昇気流による収束性降雨がみられる。農作物については，ＢもＣも年間の降水量が大きいため稲の栽培地域となり，米が食されている。

［２］正解；⑥

インダス川が重要。砂漠国パキスタンを流下する外来河川である。「乾燥」，「灌漑」がキーワードで**キ**が該当。

さらに**ク**の「ジュート」にも注目。インド東部やバングラデシュの低地において

栽培される繊維作物。この地域を河口とする河川がガンジス川（インド北部をバングラデシュ方面に向かって流れる）であり，**ク**が該当する。よって⑥が正解。

残った**カ**はメコン川で，インドシナ半島を流れる国際河川である。タイやラオスの国境ともなっている。

［３］正解；②

スリランカの主要民族であるシンハラ人は仏教徒だが，少数派のタミル人は「ヒンドゥー教徒」である。インドより移住してきた人々の末裔。

［４］正解；⑴①　⑵③

イスラームについては南アジアがわかりやすい。パキスタンとインドの違いに注目。パキスタンが該当し，インドが該当していない①が「イスラム教徒が総人口の60％を超える国」。

さらにサウジアラビアに注目。世界有数の原油産出国であり，OPECの代表的な国。サウジアラビアが含まれているのは①と②だが，①はすでに決定しているので，②が「石油輸出国機構（OPEC）に加盟している国」となる。

そして，②と④の該当国が対照的となっている点に注目。②がOPEC加盟国であるので，所得水準は高いはず。②と正反対の傾向にある④を「低所得国（１人当たり国民総生産が766ドル未満）と呼ばれる国」と考える。

消去法で③が「人口密度が１km^2当たり100人以上の国」である。なるほど，人口大国であるインドとパキスタンが含まれている。

［参考；OPEC加盟国］（★はアラブ民族が主である国）

西アジア・・・イラン・イラク★・サウジアラビア★・クウェート★・アラブ首長国連邦★

アフリカ・・・リビア★・アルジェリア★・ナイジェリア・ガボン・赤道ギニア・コンゴ共和国

南アメリカ・・・ベネズエラ

［５］正解；④

タ；アフリカで観光が発達している国はエジプトである。中央部を流れる大河川はナイル川であろう。Qのカイロが該当。

チ；ヨーロッパ人の建設による近代的な都市。Rのナイロビが該当。

ツ；迷路状の街路区画は西アジアや北アフリカの伝統的な旧市街地でみられる。日干しレンガが建材とされ，窓など開口部は小さくつくられる。**P**のフェスが該当。

［6］正解；④

カ；アブシンベル神殿。文中の「ダム」とは，ナイル川に沿う，アスワンハイダムである。洪水が防がれ，灌漑により農業の生産性が向上したものの，上流側からの肥沃な天然土の供給がなくなり化学肥料への依存度が上がるなど弊害も大きかった。ダム建設の際にダム湖に古代の貴重な遺跡が水没することがわかり，これを高所へ移設させるために莫大な費用が費やされている。**R**が該当。

キ；ニジェール川に沿い，岩塩交易で栄えたトンブクトゥー。かつての黒人王国マリの都であり，イスラム教が伝えられたため，土づくりのモスクもみられる。ただし，砂漠化の影響で都市機能が衰え，建造物も損壊の危機にある。**P**が該当。

ク；ケープタウン。おおよそ緯度35°の大陸西岸に位置し，地中海性気候がみられる。ブドウの栽培とワインの醸造。**Q**が該当。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ　解答

［１］正解；③

ヨーロッパは国際河川や運河を利用した内陸水運が盛んな地域である。

①について。アルプス山脈以北のヨーロッパ北部は全体として平坦な地形に恵まれ，一部にみられる山地も険しいものではない。また，年間を通じて偏西風の影響によるおだやかな気候がみられ，降水量の季節的変化も少ないことから河川の流量も安定している。河川や運河の利用には有利である。よって正文となる。

②について。河港を中心とした工業地域の例としてライン川沿いのルール地方がある。内陸水運を利用して鉄鉱石などの原料を輸入し，鉄鋼や機械類などの工業製品を輸出している。これも正文となる。

③について。ライン川とドナウ川について考える。ライン川は西ヨーロッパを流れ北海に注ぐ河川であり，ドナウ川は東ヨーロッパを流れ黒海に注ぐ河川である。ライン川の支流とドナウ川が運河で結ばれており，北海から黒海まで内陸水運を利用した船舶の航行が可能となっている。このことは図からも確認できる。図の中央付近(スイス)の湖から北へ向かって流れる河川がライン川であり，ドイツからオランダへ向かって流れている。図の南東部へ向かって流れる大きな河川がドナウ川だが，ライン川の支流と運河でつながっていることが確認できる。「西ヨーロッパと東ヨーロッパとの間は，内陸水路のみで移動できない」は誤りであり，この選択肢が正解となる。

④について。北海に河口を持つ河川としてライン川を確認する。図から，支流や運河によって地中海へと流出する河川とつながっていることがわかる。北海から地中海へと船舶が航行することは可能なので，正文となる。

［２］正解；②

アはイギリス。首都ロンドンはテムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発展した。人口第２位のバーミンガムは，鉄山と炭田に近接し，原料指向型の鉄鋼業がかつて栄えた。現在は機械工業など。

イはスペイン。首都マドリードは国土中央部の高原上に位置する。人口第２位のバルセロナは，地中海に面する港湾都市。フランスなどから自動車工場が進出している。

ウはスイス。ヨーロッパの国としては例外的に人口最大都市と首都が一致しない。連邦国家であり，州ごとの独自性が強く，公用語も４つ規定されている（ドイツ語，フランス語，イタリア語，ロマンシュ語）。なお，首都ベルンの人口は問題文では「第４位」とされているが，現在は第５位である。

［３］正解；①

カ；「産業革命」がキーワード。イギリスの**A**が該当。バーミンガムでは付近で産出される鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が興った。

キ;「炭田」を中心としているのは，ドイツ北西部のルール工業地帯。**B**が該当。ただし，近年は重工業の停滞により，知識集約型の産業への転換が図られている。

ク；「航空機」の共同工場があるのはフランス南部のトゥールーズ。**C**が該当。

［４］正解；⑥

最重要のキーワードは，**シ**の「賃金の安さ」。経済レベルの低さ，すなわち１人当たりGNIが低いことを表している。これに該当するのは東ヨーロッパ地域であり，**シ**がチェコの**F**に該当。安価な労働力が有利な条件となり，ドイツなどから自動車工場が進出。

さらに**E**の場所に注目しよう。ドイツ西部であり，ルール工業地帯に該当。「近隣の資源」すなわち石炭を利用して「鉄鋼業」が発達したことから，**ス**がこの地域の説明文となる。近年は鉄鋼業は停滞しているが，先端産業を誘致するなどして，新たな工業地域へと再生している。

よって正解は⑥となるが，**G**のイタリア北部にも注目しておこう。これは**サ**が該当し，伝統的な技術を生かした皮革工業などが集積している。「第三のイタリア（サードイタリー）」である。ボローニャなど。

［５］正解；④

ハンブルク，ライン・ルール，ミュンヘンなどは旧西ドイツ。関係性は密接である。それに対し，ベルリンは大半が旧東ドイツ。ハンブルクなど北部の地域を除けば，他地域とのつながりは希薄。

①；ドイツの人口最大都市はベルリン（約350万人）であるが，ベルリンを中心とした構造はみられない。

②；ライン川は国土の西部を流域に収める。ハンブルクはエルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市。ミュンヘンは山岳部に位置し，その北をドナウ川が東

へ流れている。

③；とくにそういった地形条件はみられない。本図には表されていないが，中央部にも自動車工業で名高いヴォルフスブルクなどの都市がみられる。

［6］正解；②

カ；カトリックとプロテスタントが対立するのは北アイルランド地方。**P**が該当。アイルランド島はカトリック地域であるが，入植したイギリス系の人々（支配層を成していた）はプロテスタントであり，社会的な立場の格差もあり，激しく対立した。

キ；キプロスは実質的な分裂国家であり，南部を中心に多数派のギリシャ系キリスト教徒が居住するが，北部には対岸のトルコから渡ってきたイスラム教徒が住んでいる。

ク；「独自の言語」を使用するのはバスク人。フランスからスペインにかけての地域であり，周辺の言語とは全く異なる。ただし，カトリック教徒であり（15～16世紀の宣教師の多くはバスク出身者だった），宗教的な対立はない。

第４講
東ヨーロッパ・CIS・カナダ　解答

［１］正解；②

図５は「ＥＵ加盟年」を示したものである。大まかに，60年代（原加盟）・中央部，70年代・北部，80年代・南部，90年代・北東部，2000年以降・東部の順に加盟を果たした様子を捉える。なお，主な非加盟国にノルウェーとスイスがある。

図６の左は「１人当たりＧＤＰ」を示している。１人当たりＧＤＰは経済レベルのことだが，北部でとくに高く，南部でやや低く，東部でとくに低いことが読み取れる。右は「１人当たりＧＤＰの増加率」を示したものである。元々の１人当たりＧＤＰの値が小さいからこそ増加率も際立って高いものとなることをふまえ，東ヨーロッパ諸国の成長率の高さに注目する。

以上をふまえて，各選択肢を検討していく。

①について。原加盟国はドイツやフランス，イタリアである。１人当たりＧＤＰは高めと見てよいが，増加率についてはフランスとイタリアが最低ランクであるなど，決して高いとはいえない。よって，誤り。2000年の段階でこれらの国の経済レベルはすでに高く，成長の余地が大きくなかったと考えられる。

②について。2000年以降に加盟した東ヨーロッパの国として，ポーランドを例に考える。１人当たりＧＤＰについては最低ランクであるが，その増加率については最高ランクにある。よって，正文と考えられる。旧社会主義国であり元々の経済レベルは低いが，ＥＵ加盟を契機として西ヨーロッパ諸国から工場が進出するなどして，大きく経済力が向上した。

③について。これは図からは判定できないが，経済の原則に従って考える。１人当たりＧＤＰは１人当たりＧＮＩと同じと考えてよく，経済レベルは労働者の賃金水準の目安となる。東ヨーロッパ（ポーランドなど）の方が西ヨーロッパ（ドイツなど）より１人当たりＧＤＰが低く，賃金水準が低いのだから，西ヨーロッパから東ヨーロッパへと労働者が移動することはない。よって，誤文となる。西ヨーロッパから東ヨーロッパへ多くの外国資本が進出したことは間違いないが，それは安価な労働力を求めての機械組み立て工場などであり，現地（東ヨーロッパ）の労働者が雇用されている。

④について。スイスや，広く捉えれば西ヨーロッパの一部であるノルウェーに着目する。１人当たりＧＤＰ，１人当たりＧＤＰの増加率とも，高いものとなっ

ている。よって誤文である。

本問からは，とくに東ヨーロッパ諸国の特徴を読み取ってほしい。ＥＵ加盟は2000年以降であり，この時期から大きな経済成長を果たしているが，現在でもまだ西側諸国に比べれば賃金水準は低く，さらなる工場の進出が考えられる。

［２］正解；②

③の判定が容易。ラテン語(ロマンス語)系の代表的な国はイタリア。イタリアが含まれる①か③のいずれかが「ラテン語系」になるが，①にはスラブ系の言語を使用するポーランドも含まれている点に注目。③が「ラテン語(ロマンス語)派」となる。

さらに④に注目。国は少なく，ロシアやベラルーシなどに限られる。旧ソ連構成国のうち，バルト３国が外れていることから，「CIS」である。

残った①と②の判定だが，ポーランドに注目しよう。ポーランドはカトリック教徒が多数を占める国であることから，ポーランドが含まれていない②が「東方正教」である。ロシアやウクライナのほか，旧ユーゴスラビア東部の国々やギリシャが含まれている。

残った①が「NATO」。NATO(北大西洋条約機構)とは，アメリカ合衆国や西ヨーロッパ，トルコを中心とした軍事同盟であるが，現在はポーランドなど東ヨーロッパ諸国の多くも加盟している。なお，問題が出題された時点では未加盟だったが現在はアルバニア，クロアチア，モンテネグロ，北マケドニアもNATOの一員である。

［３］正解；③

ノルウェーに接するコラ半島の北極海沿岸は，暖流の北大西洋海流が流れ込むことによって冬でも水温が高い。ムルマンスクは不凍港となる。なお，ウラジオストクは１月の平均気温も低く，こちらは凍結する。

①；ロシアは広く安定陸塊だが，ウラル山脈は古期造山帯，カフカス山脈や太平洋岸は新期造山帯。とくに日本の北東に位置するカムチャツカ半島やクリル諸島には火山も多い。

②；黒海北岸から東方に連なるステップ気候の地域には，肥沃なチェルノーゼムが広がる。

④；永久凍土がみられる範囲はシベリアの広い範囲に及ぶ。シベリア南部のバイカル湖周辺などは夏季の気温は比較的高いが，冬季の気温が極めて低いため，

年間を通じて地下の凍土層が融解しない。

［4］正解；①

サンクトペテルブルクである。バルト海に近接し，フランスやイギリスとの交流も盛んだった。ただし，バルト海は冬季に凍結するため，不凍港であるムルマンスク（北極海に面する）の重要性が高い。

［5］正解；②

チの地域は北極海に接続するハドソン湾に面し，寒冷であるため農業は行われない。ツンドラが広がり，一部で狩猟や遊牧が行われる程度。春小麦はウィニペグを中心とした中央部の平原地帯で栽培される。

①；**タ**のアラスカ州北極海沿岸には油田やガス田が分布する。パイプラインによって太平洋岸まで運ばれ，輸送される。

③；**ツ**は，ロッキー山脈の東麓に広がる大平原で，グレートプレーンズとよばれる。やや降水量が少なく（アメリカ合衆国の中央を年降水量500mmの等値線が縦断し，これは西経100°の経線とほぼ重なる），企業的牧畜のほか，地下水を利用した灌漑農業（センターピボット農法）も行われている。ただし，地下水の枯渇による地盤沈下，過剰な灌漑による塩害の発生などの問題も生じる。

④；**テ**はフロリダ半島。亜熱帯～熱帯の気候がみられ，都市出荷用のオレンジの栽培などもみられる（園芸農業）。リゾート地も多い。

［6］正解；①

「オーストラロイド」とはオーストラリア大陸の先住民でアボリジニーなど。イヌイットは「モンゴロイド」とされる。

②；多くがイギリスからの移民による英語起源の地名だが，フランス国王の名前から名付けられたルイジアナ，スペイン語に起源のあるカリフォルニアなどの地名もある。

③；初期に入植したイギリス系の人々は，現在のアメリカ社会でもエリート層を成す。WASPとよばれる。

④；ギニア湾岸にルーツのあるアフリカ系の人々は身体能力が高く，優れたスポーツ選手が多い。また，芸術的素養を発揮する者も多く，音楽などの分野で活躍している。

第５講
アメリカ合衆国・中南アメリカ・オセアニア　解答

［１］正解；①

アジア系住民が多く住むのは太平洋岸の州であり，図３の「西部」に該当する。中国やインドから，カリフォルニア州への移民などが多くみられる。よって**カ**が西部と判断できる。

アフリカ系の人々が多く住むのはルイジアナ州以東の南東部であり，図３では「南部」に該当する。かつて綿花プランテーションが開かれた地域であり，アフリカから多くの労働者がつれてこられた歴史がある。よって**キ**が南部である。以上より正解は①となる。

なお，先住民は現在でも特定の居留地に住む者が多く，その居留地は西部の乾燥地域に設けられているものが多い。先住民のグラフにおいて**カ**（西部）の割合が高いことも確認しておく。

［２］正解；⑤

最もわかりやすいのは**チ**だろう。テキサス州ヒューストンは「NASA」の基地であるジョンソン宇宙センターが置かれている。ヒューストンはメキシコ湾岸にも近接し，石油化学工業の中心地でもある。**チ**が**K**に該当。

さらに「先端技術産業」に注目。アメリカ合衆国は，サンベルトとよばれる北緯37°以南の地域や太平洋岸に先端産業の集中する地区があるが（サンノゼ「シリコンバレー」，ダラス「シリコンプレーン」，フロリダ州「エレクトロニクスベルト」など），ボストンのみ例外で，北東部のニューイングランド地方に位置し，伝統的な大学も多く（ハーバード大学，マサチューセッツ工科大学），先端技術の研究開発が盛ん。**タ**が**M**に該当。なお，ボストンについては「繊維工業」も押さえておきたい。アメリカ合衆国で最も早く工業化が興った地域であり，毛織物工業のほか，南部から輸送した綿を利用した綿工業も発達していた。

残った**ツ**が**L**である。「交通の利便性」とは五大湖の水運のこと（冬季は凍結してしまうが）。「周辺の鉱産資源」とはアパラチア炭田のこと。なお五大湖の西側にメサビ鉄山もあり，鉄鉱石はここから供給されていた。この地域の主要都市は，鉄鋼業のピッツバーグ，自動車工業のデトロイトなど。しかし，1980年代以降の不況によって工業は停滞し，人口も減少している（とくにデトロイトでは市の

財政が破綻)。ピッツバーグでは閉鎖された製鉄所跡を再開発し，ＩＴ産業やバイオテクノロジー開発の拠点とするなど，重工業から知識集約型工業への転換も進む。

[３]正解；⑤

ａ付近にピッツバーグが位置する。アパラチア炭田に近接するという優位性があったため，古い時代より鉄鋼業の中心地であった。鉄鉱石については五大湖の西側のメサビより輸送していたが，そのメサビ鉄山が枯渇傾向となり，品質の低い鉄鉱石しか産出しなくなったことで状況が変化する。鉄鉱石を外国からの輸入に依存するようになり，鉄鋼業の中心も臨海部のｃへと移動した(ボルチモア郊外スパローズポイント)。内陸部の鉄鋼生産は減少し，ピッツバーグにおいても巨大な製鉄所が閉鎖されてしまった。現在は再開発によってバイオテクノロジーなどの先端産業が誘致されているが，以前のような活気はなく，人口も減少している。

このことを踏まえて考えてみよう。まず**イ**がピッツバーグとなる。「鉄鋼」，「素材工業が低迷」がキーワード。さらに**ア**がボルチモア。「臨海部」の「スパローズポイント」に新たな製鉄所が建設された。正解は⑤である。

ウがニューヨークである。国内最大の人口を有する都市であり，「都市型工業」がキーワード。ボルチモアよりやや北の大西洋岸に位置する。

[４]正解；①

カは**Ｘ**のサンフランシスコ。サンフランシスコ湾に臨む港湾都市で，坂が多い(傾斜地に位置する都市は，面する海も水深が深くなるため天然の良港となり，港湾都市として発展しやすい)。沿岸を流れる寒流の影響で夜には海霧に覆われる「霧の街」でもある。

キは**Ｙ**のシカゴ。五大湖の南岸に接する。北に酪農地帯，南にコーンベルト(シカゴが含まれるイリノイ州はコーンベルトの代表的な州)，西に小麦地帯が広がり，農産物の集散地として発展した。シカゴの農産物マーケットは世界の穀物価格に大きな影響を与える。

クは**Ｚ**のワシントンD.C.。アメリカ合衆国の首都にして，計画的に建設された政治都市。放射直交路型の街路区画を有する。

［５］正解；④

ハイチは旧フランス領であるが，アフリカのフランス植民地から多くの人が奴隷として連れて来られた歴史がある。人口のほとんどはアフリカ系。

ラプラタ川のエスチュアリーに面する港湾都市モンテビデオを首都とするウルグアイは，ヨーロッパからの移民を多く迎え入れた国である。ヨーロッパ系の人口割合が極めて高く，アフリカ系は少数。

アフリカ系の比率が高いのがハイチ，低いのがウルグアイで，正解は④。ブラジルは「人種のるつぼ」と称されるほどに多様な人種や民族（そして混血）から構成されている国。ハイチやウルグアイほどの顕著な偏りはない。

［６］正解；⑴② ⑵①

⑴2002年時点，オーストラリア最大の都市はシドニー。南東部に位置する港湾都市でタスマン海に面する。②（ニューサウスウェールズ州）が該当。バス海峡に面する旧首都のメルボルン（こちらが含まれるのはヴィクトリア州）と区別。

⑵「世界有数のサンゴ礁」はグレートバリアリーフ。暖流の東オーストラリア海流が流れる北東岸に広がる。①（クインズランド州）が該当。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。